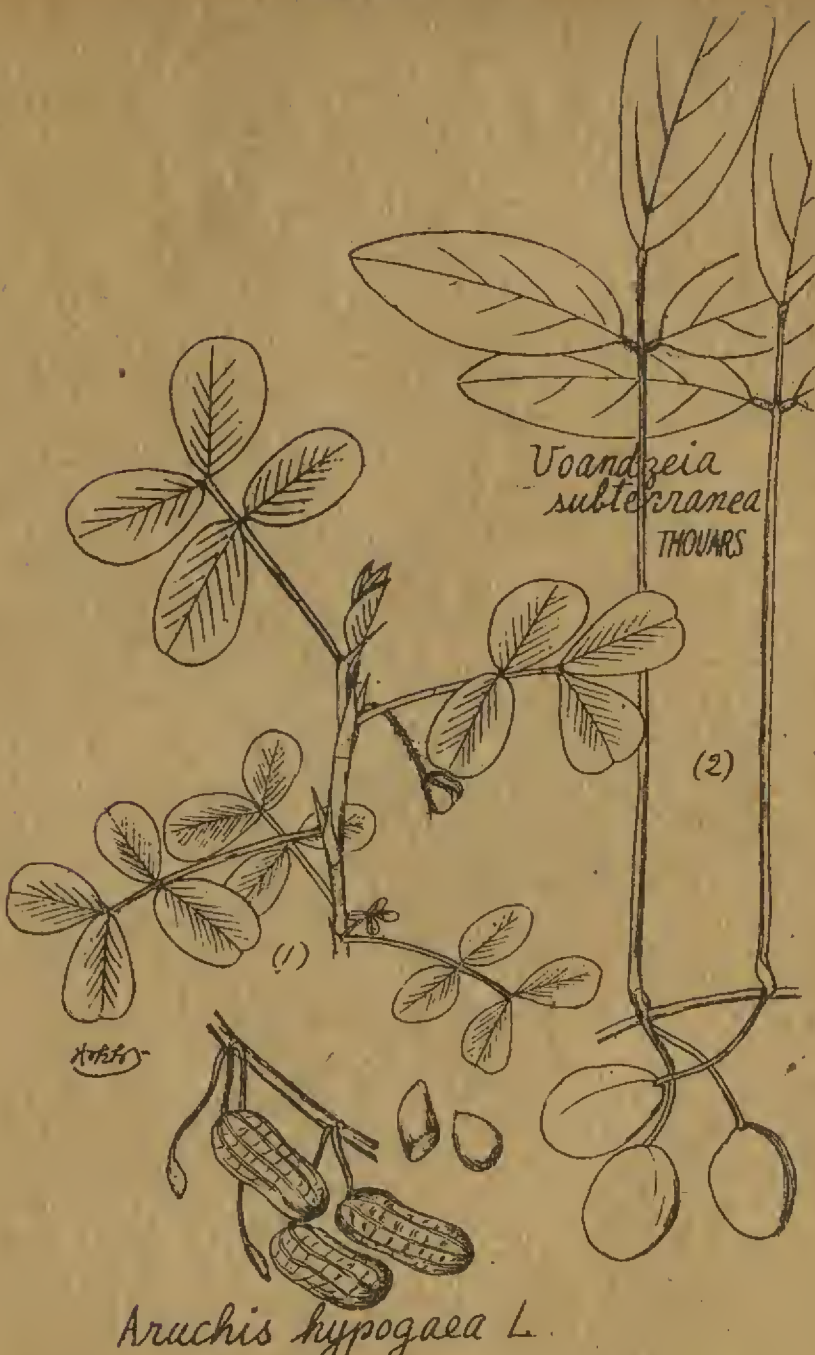
食	薬	油	飼			
繊						



ラツカセイ（ナンキンマメ）　　（マメ科）

地方名　カチャン・ツナ（馬）ツア・リツン（泰）
産　地　温熱帯（栽培）（原産アメリカ）
性状用途　匍性と立性とあり、花黄、地下の莢は蛋白と油を含み炒食、料理用、豆腐、モヤシ、味窯用、若葉、若果も食用、種子油は食用、薬用としてはオリーブ油代用、油粕も食用、飼料、豆ガラは紙、アルコール、醋酸、アセトン製造、茎葉飼料

(2)　バンバラマメ地アモウトウタツ（支）熱帯（栽培）マライでは北部（原産アフリカ）地下のマメを食用　但油はない

200

食



ヒロウドハカマノキ　　　　（マ メ 科）

地 方 名
産　　地　マライ半群島
性狀用途　灌木、やや蔓性、花淡赤白緑、若葉、若莖、莟共に暗紫色多毛、若葉はゆでて食用



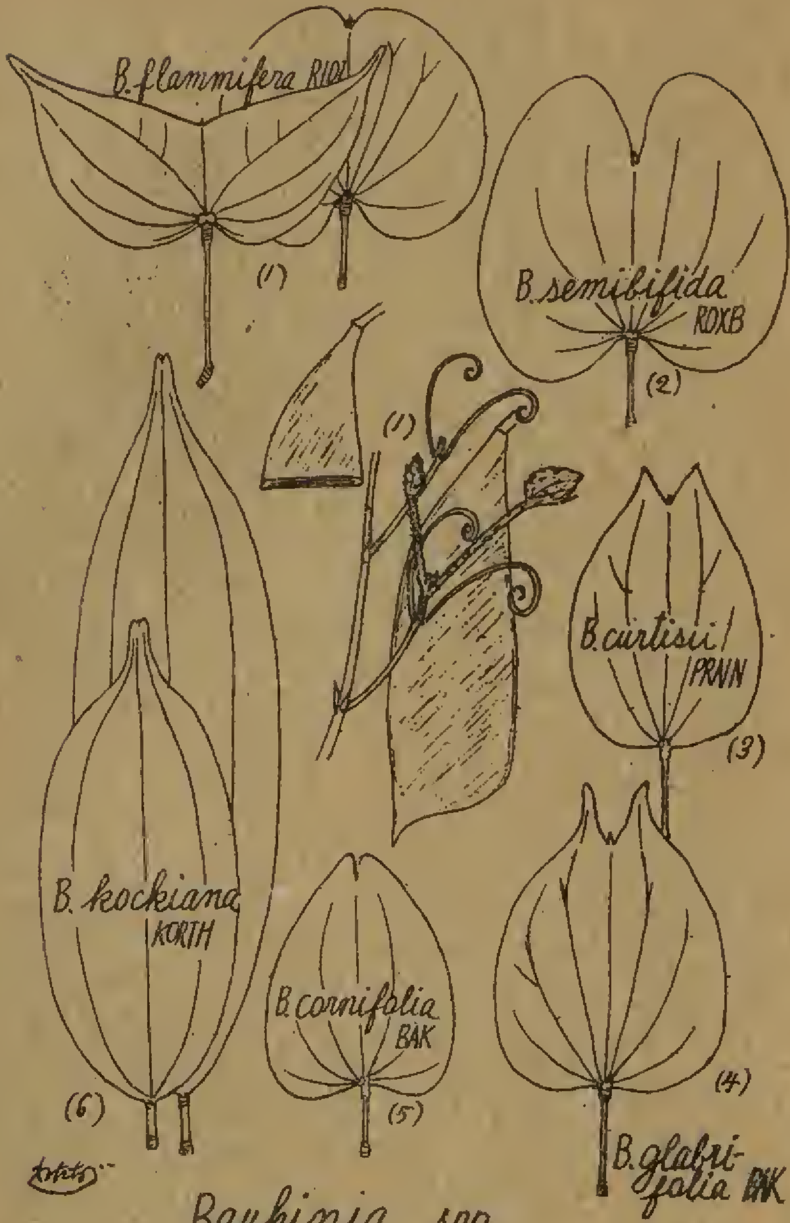
Bauhinia tomentosa L

キバナハカマノキ(ビロウドソシンクワ)　　（マ メ 科）

地方名　クブクブ(馬)
產　地　インドより南支迄(マライ、スマトラ、ジヤワ栽培)
性狀用途　灌木、花淡黃、最內瓣基部に濃紫黑斑、果及葉裏細毛、葉は酸く食用、花は黃色染料

201

食						



Bauhinia spp.

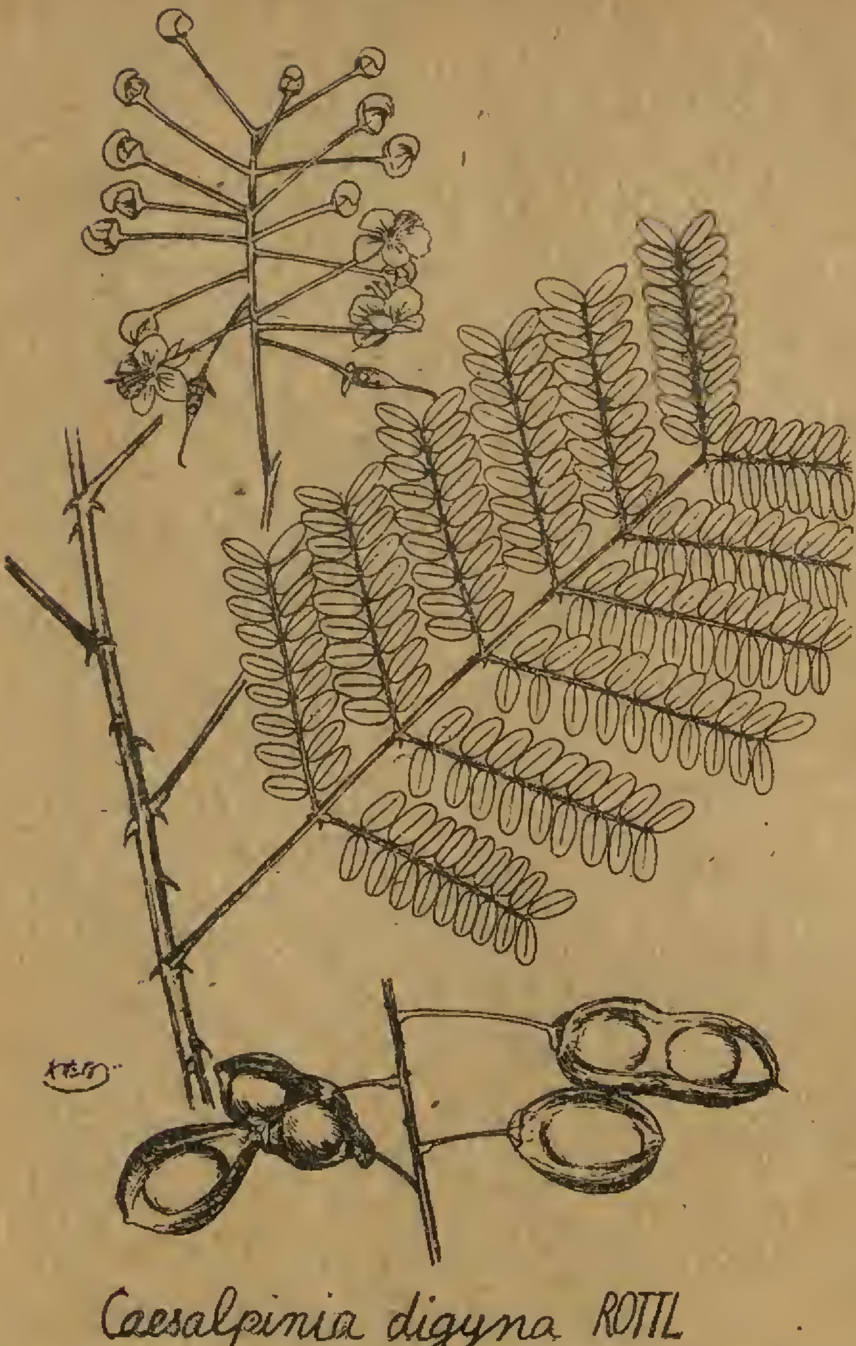
ハカマカツラ屬　　　　　（マメ科）

蔓又は灌木で花は蝶形ではない、葉は多少とも先端二裂、蔓のものはゼンマイ状の巻ヒゲが著しい。果は扁平、山地に多く、若葉、花は恐らく皆ゆで出して食用し得、葉の酸いものは渇を醫するに用ふ

圖示したものは皆マライ産の蔓性のものである

(1) アカール、ヅダ(馬)(5)アカル、ジャムブル　メラ(馬)花椶美

食	薬		飼			
	染					



Caesalpinia digyna ROTTL.

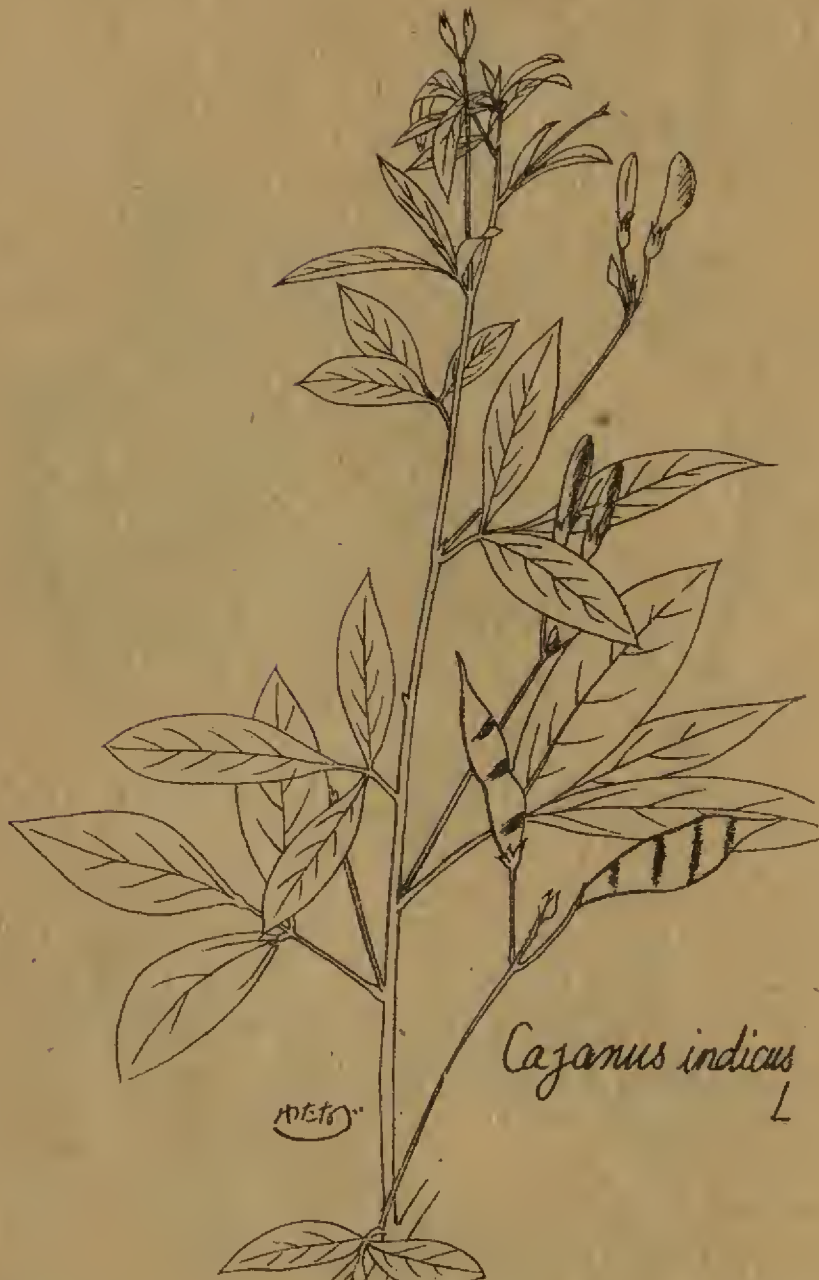
フタダネジヤケツイバラ　　（マ メ 科）

地方名　ナーム・チヤーイ(泰)

産　地　インド、ビルマ、タイ、北マライ

性狀用途　蔓木、花黃、多刺、果中多くは種子二個、若葉はゆでて食する地方ありと云ふ、果皮はタンニンあり鞣皮料、種子は油と澱粉のみでタンニンを含まず堅いが砕けば飼料となる、根は收斂藥

食



キ　マ　メ　　　　（マ ノ 科）

地方名　カチャン・カユ(馬)ツアー(泰)ダール(印)
産　地　熱帯(栽培)(原産アフリカ？)
性狀用途　灌木、キハギに似た感あ、葉は表裏有毛、裏面白毛、花黄、熟した種子は澱粉と蛋白あり有用な食品、若葉、若果も食用

食						
						番

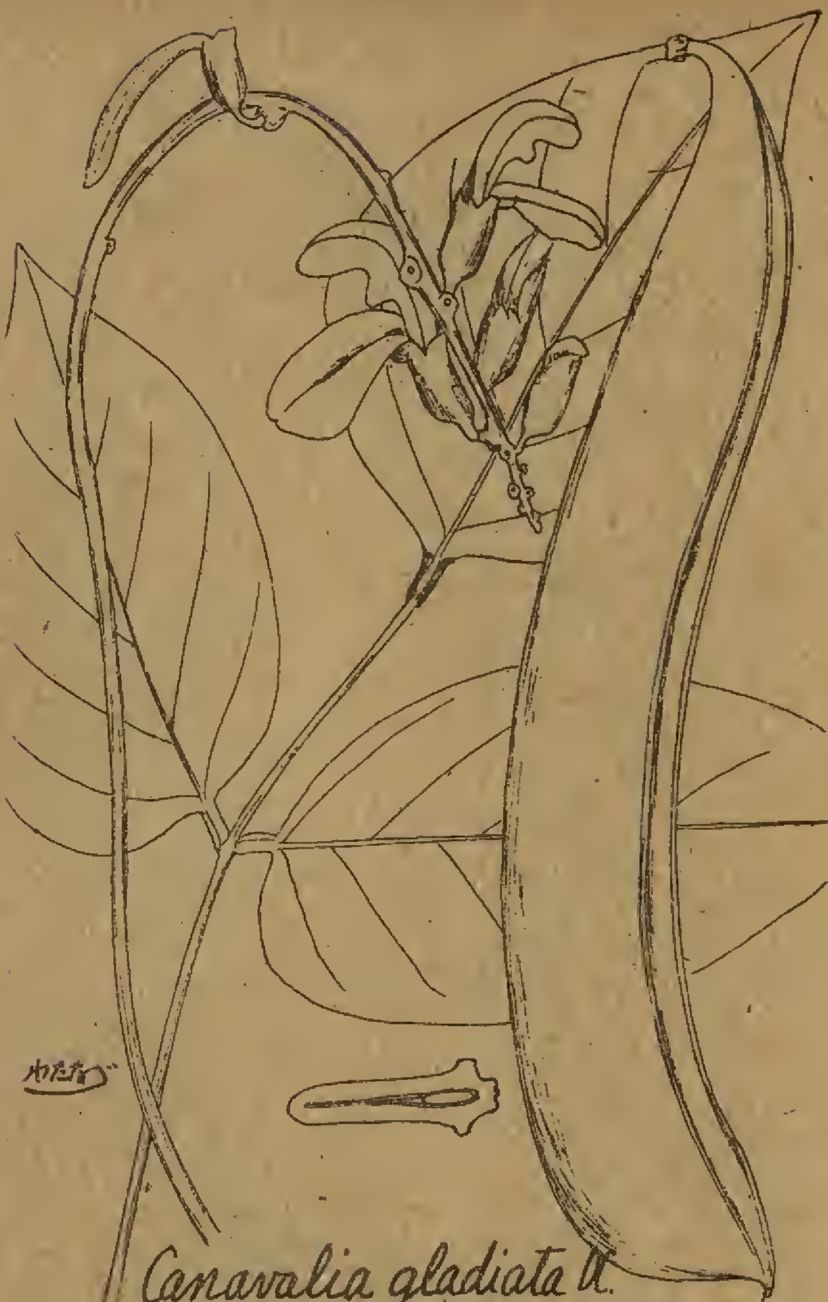


アメリカナタマメ　　（マ メ 科）

地方名　カチヤン、バラン、ブテ（馬）ジヤツクビーン（英）
產　地　溫熱帶（栽培）（原產アメリカ）
性狀用途　蔓、花桃色、果やや細く、種子白、未熟果は薄く切りゆでて食用、熟した種子は食ふ可らず

203

食	藥					
						毒



ナタマメ　　　　（マメ科）

地方名　カチャン　パラン（馬）　ツアォブラー（泰）

産　地　温熱帯（栽培）（原産アジア）

性状用途　蔓、花桃色、果は巾廣し　種子は赤　褐多く　日本種のみ白　未熟果は薄く切り　ゆでて食す　花若葉も充分ゆでて食す　熟した種子は時に有毒なる故　食すなら充分換水で二回ゆで出すべし　特に褐色の種子は食す可らず　莢葉は砕いて腫物に塗布

食			飼	肥		



Canavalia rosea DC.
=*C. obtusifolia* DC.=*C. lineata* PRAIN

ハマナタマメ　　　　（マメ科）

地方名　カチャン、ラウ（馬）カイ、チア（泰）
産　地　インド洋、南太平洋岸
性狀用途　海岸砂地の蔓、葉厚く光、花冬濃紅（淡紅に非ず）種子黑、花、若果ゆでて食用、種子は澱粉蛋白ありアルカロイド及青酸なく飼料、綠肥にも用ふ（有毒タカナタマメは花淡紅で果に空氣室あり）

食	薬					
	染					



ミミセンナ　　　　　　（マメ科）

地方名　ラナワラ（印）
産　地　インド、（マライでは栽培）
性状用途　灌木、花黄、果は扁平波状、托葉は耳形、葉は食用、茶用、葉、果は下剤としてセンナ葉に混用、樹皮はタンニンあり鞣皮用

食				肥		



タヌキハブサウ　　　　（マメ科）

地方名　シンテング（馬）
產　地　熱帶（野化）（原產アメリカ）
性狀用途　灌木狀草、惡臭多毛、果はネヅミの尾の如し、葉をゆで出して食す、綠肥

食				肥		
						毒



Cassia laevigata WILLD

キダチハブサウ （マ メ 科）

地方名

産　地　熱帯（栽培）（原産アメリカ）

性狀用途　灌木、花黄、若葉、種子は食用し得べし、但家畜には有毒ならんともいふ。熱帶高地の綠肥

食			肥			



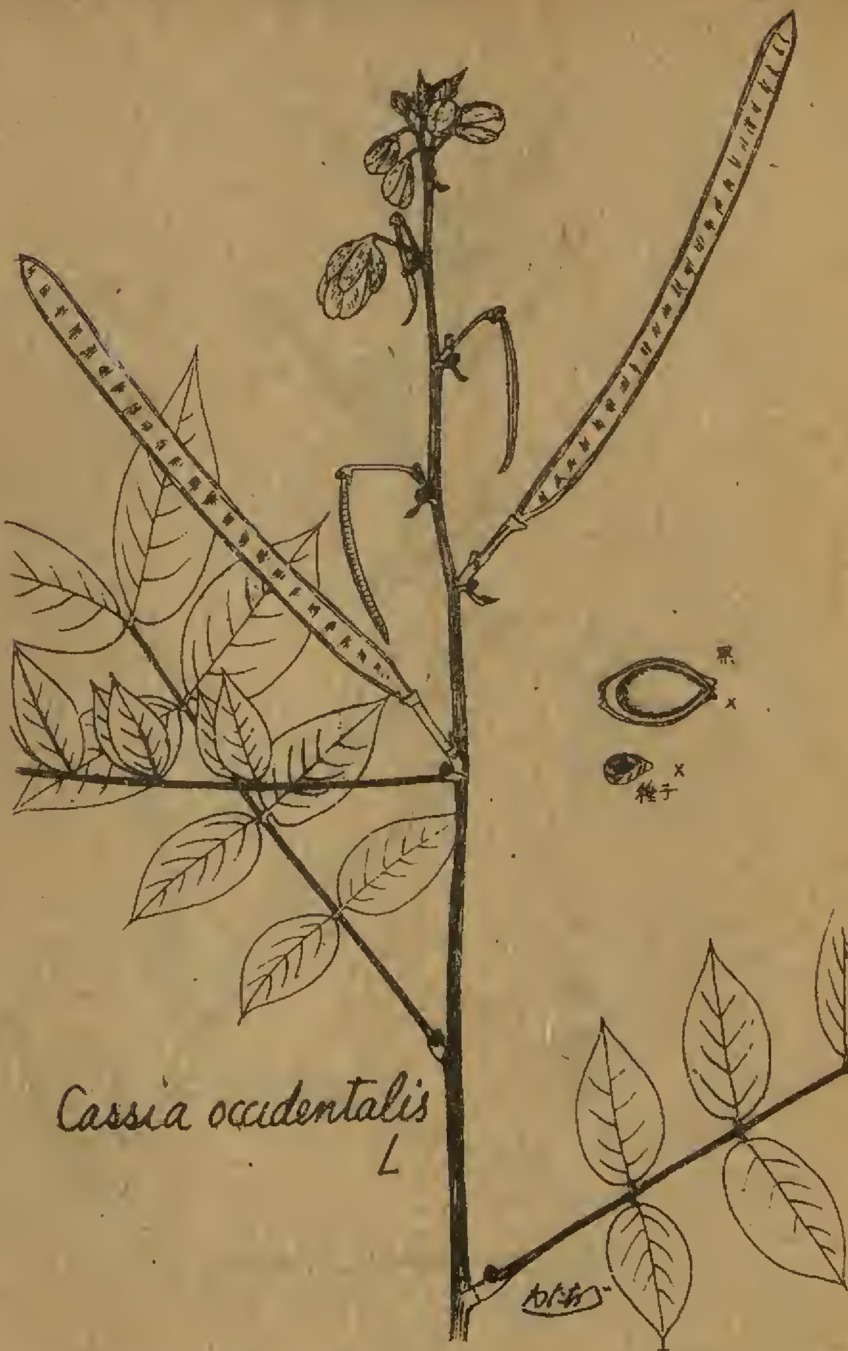
Cassia mimosoides L

カハラケツメイ　　　　（マノ科）

地方名　ディンディング（馬）
産　地　熱帯アシア
性狀用途　灌木狀草本、花黃、葉は茶にして飲用、綠肥

206

食	薬			肥		



ハ　ブ　サ　ウ　　　　（マ ノ 科）

地方名　カチヤン・コタ（馬）チコム・ペ・テイ（泰）
産　地　熱帯（野化）（原產アメリカ）
性狀用途　雜草、高三尺、海岸に多し、花黃、葉柄の基に紫色球腺あり、種子は炒つて茶に代用、若葉、若果はゆでて野菜とす、種子、葉は加熱せぬと下劑となる、全草の酒精浸液はやや殺虫性あり、綠肥

食	薬					
	染	材			飼	毒



タガヤサンノキ　　　（マメ科）

地方名　ジャホル(馬)キーレャイ(泰)
産　地　熱帯アジア(栽培、野生)
性狀用途　喬木、四十尺位で開花、花黄、花はゆでて食す。但莢果にはアルカロイドあり豚を殺す根の煎汁は駆虫に内用、心材、果、葉、樹皮は7%のタンニンあり染色用。心材は暗褐、耐久、橋、杭にする。街路樹、ラック虫飼料

食	薬					
	染				観	



モクセンナ　　　（マメ科）

地方名
産　地　インド・ビルマ・マライ（栽培）（原産インド）
性狀用途　灌木、觀賞用、花黄、果扁平、葉裏粉白、葉軸中部以下に腺體、若葉食用、根の煎汁は淋病に内用、種子はハネミセンナ種子と同物質を含む、樹皮はタンニンあり、鞣皮用

食						



Cassia tomentosa L

ケセンナ　　　　（マメ科）

地方名　ナシ

産　地　南支(栽培)、インド

性状用途　草、全株疏毛、葉、花、果をゆでて食用

208

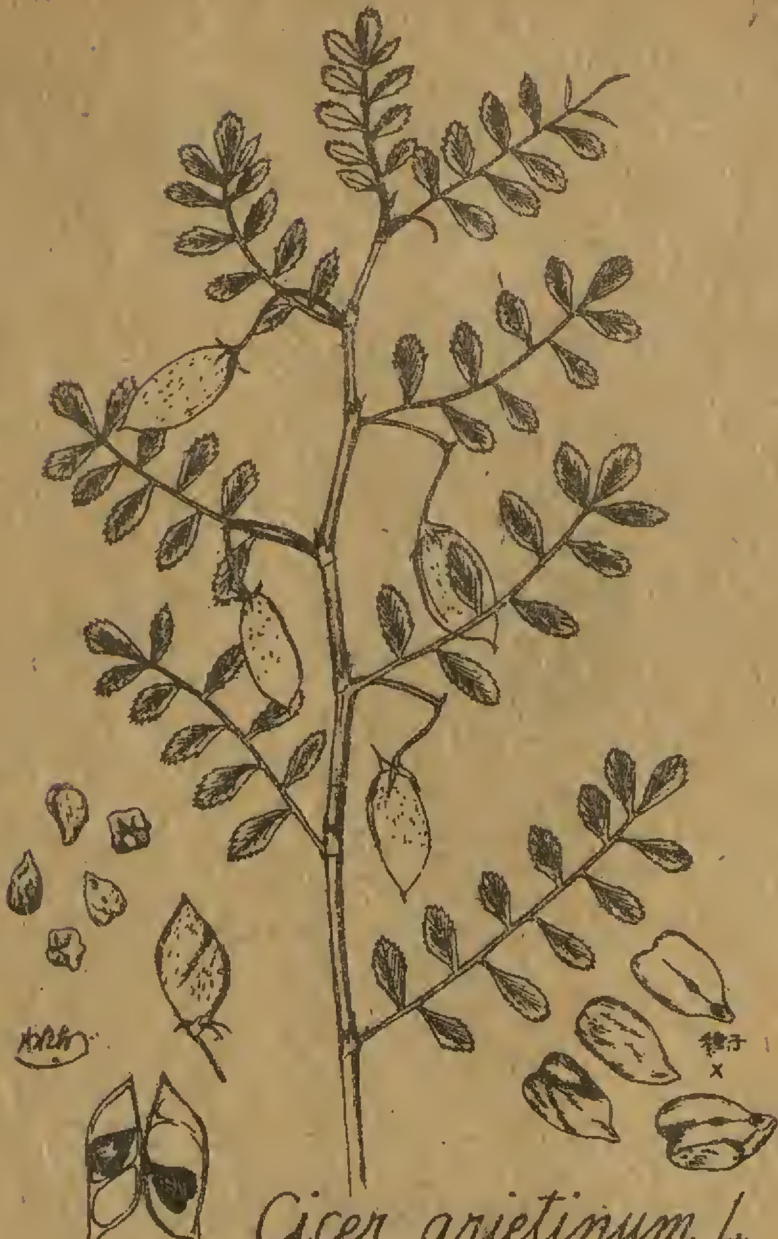
食	藥					
	染					



Cassia tora L.

エビスグサ（俗にハブサウ）　　　（マ　メ　科）

地方名　グレンガンキチ（馬）　チユム・ヘコタイ（泰）
産　地　熱帯アジア
性状用途　雑草、悪臭、花黄、小葉間の腺體は尖り橙色、若葉はゆでて食す、種子、莢葉は炒つて茶とす。葉搾汁は瀉下。若葉はハネミセンナ代用皮膚薬、種子はエモジンあり。カユミ湿物に外用・眼病に内用外用、種子はインヂゴ染色の誘染料・C. Obtusifolia は臭がないだけの差、食用



Cicer arietinum L.

ウ マ マ メ　　　　　（マ メ 科）

地方名　カチヤン・クダ（馬）チツクピー（英）
産　地　インド（栽培）（原產ペルシヤ）
性狀用途　草、高二尺、種子四角錐、種子食用、飼料、インドよりマライに輸入された

食				肥		
・染						



チヨウマメ　　　　（マメ科）

地方名　ブンガ・ビルー(馬)　カチヤン・ツラン(馬)　アンチヤン(泰)

産　地　熱帶（野化）(原產アメリカ)

性狀用途　蔓草、花濃青、花は飯の青染料、葉は食品の綠染料、花汁は酸アアルカリ檢定に用ひ得、葉飼料、種子、根はやや有毒、綠肥

食		飼			



Cyamopsis psoralioides DC.

クラスタマメ　　　　（マメ科）

地方名　カチャン・キョリン(馬)クラスタビーン(英)
産　地　熱帯アジア（栽培）（原産インド）
性状用途　草、高三尺、花龍骨瓣白、他は桃色、未熟果食用、全草及び熟種子は飼料

210

食

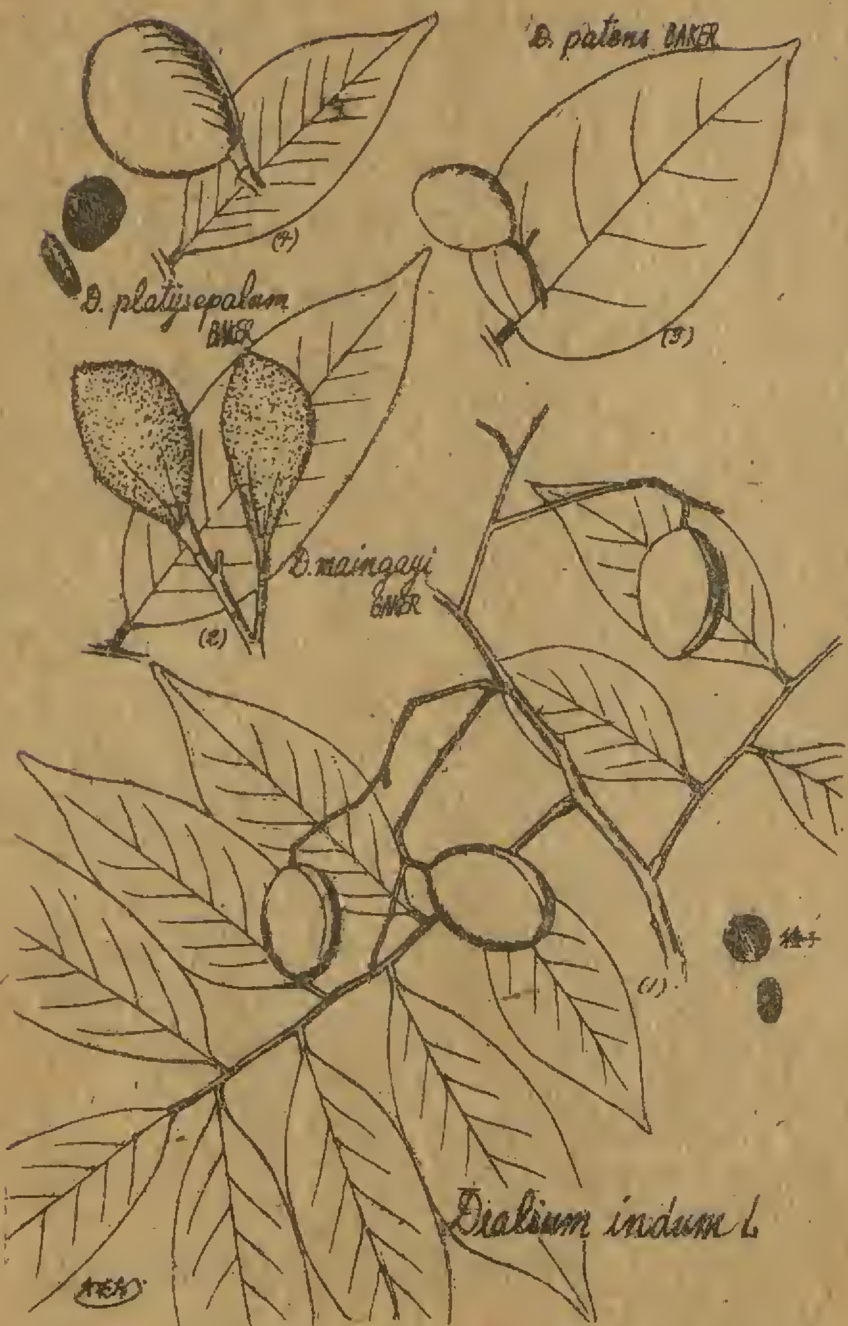


Cynometra cauliflora L.

ナムナムノキ　(マメ科)

地方名　ナムナム(馬) ブキ・アンジン(馬)
産　地　熱帯(栽培)(原産セレベス?)
性狀用途　灌木、葉二裂、花は幹に集合して咲く、花白、果黃熟、果皮厚く此部は肉質甘酸で生食、料理用、內に種子一個あり褐色

食						
		材				



クランヂノキ　（マメ科）

地方名　アサムヤクランヂ（馬）カーイー・タオウ（泰）
產　地　タイ　マライ　スマトラ　ジャワ
性狀用途　喬木　果黑　市販　果皮と種子間の軟組織は酸く食用　材赤　堅く粉砕機を作る
(2) クランヂ　ブトン（馬）產　マライ　葉裏褐色　果褐　食用
(3) クランヂ　ブルド（馬）產　マライ　ボルネオ　果食用
(4) クランヂ　ワンガ（馬）產　マライ　葉裏銅色短毛　果食用

食



Desmodium umbellatum DC

ミヨクヨウヌスビトハギ　（マメ科）

地方名　プタイ・ララン(馬)

産　地　インド、ビルマ　マライ

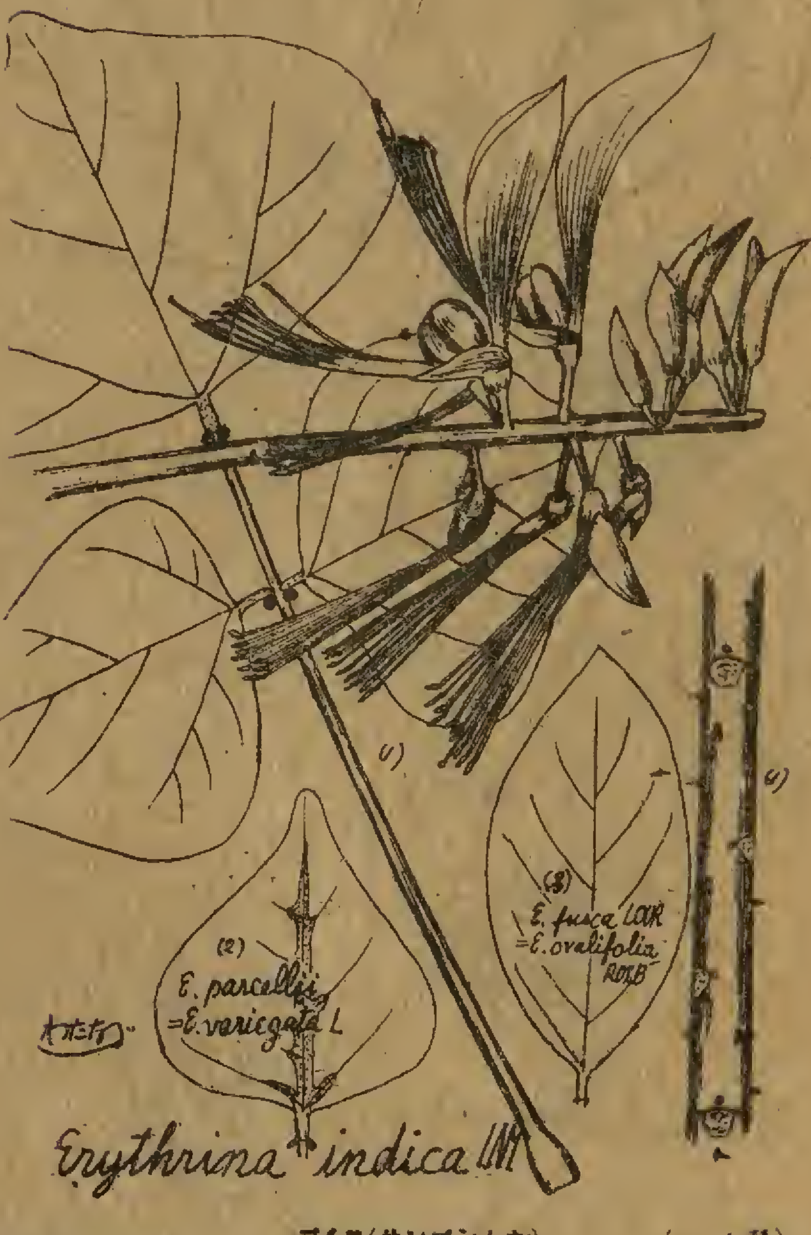
性状用途　灌木　花白　若葉は野菜として食す

良			副			
					糧	



アメリカネム（アメノキ）　（マメ科）

地方名　トルン・ピシイ（馬）トヤム・トユ・リー（泰）
産　地　熱帶（栽培）（原産アメリカ）
性狀用途　中喬木　傘狀に枝を張り街路樹とする、花紅、ネムの花の如し、熟果の皮は甘く食用、種子は澱粉多く炒食、果は家畜に多食せしむるも害なし、葉も飼料となる故人の食用とし得る筈である、但樹皮はピチコルビンなる配糖體あり食ふ可らず



デイコ(サンゴシトウ)　　　(マ メ 科)

地方名　ブダ(馬)
産　地　熱帯アジア(栽培)(原産インド)
性状用途　喬木　サシキにより垣を作る、花赤、葉は茹でて食す、種子もよく煮て食す(但少し有毒)、茎、樹皮にはサポニンとエリスリエン(チクセイン様に神経に作用するアルカロイド)、種子にはヒポフオリン(アルカロイド)を含む、樹皮は歯痛、赤痢薬、茎は傷に湿布、葉、根は解熱用
(2)　アイリデイコ葉脈に副て白斑あるの差のみ
(3)　ナガバデイコ地、ガララ　アエル(馬)産　インド　マライ半島水邊を好む、葉食用

食	薬			肥		
						毒



コバナデイコ　　　（マメ科）

地方名　ヅダ・パチ(馬)
産　地　ビルマ、タイ、インドシナ、フイリピン(マライ栽培)
性狀用途　喬木、刺無き品種もある、花緋、花序紫、頂葉片に腺體なし、若葉は食用、葉の煎汁は咳に內用、葉の搾汁は洗眼用、樹皮は熱病に罨布、種子にはヒパホリン(アルカロイド)あり有毒、綠肥



Dolichos lablab L.

フ　チ　マ　メ　　　　　　　(マ ノ 科)

地方名　カチヤン・クカラ（馬）カチヤン・スバ(馬) ツーア・ナン（泰）

産　地　溫熱帶（栽培）（原產アジア）

性狀用途　蔓、熱帶には一年生と多年生の品種あり、花は白、又は紅、種子は白又は黑、若莢、若果は煮食、熟種子は澱粉と蛋白あり或る品種は食用し得

食		油				



Glycine max MERR

ダ　イ　ヅ　　　　（マ メ 科）

地方名　カチヤン・ジユプン(馬)トアルアン(泰)ソイビーン(英)
産　地　東洋南方ではビルマ、タイ、インドシナ、ジヤワ(栽培)(原産北支)
性狀用途　草本、多毛、花白又は紫、種子は黃又は黑．南方では乾地に適しマライは多濕でやや不良、特に酸性土を避ければ生育可能、南方には小粒扁球形のもの適す、種子は蛋白と油を含み食用、食用品原料、採油用

食						[illegible]
				ゴム		



Hymenaea courbari L.

オオイナゴノキ　　（マメ科）

地方名　ロカストツリー（英）
産　地　熱帶（栽培）（原産アメリカ）
性狀用途　喬木、堅い果皮と種子の間の粉狀肉は甘又は酸く、生食す、キナコの如き味、幹よりコパルワニスを採りニス、線香、陶器接合料とする

食	薬		飼			
		材				



Inocarpus edulis FORST

トロマメノキ　　　　（マメ科）

地方名　トロ（馬）
産　地　東部マライ群島（マライでは栽培）
性狀用途　小木、果は一種子、種子は蛋白、脂肪、澱粉を含み燒食、葉は飼料、材は家具、樹皮は澁く腸病に用ふ

215

食			飼	肥		
	染					



Leucaena glauca BENTH

キンゴウクワン　　　　（マメ科）

地方名　ブタイ・ジヤワ（馬）カチン（泰）
産　地　熱帯（半野生）（原産アメリカ？）
性狀用途　灌木、花白黄、若果、若葉はゆでて食す、熟種子は炒食又はコーヒー代用、葉は馬には有毒で脱毛を起すがウシ、ヤギには飼料、熟種子も煮て飼料、樹皮はタンニンあり網染用、葉は綠肥として有効

食						
		材				



シタンマメ（紫檀ではない）　　　（マ メ 科）

地 方 名　ナシ

產　　地　南支、インドシナ

性狀用途　邊材帶淡紅紫色、花瓣紅紫色、種子は食用、材は耐久性に非ず臨時用材。

216

食						
						毒



オ オ マ メ ノ キ (マ メ 科)

地方名 カユ・チチヤ(馬)ムルボン(馬)セー(泰)

産　地 マライ、スマトラ

性狀用途 喬木、葉光、果大、赤紫色、若葉食用、種子は大形でサポニンを含み苦く魚毒(食用にはならぬ)

食



スマメカツラ （マメ科）

地方名　アカール・プア（馬）
產　地　マライ
性狀用途　蔓木、花多毛、外黃、內紫、果は酸くゆでて食す

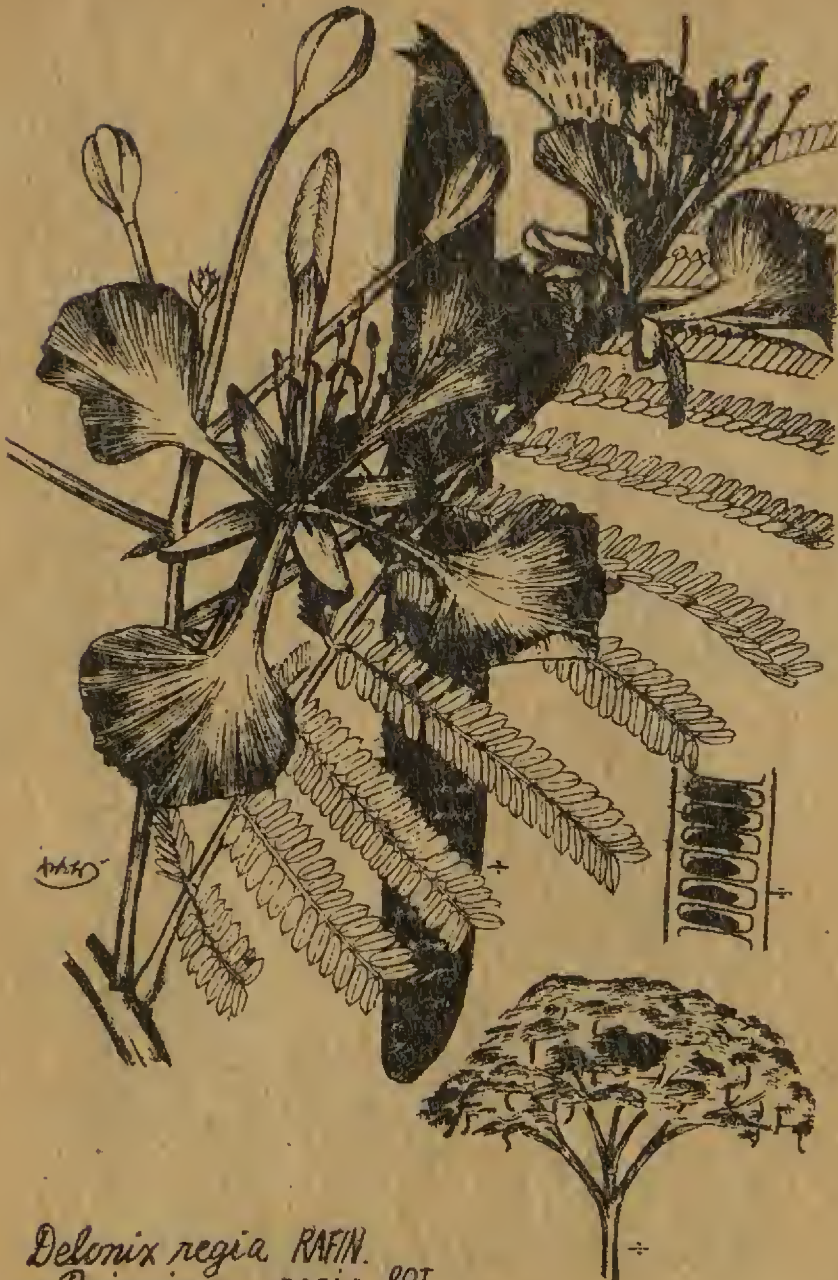


Millettia sericea BENTH

ウラギヌドクフヂ　　　（マメ科）

地方名　アカール・マムブウ（馬）ナウラウ（泰）
産　地　タイ、マライ、スマトラ、ジャワ
性狀用途　蔓木、葉裏、花、果に絹毛密布、若葉はゆで出して食用、但全株トバと同成分を有すと見られ、葉は齒痛に又葉の煮汁は解熱、尿疾に、樹皮の粉末小量は驅虫に内用、根も殺菌性あり外傷に用ふ、根はヤシ酒醱酵止、魚毒

食	薬					
	染	材	樹		観	



Delonix regia RAFIN.
=*Poinciana regia* BOJ.

ホウオウボク　（マメ科）

地方名　フレームツリー（英）
産　地　熱帯（栽培）（原産マダガスカル）
性狀用途　小喬木、観賞用、街路樹、花森、種子を生食、炒食、材は堅、樹皮は解熱、幹を傷つけて出る液はアラビヤゴム代用、花は黄色染料

食	薬			肥		
						毒



Mucuna pruriens DC.

ビロウドマメ　　　　　　（マメ科）

地方名　ブランガ（馬）
産　地　熱帯アジア（栽培、野化）
性状用途　蔓、花紫黒、龍骨辨のみ白、果短毛、種子黒　若果は毛をソギ取り細切してゆでて食す（毛は有毒）熟種子は種皮を去り二回ゆでて食す（有毒故）果毛は駆虫薬（多量は危険）、種子は煮て催淫剤、緑肥

食						



Neptunia prostrata BAILL.

ミヅオジギサウ　　　　(マメ科)

地方名　クマン・アエル(馬) パカチユ(泰)
產　地　熱帶アジア
性狀用途　水草、莖の圍部は白色海綿質の氣寢となる、葉は觸ると閉合。小葉片赤綠、葉柄淺赤、花黄、葉、若莖食用

214

食	藥			肥		
纖						毒



クズイモ　　（マメ科）

地方名　スンタワン（閩）マンケーオ（泰）

產　地　熱帶（栽培）（原產アメリカ）

性狀用途　莖、花紫、種子扁平褐、種子を蒔き（花を去る）四－八月で塊根は食用（生食・煮食）、但老熟塊根は有毒となり澱粉採取用、若果は食用、葉・熟果、種子はパキリチッドを含み有毒で魚毒・殺虫用、一種子の半量は下劑、種子は又皮膚病藥、莖の纖維は網に作る、緑肥

食	薬					雑
	染	材				

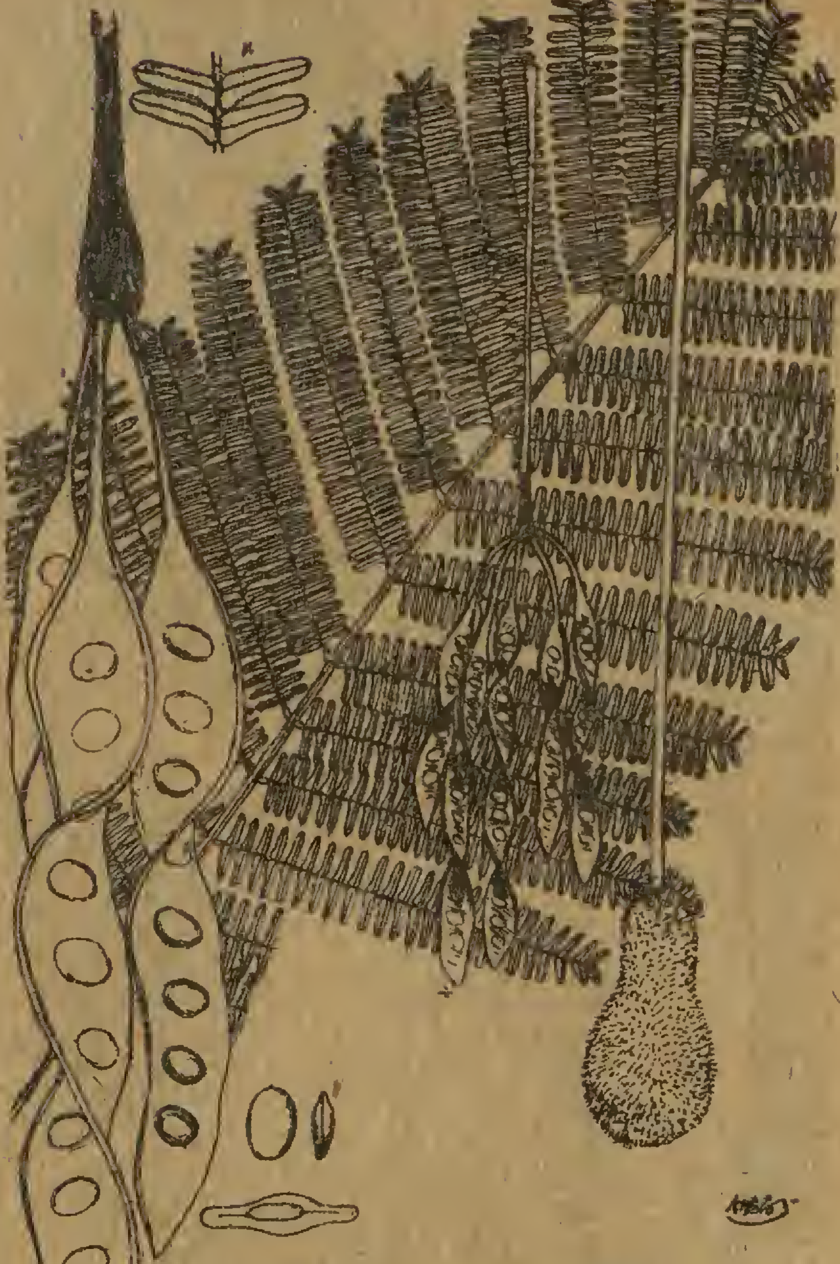


フサマメノキ　　　　（マノ科）

地方名　クダウン(馬) アリエン(泰)

産　地　インドより、ジャワ迄

性狀用途　喬木、花白黄、果扁平でネヂれず、種子炒食、種子を砕き煎汁を
　　　　　　疝痛に、果皮（サヤ）は洗髪に、樹皮は網染に用ふ、材は輕軟、ゲ
　　　　　　タ、ハコ、パルプ原料



Parkia speciasa HASSK.

ネヂレフサマメノキ　　　　（マ メ 科）

地方名　プタイ（馬）サタウ（泰）
產　地　マライ半群島（栽培、野生）
性狀用途　喬木、若葉、若花、若果、若種子を生食、漬物にもする、特に種子を食すとニンニク臭を發し利尿



アヲアツキ(綠豆)　　　　(マメ科)

地方名　カチャン・イヂャウ(馬)ツウア・キイオ(泰)
產　地　熱帶アジア(栽培)
性狀用途　草本、蔓なし、花黃、旗弁のみ黑色を帶ぶ、果は黑熟、種子綠、やや乾地方を好む、種子は蛋白多く・炊食、モヤシ(タウゲ)、豆腐、ビタミンB劑、高さ五寸位で刈り葉を野菜として食し、根部より分岐する芽より豆を採る地方もある、種子黃又は黑の品種もある、七十日で收穫を終る

食						

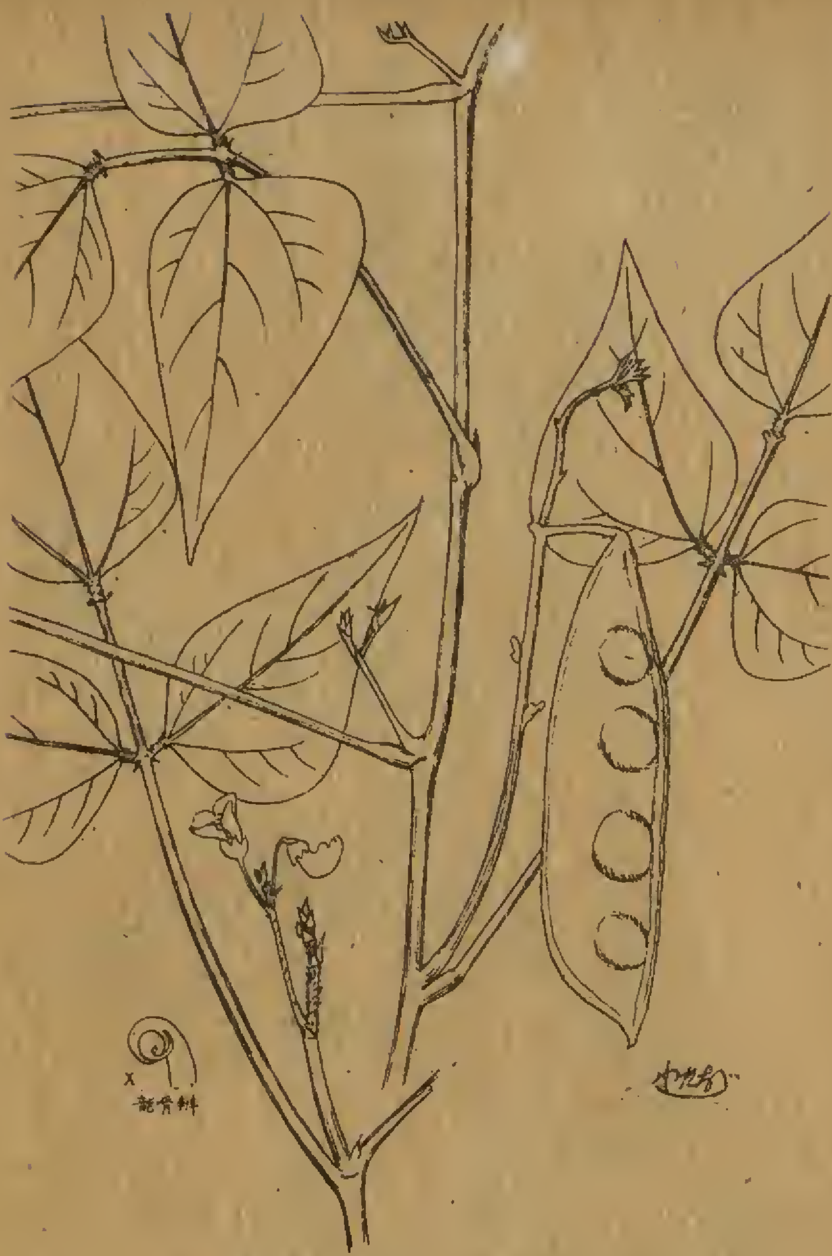


Phaseolus calcaratus ROXB

シマツルアヅキ　　　　（マ メ 科）

地方名　カチヤン・スパリ（馬）トウア・ヅング（泰）ライスビーン（英）
產　地　熱帶アジア（栽培、野生）（マライにも野生あり）
性狀用途　蔓、莖は有毛、無毛あり、花黃、種子赤、若葉、若果は野菜として食し、種子は煮食、モヤシ用、葉は飼料、マライでも栽培容易

食			飼			



Phaseolus lunatus L

ゴシキマメ(アブヒマメ)　　　　(マ メ 科)

地 方 名　カチヤン・カラ(馬)カチヤン・クヅヅ(馬)ライマビーン(英)
産　　地　熱帯(栽培)(原産南米)
性狀用途　蔓、無莢種もあり、花紫、種子は赤、白、褐等種々、種子は食品であるが フアゼオルナチン、青酸の中毒を起すことある故一晝夜水浸後ゆでて用ふるを可とす、若葉、モヤシも食用、莖葉飼料、糊乾草とした方、中毒の恐なし

22-

食



Phaseolus mungo L

ケツルアヅキ　　　　（マ メ 科）

地方名　チカリカライ（印）マシカライ（印）
産　地　温熱帯（栽培）（原産インド？）
性状用途　蔓、花黄、種子黒、若果は野菜として、熟種子は砕いて食用（堅いのでそのままでは煮難い）花期も雨に弱し



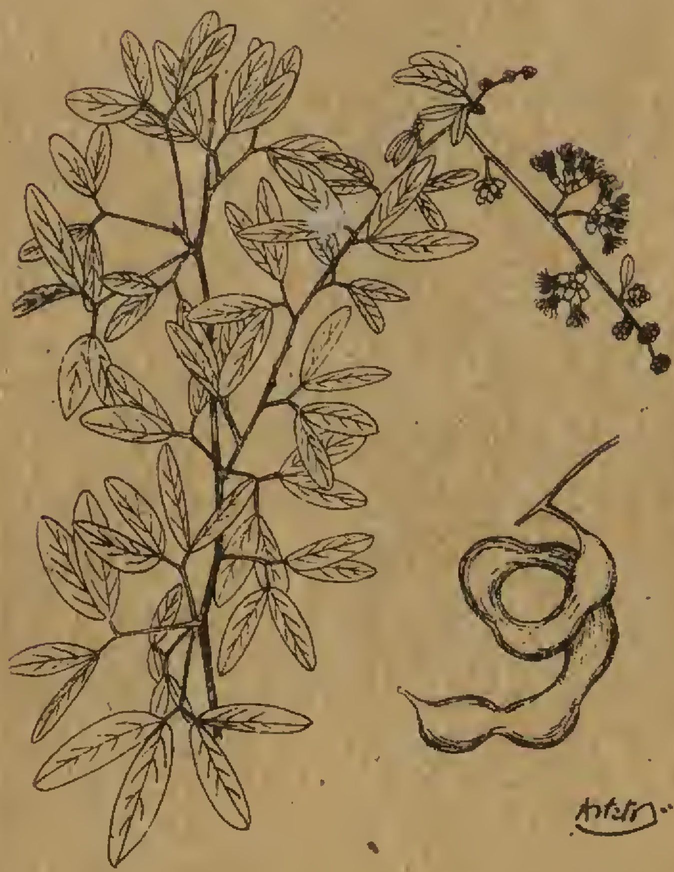
Phaseolus vulgaris L

インゲンマメ(サイトウ菜豆)　　　（マ メ 科）

地方名　カチャン・ブンチス(馬)フレンチビーン或キドニイビーン(英)
産　地　温熱帯(栽培)(原産アノリカ)
性状用途　蔓性と非蔓性とあり、マライ地方でも出来る(二ケ月)が赤道より遠い程良好、若果、葉(若葉に限らぬ)を食用

223

食						
	染				観	



Pithecellobium dulce BENTH

キンキジユ （マ メ 科）

地方名 マカムテー(泰)
産　地 熱帯(栽培、野化)(原産アメリカ)
性状用途 中喬木、花緑、雄蕊白、種衣を食用とする、樹皮は鞣皮用、マライでは街路樹、垣根

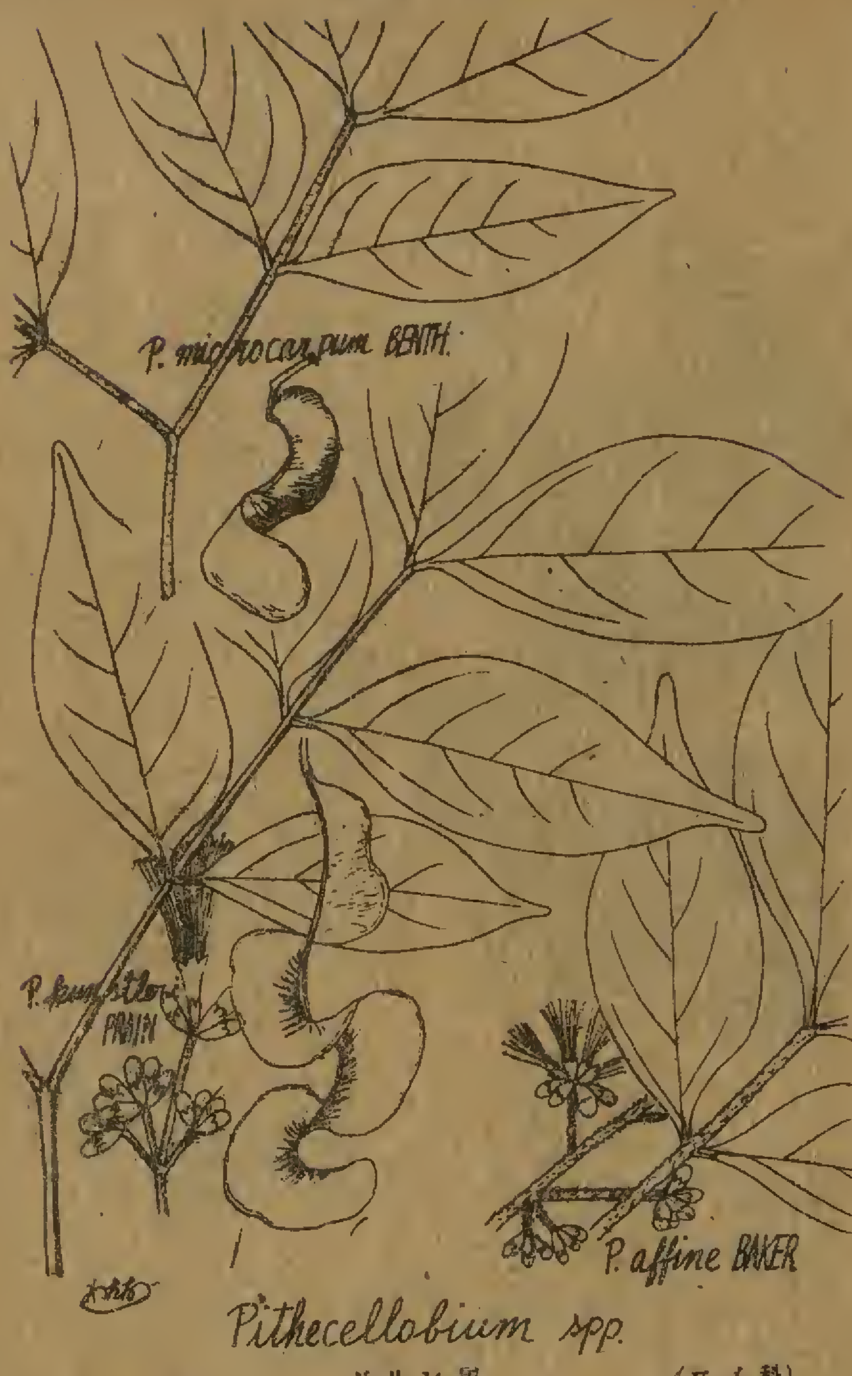
食	薬					新
	染					



ジリンマメ　　　　（マメ科）

地方名　ジリン（馬）カニエン（泰）
産　地　ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ジャワ
性狀用途　喬木、花白黄、果紫褐色、種子は澱粉質で燒固ゆでて食す。但ニンニク樣臭を發し、多食す可らず、利尿性、少しく發芽せしめると減毒す。若葉は赤紫色垂下、生食、煮食。莢はゲルゴノキの果と煮て絹の紫染料、樹皮、葉は泥土を用ひ黒色染料。莢は潰瘍傷に外用、果皮は腫物に塗布、洗髪用

食



Pithecellobium spp.

ジリン属　　　　（マメ科）

喬木、灌木、葉軸がフタマタに分れ、莢は回曲、若葉はゆでて食す。果又は種子も食し得るが多食すると腎臓を害する恐あり

(1) 種、ジルダスッアピ(馬)産、マライ、スマトラ、ボルネオ、果煮食
(2) 種、ブランカスックウタン(馬)産、マライ、ボルネオ、若葉煮食
(3) 種、ボコ・ルンボン(馬)産、マライ、ボルネオ、果煮食



シカクマメ　　　　（マメ科）

地方名　カチヤン、ボトル（馬）カチヤン、クリサ（馬）トアプー（泰）
産　地　熱帯（栽培）（原産アフリカ）
性狀用途　蔓、花淡青、果四條の翼あり、若果を生でアエモノにして食す、種子は蛋白、油を含み炒食、根は塊根で澱粉、蛋白を含み生食、若葉も生食、煮食

225

食	薬					
	染	材			観	



インドシタン　　　（マメ科）

地方名　アンサナ（馬）セナ（馬）プラプー（泰）

産　地　熱帯アジア（栽培）（原産マライ）

性状用途　喬木、街路樹、枝垂下、花黄。花と若葉はゆで食す。樹皮を傷つけて出る赤色キノ及び樹皮はタダレ特に口内炎、鵞口瘡、下痢に用ふ。心材は褐色、クワリンの一種としてシタン代用家具用、材より色素を採りサンタルレッドと云ひ他材の着色用

食			肥		
[illegible]					



Pueralia phaseoloides BENTH.

ナンヨウクズ　　　　（マメ科）

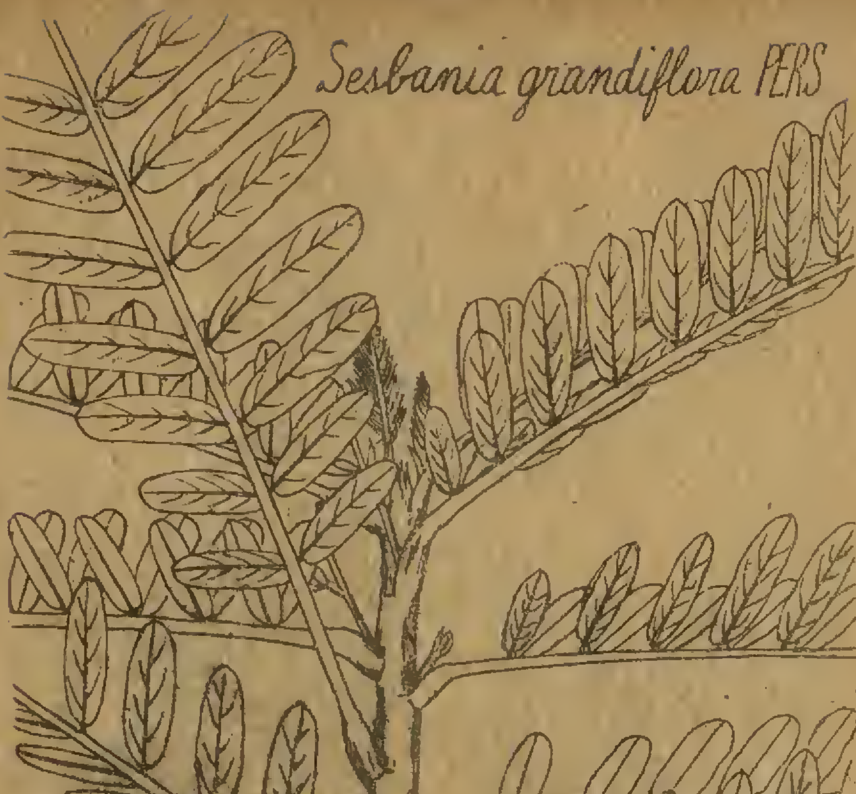
地方名　カチヤン・カチヤン(馬)
産　地　東アジア、マライ半群島
性狀用途　やや木質蔓、葉裏多毛、肥大根は食用、莖の纖維は、索とする、
　　　　コーヒー、ゴムの下草として綠肥に用ふ．

226



アソカ（無憂樹）　　（マメ科

地方名　ガピス（馬）タラン（馬）アソカ（印）
産地　熱帯アジア
性状用途　灌木、花黄又は赤、幹から房状の花が出る、果は扁平大形、若葉は桃色で垂下、花、若葉をゆでて食す。果も良い飼料であるから食用可なるべし。インド教、佛教の聖樹（サラソウジュ）種類が多いが、何れも似たもので素人には識別困難、此図はマライ産のタイピンアソカで花黄



シロゴチヨウ　　　　（マメ科）

地方名　グーチ（馬）ケパン（泰）
[illegible]　アフリカ、熱帯アジア（栽培）（原産南支？）
生状用途　直立小木、花白（赤花はアカゴチヨウ S. coccinea）葉、花、若果はゆでて食す（少しく苦）、樹皮浸液及び樹脂は赤痢に内用、（大量用ると吐く）幹を傷つけて出る液はアラビヤゴムに似て空中で暗赤色になり溶し、樹皮汁は網の強化用

食			飼			

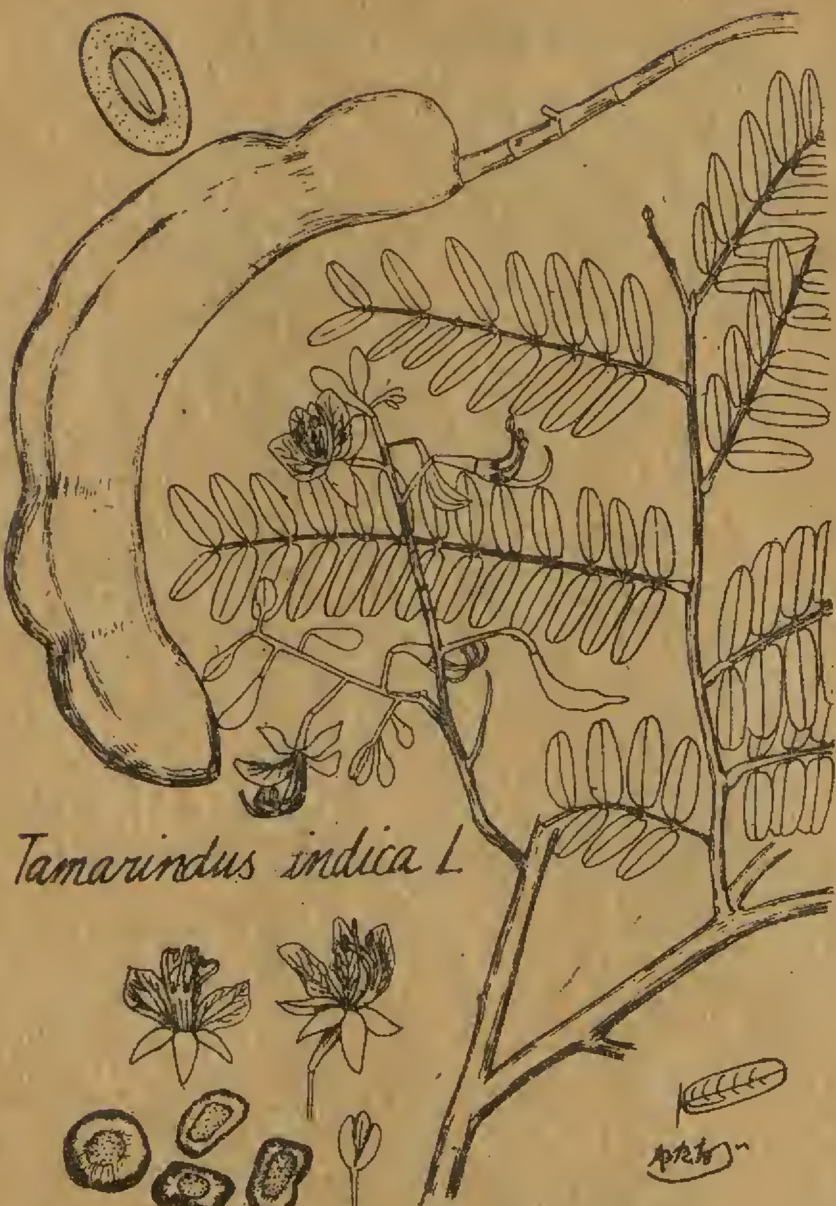


Smithia sensitiva AIT.

ネムリハギ　　　　（マノ科）

地方名　ナシ
產　　地　熱帶アジア、アフリカ
性狀用途　半開草、やや乾地を好む、葉食用、飼料

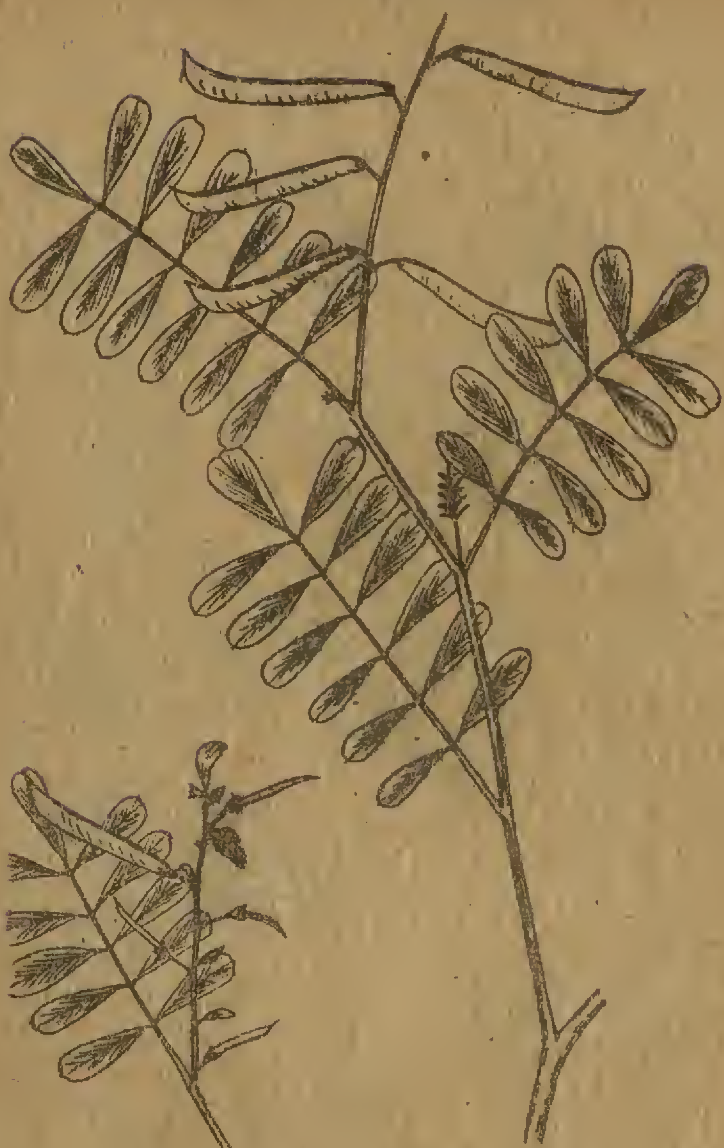
食	薬					
	染	材			観	



タマリンド　　　　（マメ科）

地方名　アサム・ジャワ(馬)マカーム(泰)
産　地　熱帯（栽培）（原産アフリカ・インド）
性状用途　中喬木、花黄、赤條、果灰褐色、果皮厚く酸く蒸して味楽とし調味、魚肉貯蔵用ジャム用、種子は炒食又は澱粉を採る、果皮酒石酸クエン酸あり清涼緩下、　樹皮、種皮はタンニンあり傷、腫物の収斂、果皮はウコン、ベニノキの染色定着用、金物のミガキ料、材はマホガニー代用. 街路樹

食	薬					
	染					



Tephrosia purpurea PERS.

ナンバンクサフヂ　　（マメ科）

地方名　ピラ（印）カピライ（印）

産　地　熱帯（歸化?）

性狀用途　灌木狀草、種子はコーヒー代用、全草瀉下、整腸、根の煎汁は消化不良、疝痛に内用、葉はルチン（配糖體）あり橙褐色染料

食				肥		



Teramus labialis SPRENG.

ソリサヤアヅキ　　　　　（マメ科）

地方名　カチヤンガン・サピ（爪）
産　地　熱帶アジア　アフリカ（マライでは北部）
性狀用途　莖、若葉食用、綠肥

229

食						
[illegible]	染					



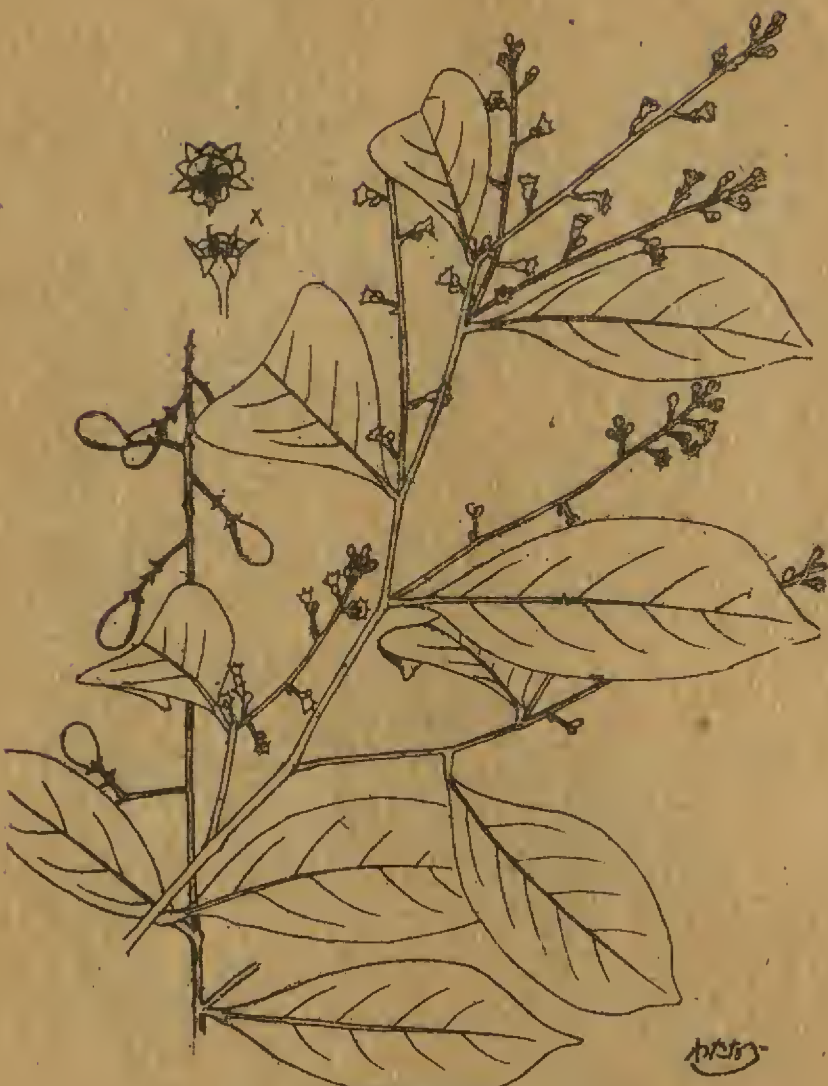
ザ サ ゲ（ナガマメ）　　（マメ科）

地方名　カチャン・パンジャン（馬） ウア・フア・ヤラ（泰）

産　地　温熱帯（栽培）（原産アフリカ）

性状用途　蔓、花白黄、羅骨様のみ葉、果長、熱帯低地で容易にできる豆で品種多数、斑種子の品種は　若莢、若葉食用、白種子の品種は熟種子を煮食、澱粉用、モヤシ用、葉はインヂゴ染と共用して、緑色を得、茎より繊維を採り得

食						
		材				



Angelesia splendens KORTH

ホシツバキ (バラ科)

地方名　メルバツ（馬）　カユ・ビシ(スマトラ)
産　地　マライ、スマトラ、ボルネオ、フイリピン
性状用途　小木、板根を生ず、鋸歯なきツバキの如し、花黄緑、不整、果食用、材は堅く周材桃色、心材褐、共に耐久力強し

230

食	薬					



ナンヨウキイチゴ （バラ科）

地方名　タムプルンガ(馬)フアーレツプ(泰)
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途　灌木、多刺、花白、果赤食用、全株赤痢に用ふ
(2)クサイチゴ　產、インド、マライ半群島、日本間(マライでは山地)果赤食用



Altingia excelsa NORONHA

ラクサマラソゴウコウ　　（マンサク科）

地方名　ラクサマラ（馬）
產　地　インド、ビルマ、マライ、スマトラ、ジャワ
性狀用途　香木葉は松脂の香あり、赤褐色をなして居る若葉を生食す、煮ると却て澁味を帶る、幹を傷つけて流動性樹脂蘇合香を採り疥癬に塗布

231

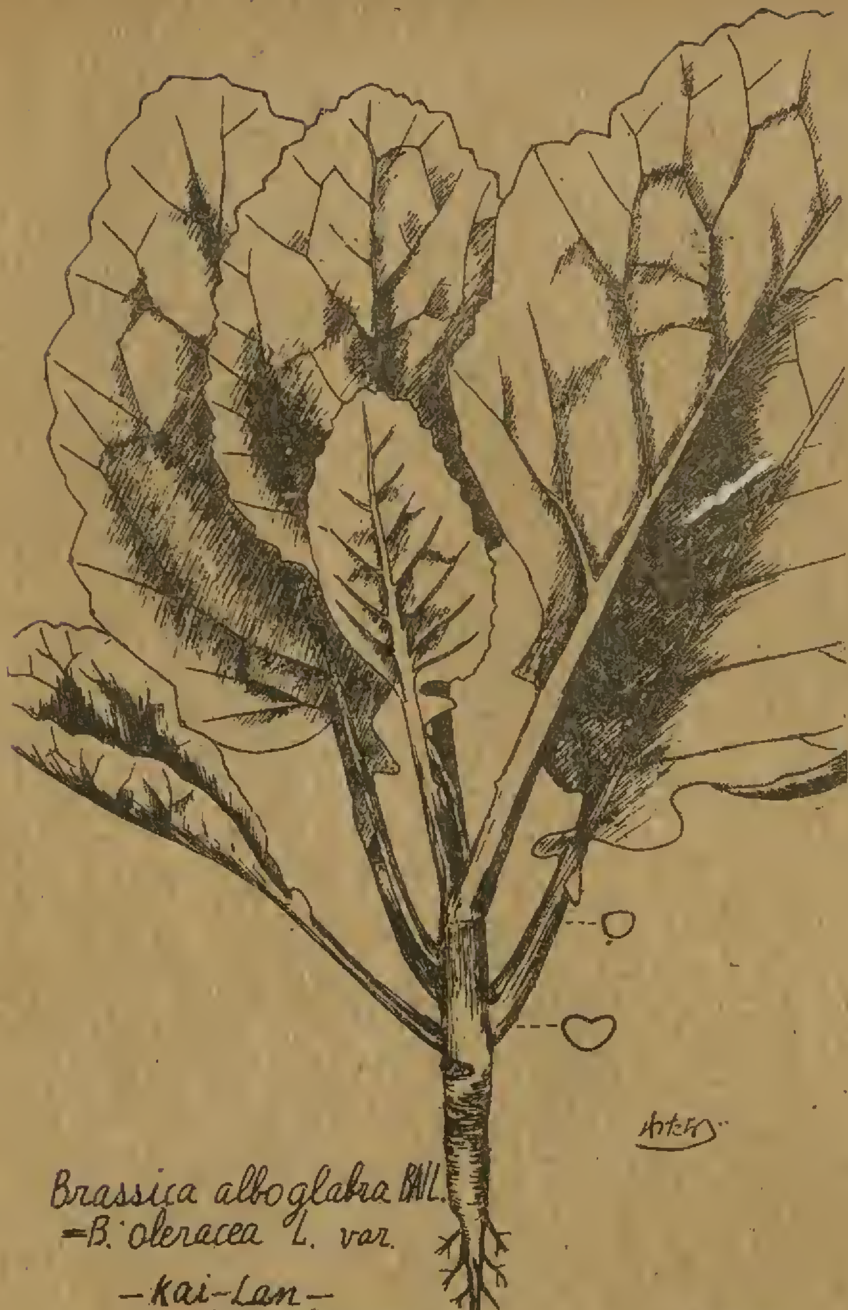
食	薬	油				
繊	染					



ワサビノキ　　　　（ワサビノキ科）

地方名　ムルンガイ(馬) マルム(泰)
産　地　熱帯(栽培)(原産インド)
性状用途　小木、花黄、葉はマツカゼサウの如し、若果、花、枝、葉、根共にゆでて辛味料として食す、根は皮膚引赤にカラシ代用、葉は利尿、樹皮は月経促進、堕胎、樹皮の粘液はトラガカント代用に眼疾に内用、種子油はサラダ油、時計油、油粕はアルカロイドとサポニンを含み飼料にならぬ、材は青染料、樹皮は粗繊維を有す

食



タマナシキャベツ　　（十字科）

地方名　カイラン(芥藍)(支)

産　地　マライ(栽培)

性狀用途　野菜、支那より輸入の品種で不出來のハボタン狀、葉は厚く藍綠粉白、三十日で食用、熱帶低地でも乾期に開花結實す、花淡黃やや大形、味はキャベツに同じく高價野菜

232

食



チヨウシウハクサイ　　（十字科）

地方名　ワンパクチヨイ（土白菜）チユウチヤウパクチヨイ（潮洲白菜）
産　地　マライ（栽培）
性狀用途　野菜、葉柄扁平なれ共葉面は葉柄基部迄伸てゐる、葉柄、葉脈は上面やや白色、裏面淡緑色、鋸歯あり、スープとして食す、マカオハクサイより上等とされる

食						



カ フ ナ　　　　　(十 字 科)

地方名　カイチョイ(芥菜)(支)

產　地　マライ(栽培)

性狀用途　野菜、支那種のカラシナで高さ二尺に達するものあり、葉は上半部廣く下半次第に狹まり葉柄の基まで葉面が續く、鋸齒は鈍く葉の中肋は表面ではやや白いが裏面では葉と同じ綠色で縱溝あり、葉は根際でも輪生せず、上下あり、ヒロシマナの如し、葉はカラシナの香あり漬物、マライでは平地より高地で生育よし、高地では採種可能

食						



マカオハクサイ　　　　（十字科）

地方名　パクチヨイ(白菜)マカオパクチヨイ(媽九白菜)(支)

產　地　マライ(栽培)

性狀用途　野菜、葉柄長く白色、扁平にしてやや廣し、葉身はやや圓形にして葉柄は葉面に入るや直ちに分脈放射す、スープとして食す、マライで種子も得られる

食



チヨウシウチヨイサム （十字科）

地方名	チユウチヤウ・チヨイサム(潮洲菜心)(支)
産　地	マライ(栽培)
性狀用途	野菜、マライ平地に栽培する、葉は鋸齒あり、葉柄は長く白色に近し、葉は淡綠色、マライ低地でもよく開花結實す、普通のチヨイサムよりも栽培容易なり、煮食、漬物とする、香氣なし

23-1

食



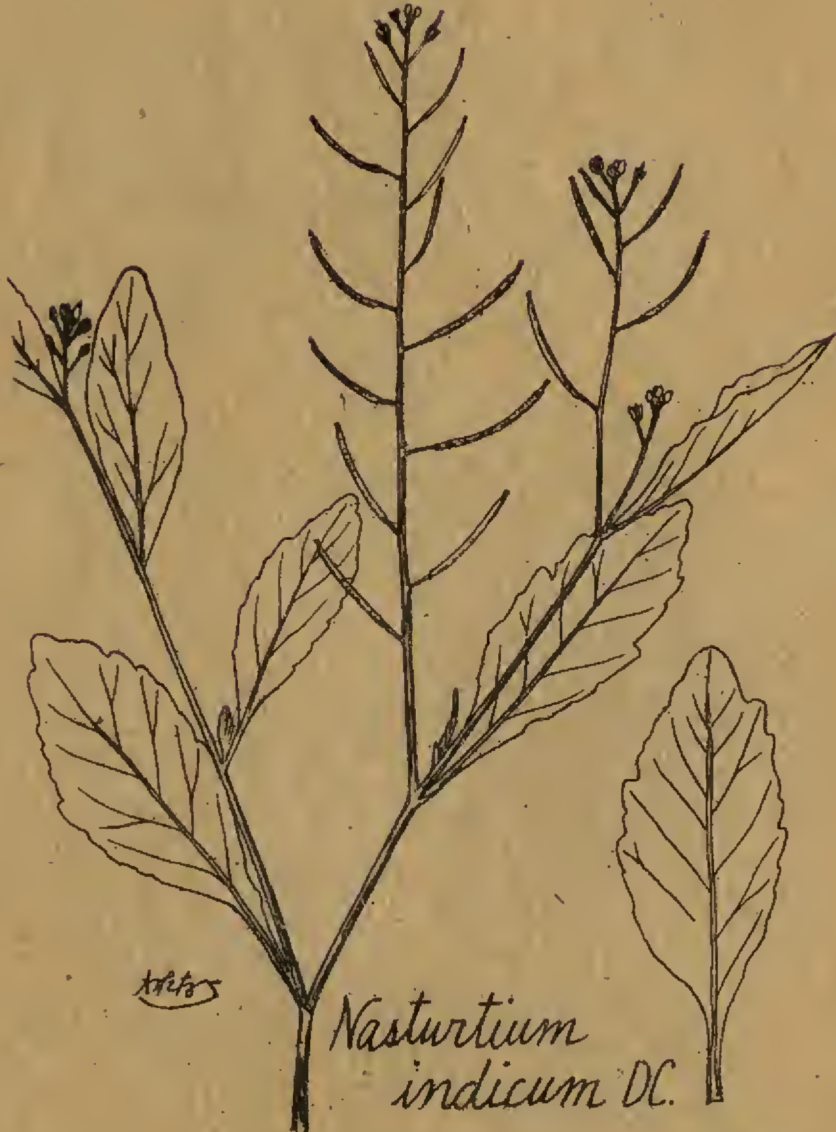
チヨイサム　　　（十字科）

地方名　チヨイサム（菜心）（支）

產　地　マライ（栽培）

性狀用途　野菜、マライ平地に栽培する十字科　葉は圓味あり。鋸齒なく葉柄は長く緑色、マライの低地でよく開花結實す、普通に煮食、漬物とする、香氣なし

食	藥					



イヌガラシ　　　　（十字科）

地方名　サウイ・ルマー（馬）.
産　地　温熱帯アジア
性狀用途　草，花黄、全草野菜として食用、種子は下剤、喘息用

235

食



Nasturtium officinale R.BR.

オランダガラシ　　（十字科）

地方名　スラダ・アエル（馬）ウオタークレス（英）

產　地　温熱帶（マライでは栽培）

性狀用途　水濕地に栽培する草、サラダとして或はゆでて食用、辛し

倉藤



Raphanus sativus L.

ダイコン　　（十字科）

地方名　ロバ(馬)
産　地　アジア温熱帯(栽培)
性状用途　野菜、本来温帯の冬作物故熱帯では無理であるがマライに適應した品種に支那大根なるものがある。但マライ低地では種子を得難い、種子は利尿、下剤、消化刺戟、去痰用
(2)マドラスダイコン　インド産で　果を食す、果長一尺
(3)　ハツカダイコン　ヨーロッパ種で　南方では生育悪し

食	薬					



Capparis micracantha DC.

マライフウチヨウボク　（フウチヨウサウ科）

地方名　ムラダ(馬)チエン・チー(泰)

産　地　ビルマ、タイ、マライ半群島

性狀用途　灌木、海岸砂地、有刺、果紫色、芳香、熟果を食す（未熟果やや有毒）葉は喘息、心臟痛に内用、煙は氣管支炎に喫煙、根は利尿

フウチヨウサウ科は毒のものはない

食	薬					



インドギヨボク　　（フウチヨウサウ科）

地方名　ルヌワラナ（印）
産　地　インド、マライ（栽培）
性状用途　灌木、花白、雄蕊やや紫、若葉、花は食用、果も食し得と云ふ、葉は痛風性腫張に内用、樹皮は食慾増進に食す、マライ野生種は二種あり**C.laphosperma C.macrocarpa**で（1）に酷似し何れも濕地に生ず、用途（1）と同じ

237

食	薬	-				



ムラサキヒメフウチヨウ　（フウチヨウサウ科）

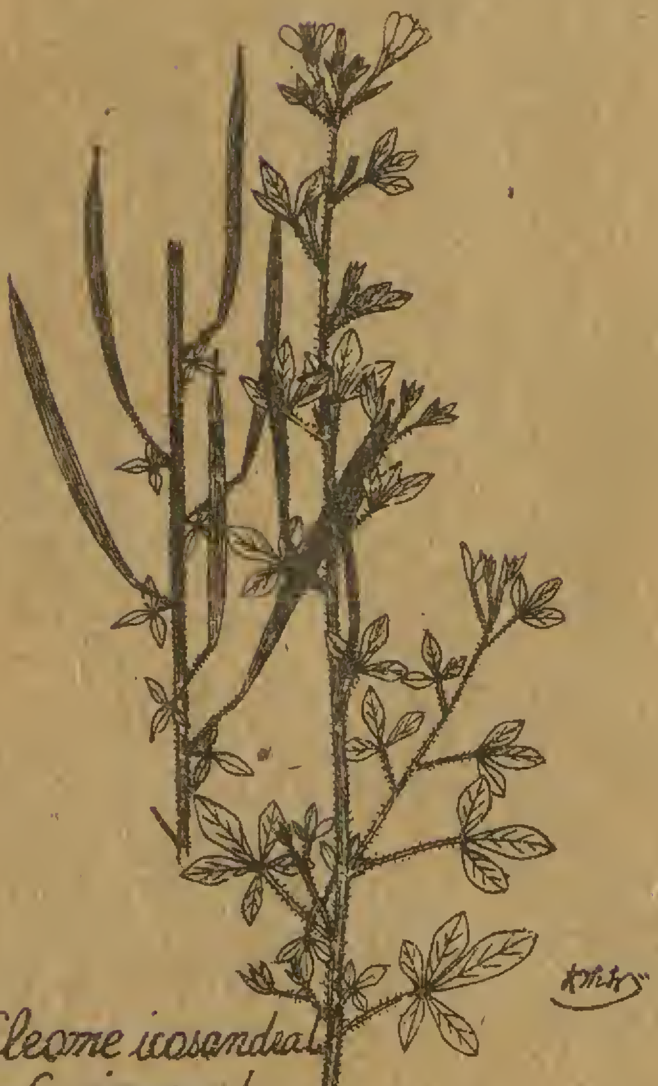
地 方 名　イタンチヤウ(支)

産　　地　インド、マライ半群島

性狀用途　雜草、刺は痛し。花淡紫。全草ゆでて食用、根は驅虫作用あり

(2)　ヒメクレオメ、枝が散開性、他は(1)に同じ(アメリカより歸化)

食 薬



Cleome icosandra L.
= C. viscosa L.

キバナヒメフウチヨウ　（フウチヨウサウ科）

地方名　ママン・プテ(馬)パシエンピ(泰)

産　地　熱帯

性狀用途　雜草、粘毛あり，花黃、全草辛味として食用、果は酢漬として食す、葉の煎汁は赤痢に、種子の煎汁は驅虫に用ひる

238

食	薬	油	飼			
					、	毒

Gynandropsis gynandra BRIQUET.
= *G. pentaphylla* DC.



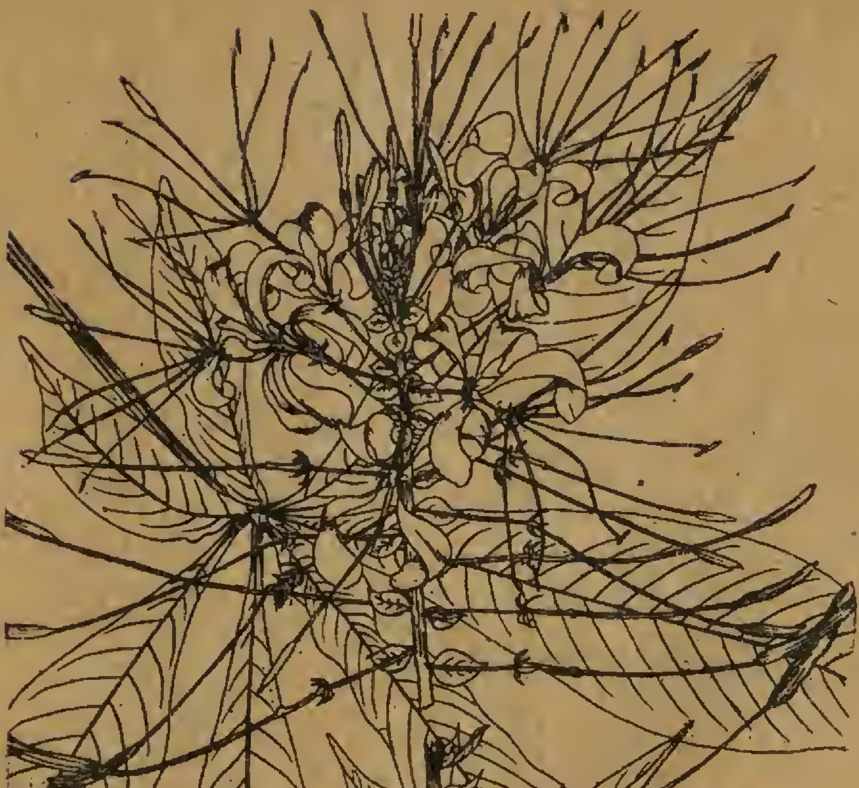
ゴヨウフウチヨウ （フウチヨウサウ科）

地方名　ママン・ウタン(馬)ウエラ(印)

産　地　熱帯

性狀用途　雜草、花白黄、全草食用、又全草頭痛、リウマチに罨布、蛇咬にも用ふ、種子は油を含み鳥の飼料、油は毛ジラミの驅除又は魚毒

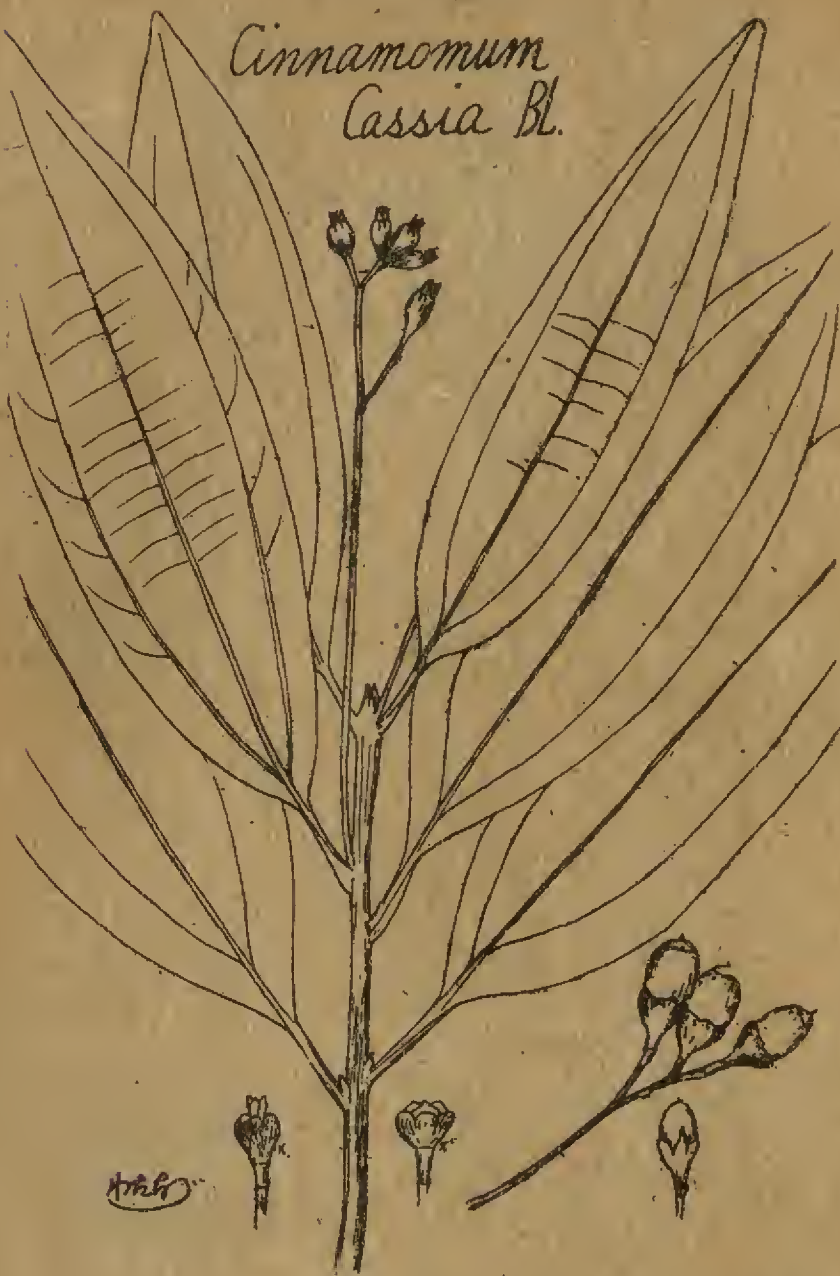
食						
					觀	



オオバナフウチヨウサウ　（フウチヨウサウ科）

地方名　ママン(馬)
產　地　温熱帶(栽培)(原產アフリカ)
性狀用途　觀賞用草　花白又は紫　葉食用可なり

食	薬				香	



シナニクケイ　　（クス科）

地方名　カユ・マニス・チナ(馬)
産　地　南支(廣東、廣西)　インドシナ
性狀用途　小木、未熟果は調味料、樹皮は眞の桂皮(支那桂皮)で香氣はセイロンニクケイより劣るが健胃、矯臭薬とする

食	薬					雑
		材	糊			

Cinnamomum iners Bl.



イヌニクケイ　　　（クス科）

地方名　カユ・マニス・ウタン・（馬）オブ・チヨエキヤ（泰）
産　地　熱帯アジア
性状用途　喬木、果は食用、樹皮は無香（ジャワ）からニクケイに代用し得る芳香のもの（フイリピン）迄色々あり、但乾燥して始めて発香するものもある故乾して判定す　材は白、建築用、又材の鉋クズは水に浸すと粘液を出し製紙の糊料、頭髪其他の滑剤（鉋花ポーファー）とす

240

食	薬				香	
		材				

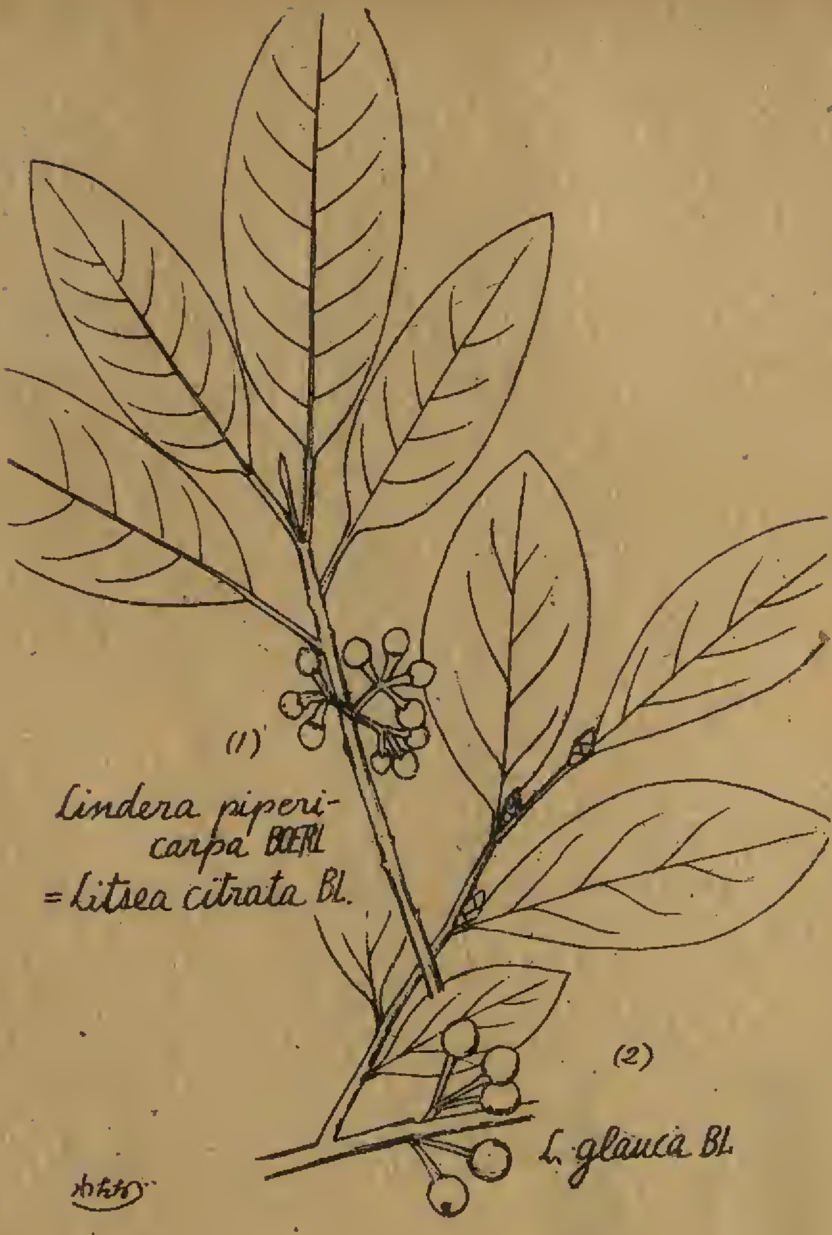


Cinnamomum parthenoxylon MEISSN

ガヂスグス　　　（クス科）

地方名　カユ・ガヂス（馬）
産　地　ビルマ、タイ、マライ、スマトラ、ジヤワ
性状用途　香木、葉裏紛白、樹皮、葉は芳香で調味料未熟果はササフラスの香ありブンガ・ラワン或はクレバン・ラリンの名で支那肉桂果代用として販賣す、材は褐色で軟、室内用材、セリ科に類する香あり、材よりサフロールを含む精油を採る

食					香	



Lindera spp.

コシヨウミヤマコウバシ　　　（クス科）

地方名　ムダン・ムルク(馬)
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途　小木、葉裏粉白、果はコシヨウの形で香氣あり調味料、全株シネオール系精油を含む
(2) ウラジロヤマコウバシ產、南支、果はコシヨウに代用

2-41

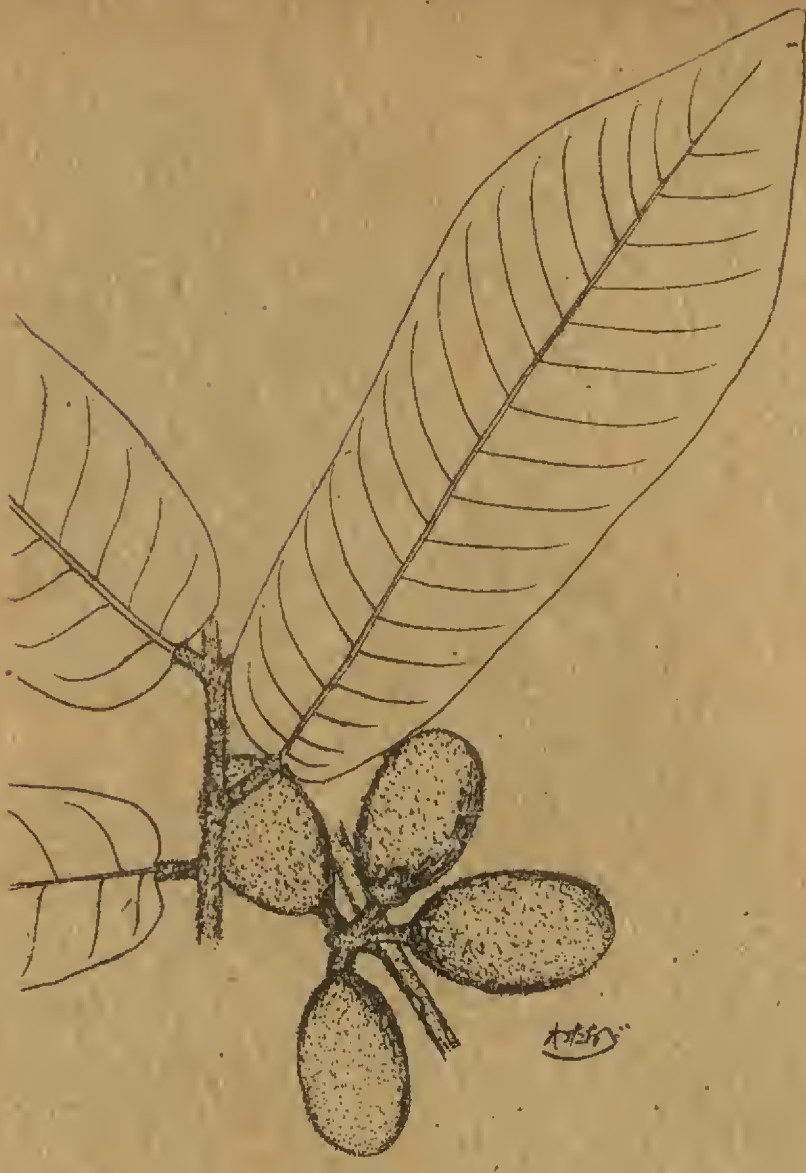
食						



Persea americana Mill.

アボガド(ワニナシ)　　　　(クス科)

地方名　アボガド(英)
產　地　熱帶(栽培)(原產アメリカ)
性狀用途　小木、品種多く果の形、色等種々、果は中に一種子あり、果肉を食用、採果後に數日後熟せしめて食す、炭水化物、蛋白、脂肪あり榮養價大

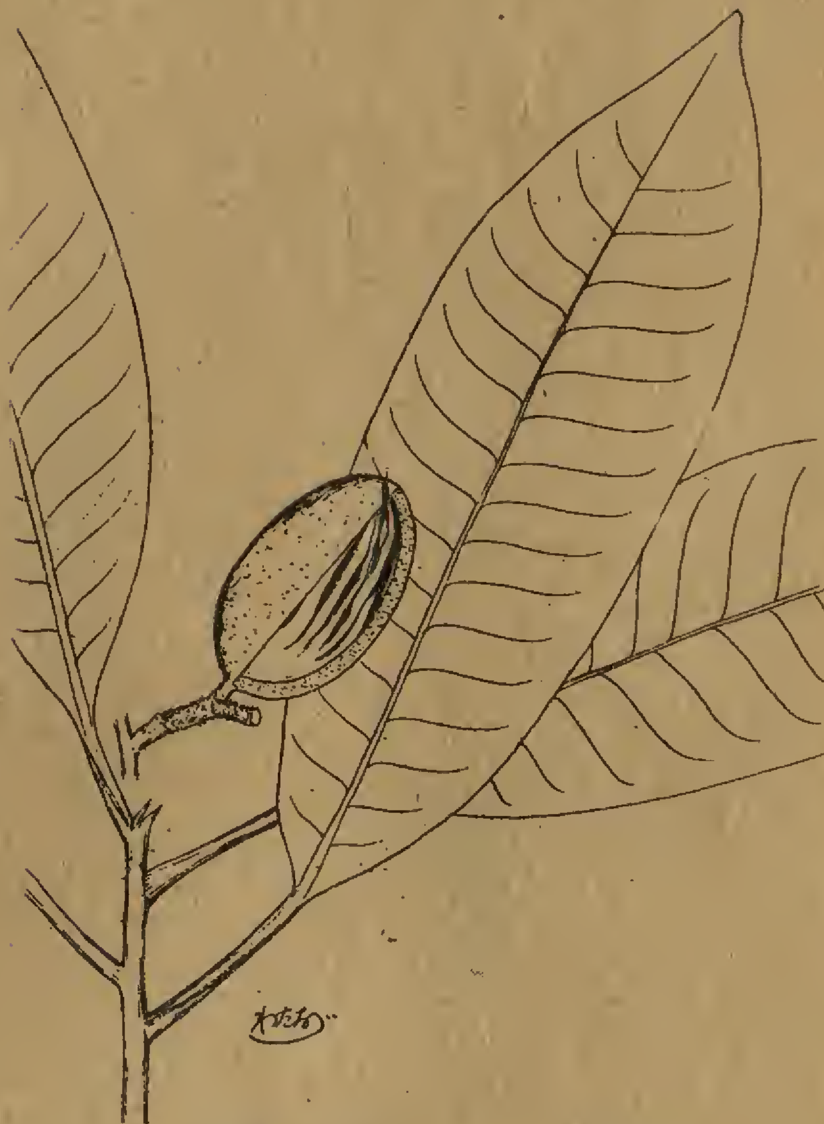


Knema laurina WARB.

アツバヤマニクヅク　　　（ニクヅク科）

地方名　プナルハン・イタム（馬）　チユンダラ・イタム（馬）
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途　喬木、葉は厚く裏面短毛、果はニクヅクと同様に食用

食					香	



Myristica crassa KING

オオバヤマニクヅク　　　（ニクヅク科）

地方名　パラ、ブキット（馬）

産　地　マライ

性状用途　山地の喬木、葉は厚く果はニクヅクと同じく食用

食	薬				香	



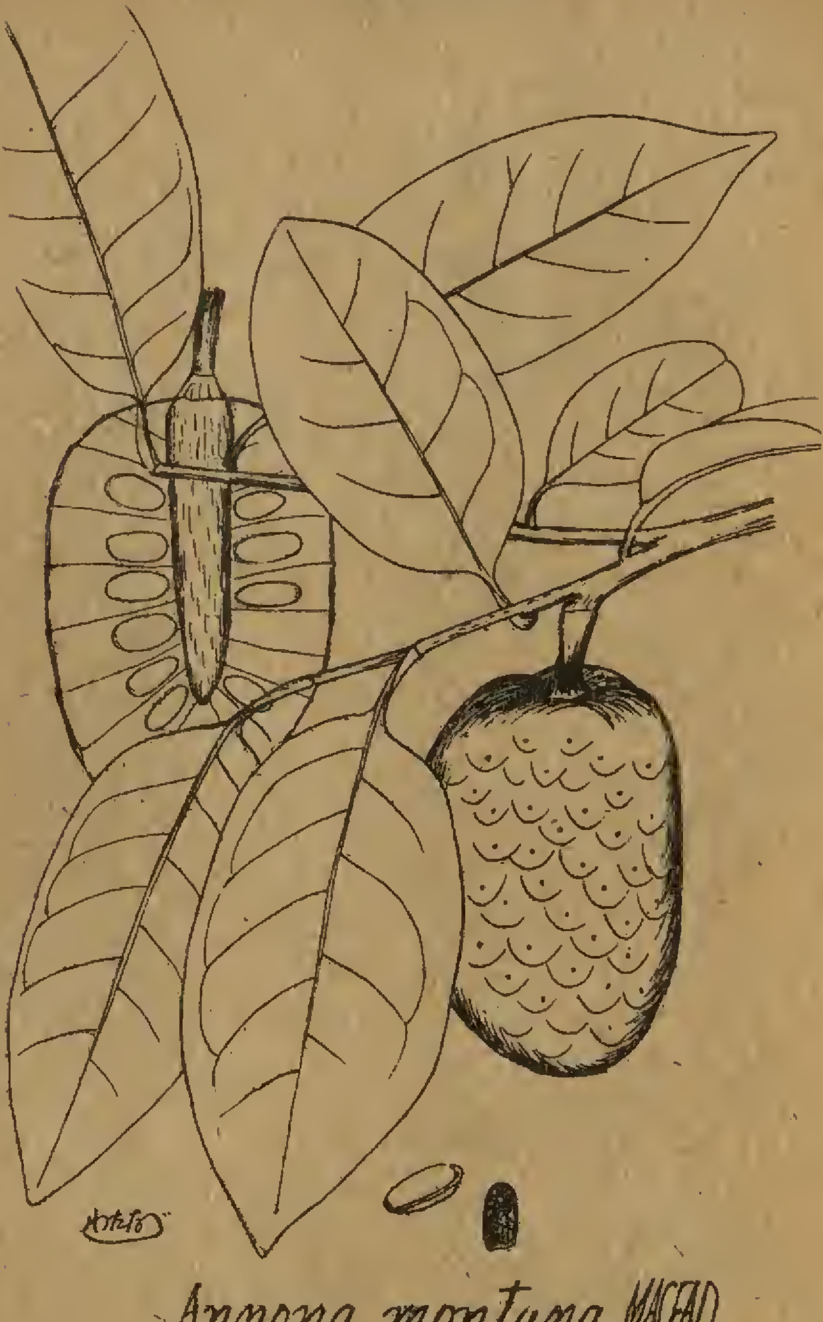
Myristica fragrans L.

ニクヅク（肉豆蔲）　　　　（ニクヅク科）

地方名　ブア・パラ（馬）　荳扣（タウカウ）（支）
産　地　熱帯（栽培）（原産モルッカ）
性状用途　小木、果は芳香、淡黄、種子褐、種子の面に赤色網目の種衣（肉豆蔲花）あり、果肉は塩水で渋抜し糖漬、ジャム、料理用、種子は油脂、香料を含み調味料（多量は有毒）、種衣も香味料、種子は健胃、矯味、駆臭薬

243

食



Annona montana MACFAD

ホシバンレイシ　　　　（バンレイシ科）

地方名　ノナ・リンテ（馬）
産　地　熱帯（栽培）（原產アメリカ）
性狀用途　灌木、果食用

食	薬					
繊						



Annona muricata L.

トゲバンレイシ　　　　（バンレイシ科）

地方名　ノナ・ドリアン
産　地　熱帯（栽培）（原産アメリカ）
性状用途　灌木　葉はカキの如し、花黄、外面やや緑、果緑、甘酸、食用、
但搾汁を飲むを可とす、ジャム用、又醗酵飲料
果は壊血病に、種子は吐剤に、葉は皮膚病、咳、リウマチに用ふ
樹皮の繊維は強し、ラック虫、アトラスモスの飼料

244

食	薬					
	染					毒



Annona reticulata L.

ギウシンリ（牛心梨）　　　（バンレイシ科）

地方名　ノナ・ジャントン（馬）ノナ・カプリ（馬）
産　地　熱帯（栽培）（原産アメリカ）
性状用途　灌木、葉はクリの如し、果生食、種子は殺虫性あり、種子樹皮は下痢赤痢に、根は解熱に、葉は驅虫、殺虫用、葉は鞣皮染色（黒）用

食	薬					
	染					



Annona squamosa L

バンレイシ　　（バンレイシ科）

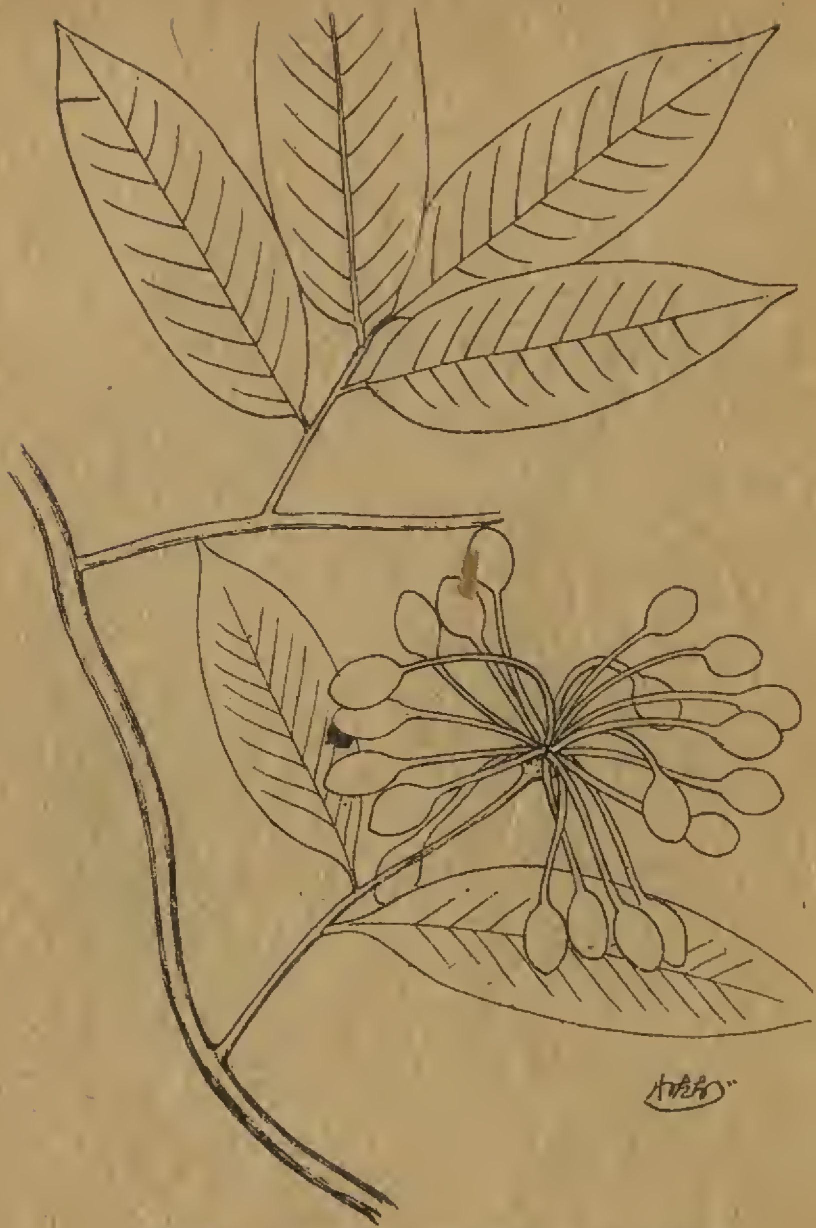
地方名　ノナ・スリカヤ(馬)

産　地　熱帯(栽培)(原産アメリカ)

性狀用途　灌木。果は甘く生食用、又酸酵飲料用、種子の粉は殺虫性ありシラミの驅除用、但粉の眼口入るを注意すべし、粉を膣に入れば墮胎を起す、若果、葉は皮膚の傷のウヂを除くに用ふ、根は下剤、樹皮は鞣皮用、ラック虫飼料

245

食



Sphaerocoryne aberrans RIDL.

バレンカツラ (バンレイシ科)

地方名 アカール・ブンガ・タンジョン(馬)

産　地 インドジナ、タイ、マライ

性状用途 蔓木，果は甘く食用

Uvaria macrophylla ROXB



オオババナナノキ　　　（バンレイシ科）

地方名　アカール、ピサン、ピサン・ジャンタン(馬)ノム・チヤン(泰)

產　地　インドよりジヤワ迄

性狀用途　蔓木　花は赤く中央黃　果は食用

食	薬					雑

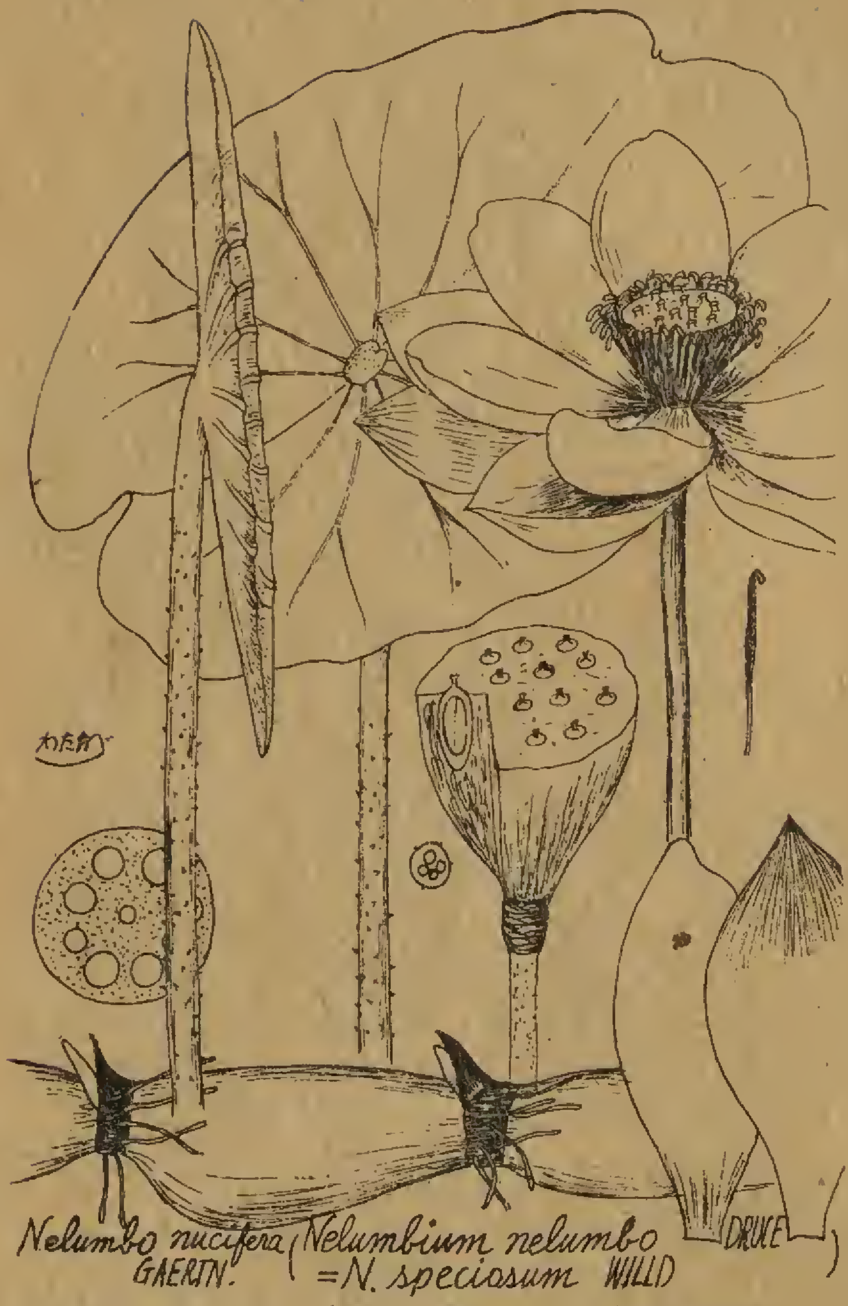


Uvaria purpurea Bl.

アカバナバナナノキ　（バンレイシ科）

地方名　アカール・ピサン・ピサン・クニン(馬)
　　　　クルーイ・ムー・サン(泰)
産　地　ビルマ、タイ、マライ、インドシナ、フイリピン
生状用途　蔓木、花赤、葉は鋸歯なきビハの如し、果芳香食用、葉も飯と共に炊ぎ腸のガス止に食す．葉．根の煎汁は胃痛に用ふ．蔓はトウの代用

食	薬					
					観	



Nelumbo nucifera GAERTN. (*Nelumbium nelumbo* DRUCE = *N. speciosum* WILLD)

ハ　ス　　　（ヒツジグサ科）

地方名　スロジヤ(馬)ブンガ・パダム(馬)ブーア・ルアン(泰)
産　地　熱帯アジア、東アジア(栽培・野生)
性状用途　水草、根茎、若葉、葉柄、果(種子の如く見ゆ)食用、根茎、花弁は下痢止、胚はネルビン(アルカロイド)を含み苦く解熱に、雄蕊は收斂利尿に用ふ



Nymphaea

ヒツジグサ属　　　　（ヒツジグサ科）

水草、葉は水上に浮ぶ、根、若果、種子はゆでて食す、特に根にはアルカロイドありゆで出すを要す、マライに野生する食用品次の如し

(1)　ムラサキヒツジグサ 地、スロジヤイビル(馬)ツルボ(馬)ブーアヤブアン(泰)產東南アジア、花青、葉鋸歯

(2)　ナナヒツジグサ 地、マルボプラ(馬)ソンジョンヤマス(馬)ブーアヤブーン(泰)產、熱帶(野化)(原產アフリカ)花白、紅、葉裏有毛

青色花でアフリカ產N. cierulea は鋸歯なく　N. capensis は花大

食	薬					
	染		糊			



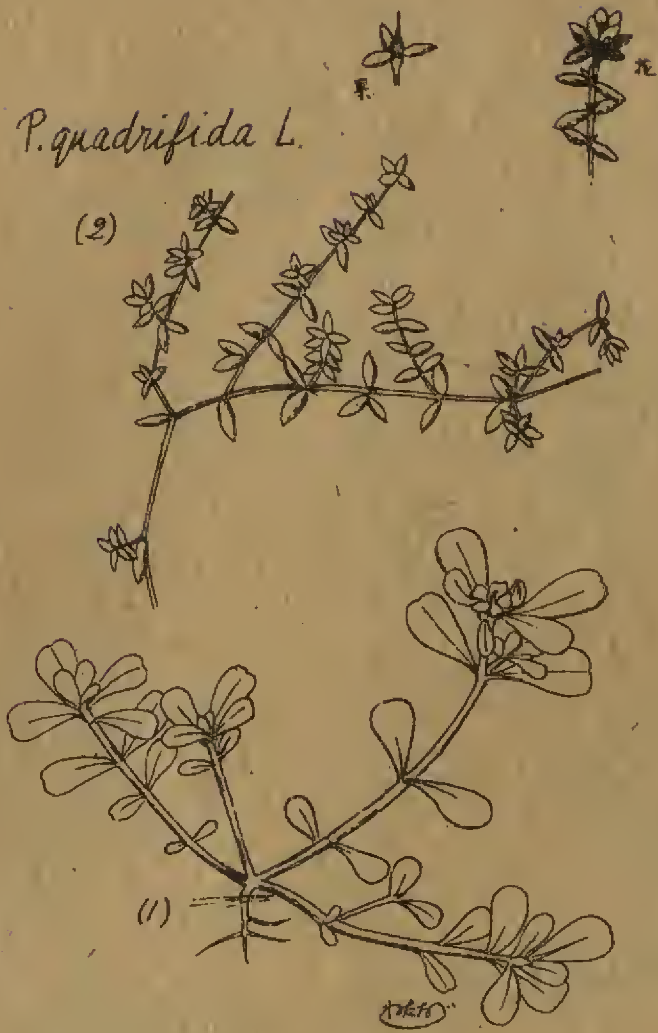
Basella rubra L

ツルムラサキ　　（ツルムラサキ科）

地方名　ルマヨン(馬)グンドラ(馬)パブラン(泰)セイロンスピナチ(英)
産　地　熱帯(栽培)(原産インド)
性狀用途　蔓草、莖の紫色のものが多い(綠のもある)、花白先端桃色、莖葉をホウレンソウの樣に食す、粘質美味、ビタミン含量多し、小兒や姙婦の下劑、赤色種の果汁は結膜炎に外用莖の粘液は製紙糊料、果の紫汁は食品着色

248

食	蔬					



Portulaca oleracea L

スベリヒユ　　　　（スベリヒユ科）

地方名　ゲラン・パシア(馬)パピア・ヤイ(泰)
産　地　温熱帯
性狀用途　匐ふ雜草、多肉、花黃、晝のみ開く、砂地乾地を好む、野菜として良好、美味、生食も可、飼料、搾汁は眼藥、利尿、種子は驅虫藥
(2)ヒメスベリヒユ　地、ルンプ・セガン(馬)パ・ビア・レ(泰)すべて(1)と同じ

食



ハゼナ（ハゼラン）　（スベリヒユ科）

地方名　ナシ

產　、地　熱帶(栽培)(原產アメリカ)

性狀用途　野菜　高さ一尺　葉はキンセンクワに似たり　厚滑、花紅紫色、全草ゆでて食す美味、サシキで繁殖耐乾性

249

食	薬					



Mollugo pentaphylla L
=*M. triphylla* LOUR

ザクロサウ　　　　(ツルナ科)

地方名　タパ・ブーロン(馬)ソイノカオ(泰)
産　地　インド、マライ半群島
性狀用途　雜草、砂地に多し、食慾增進藥又野菜としてゆでて食す、但少量のサボニンを含む

食						



Sesuvium portulacastrum L

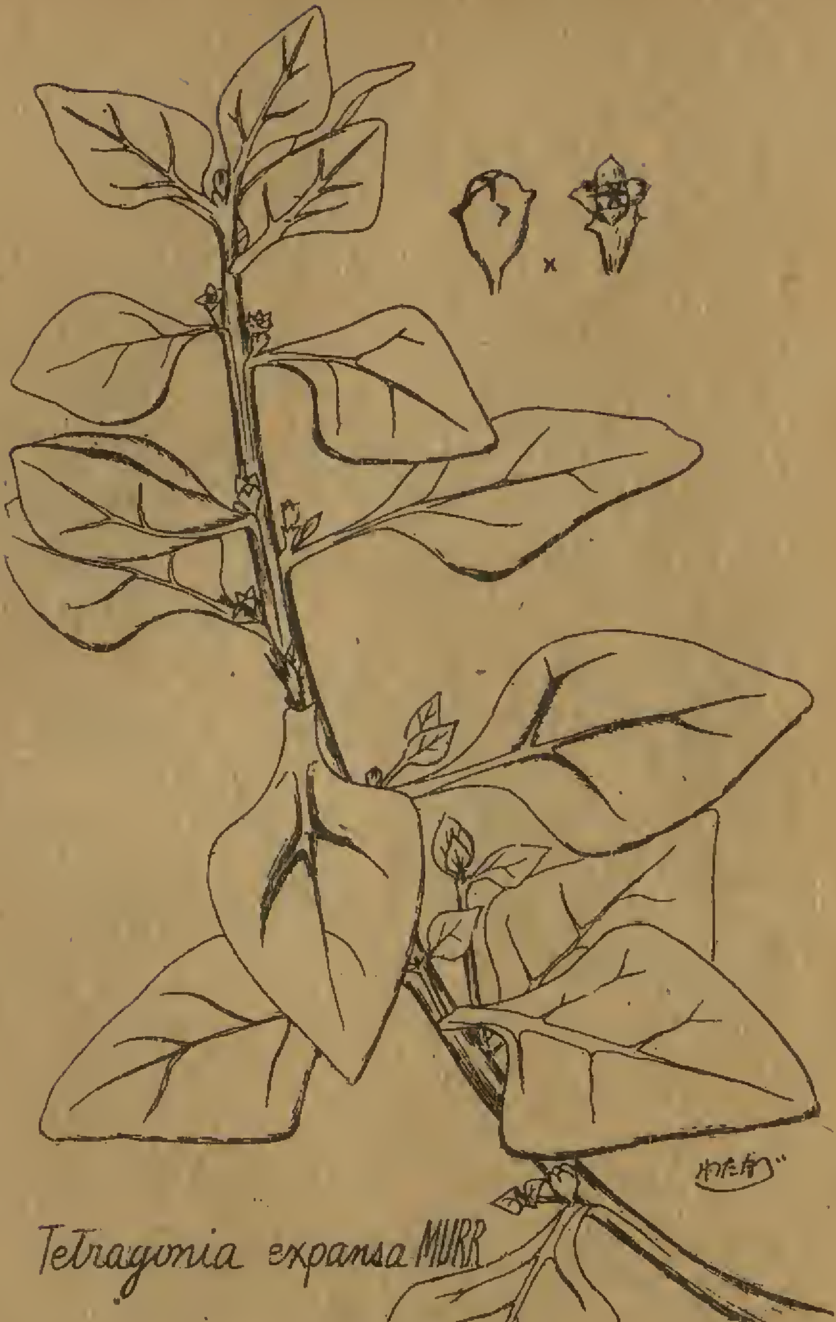
ハマミツナ　　　　（ツルナ科）

地方名　ゲラン・ラウ（馬）

產　地　熱帶

性狀用途　海岸沼地の匍匐草で時に水中に沒す、葉多肉、花內面紅色、葉は鹽分を多量に含み數回ゆでて鹽を去り野菜として食す

食						



Tetragonia expansa MURR

ツ　ル　ナ　　　　（ツルナ科）

地方名　カバ(爪)ニユージーランド・スピナチ(英)
産　地　太平洋諸島、ニユージーランド(マライ半群島では栽培)
性狀用途　やや匍匐草、花黃、ホウレンソウの樣に食す、マライでは低地にも育つが採種は高地が良い熱帶では日本內地程成育良からず

食蔬



ベニカスミ　　（オシロイバナ科）

地方名　コオムヒンパ(泰)スプレデング・ホツグウキード(英)
産　地　インド、タイ、マライ半群島
性狀用途　匍匐草、莖赤、花紅紫、葉は食用、根は利尿藥であるが少し血壓を高め心臟の鼓動を高め又多量に用ると吐劑、但葉は家畜に多量に食はせても差支ない

食						
					観	



イカダカツラ　　　　（オシロイバナ科）

地方名　ブーゲンビル（馬）
産　地　熱帯（栽培）（原産アメリカ）
性状用途　観賞用垣根用灌木、やや蔓性、有刺、三枚の紅色葉は各中肋に一花を着ける、花黄白、若葉はゆでて食す、少し苦し、着色葉の赤いもの、橙色のものものもあり

食



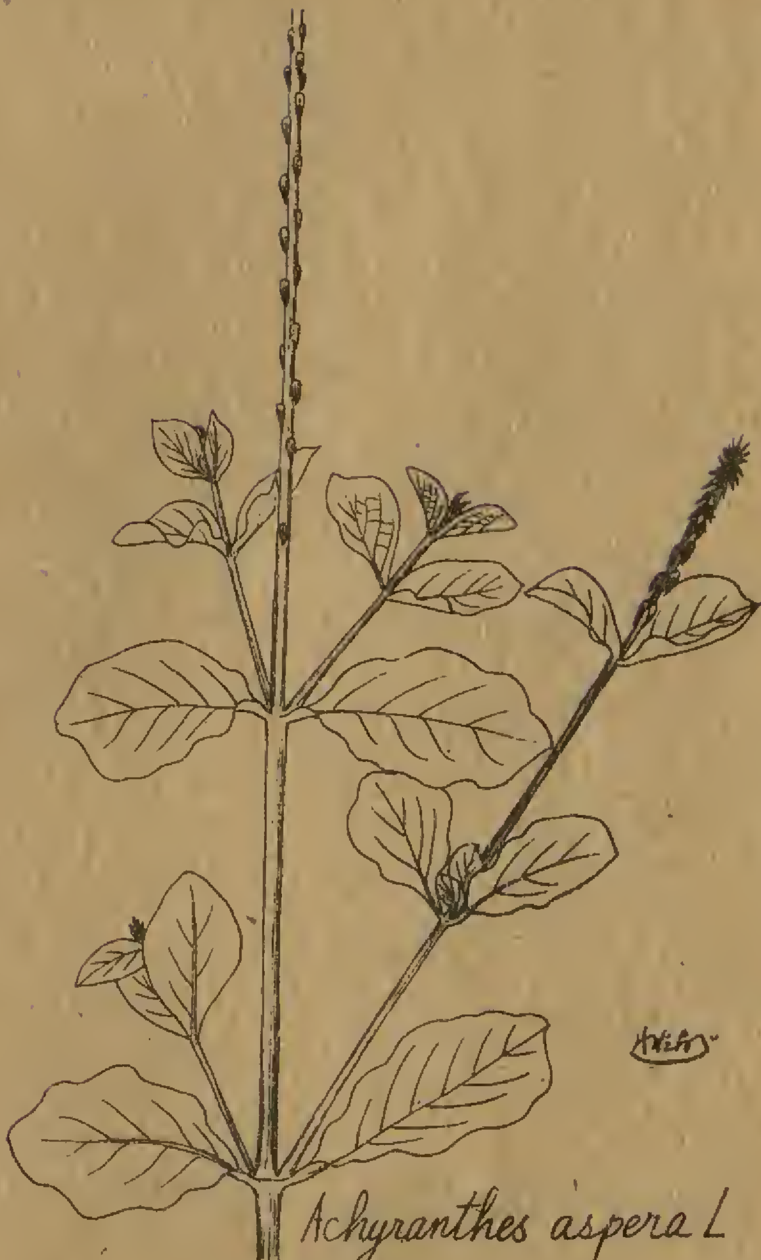
Pisonia alba SPAN

サラダノキ　　（オシロイバナ科）

地方名	コァル・ブランダ(馬)レタスツリー(英)
産　地	マライ半群島(栽培、野生)
性状用途	大灌木、海岸を好む、葉は黄緑で軟、アヂサキの葉に似たり、金黄色葉であるから遠くから判定される、雌雄異株、雄木は緑色がやや濃いがマライには雄木少し、雌木の葉を生食、煮食す

252

食	薬					

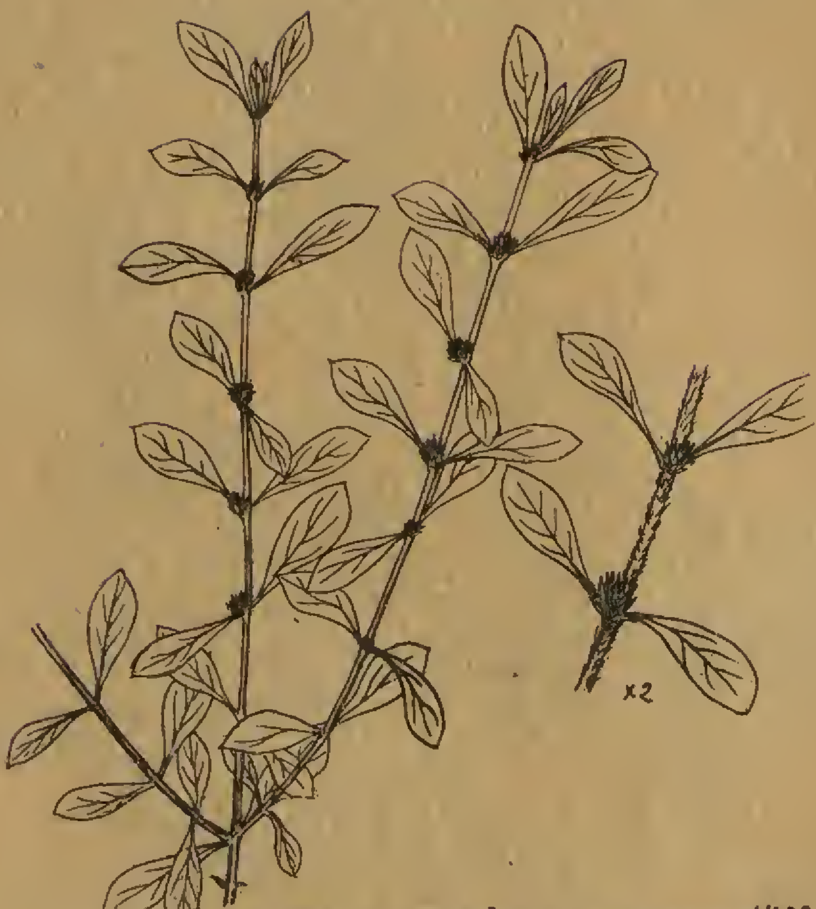


Achyranthes aspera L

インドイノコヅチ　　　　（ヒユ科）

地方名　アラ・リンサン(緬)　カラルセボ(印)
産　地　インド、ビルマ、マライ(北部)
性狀用途　草、若葉は食用、全草利尿に內用し傷に外用

食						
					[illegible]	



Alternanthera amoena VOSS
=*Telanthera amoena* REGEL

モヨウビユ (ヒユ科)

地方名 スラセ・タンジ(馬)
産　地 熱帯(栽培)(原產アメリカ)
性狀用途 低草、花園の緣取に植る、赤葉のもの多し(時に黃葉もあり)葉はゆでて野菜として食す

253

食 薬

Alternanthera triandra LAM.



ツルノゲイトウ　　(ヒユ科)

地方名　コルマ(馬)・ムクヌベンナ(印)

産　地　熱帯

性狀用途　濕地を好む匍匐草、莖やや赤、花群は白くイガ狀で葉腋に生ず。全草食用美味。頭痛其他の痛部に塗布

食



Allmannia nodiflora R.BR.

アルマニア (ヒユ科)

地方名 ナン
產　地 インド、ビルマ、タイ、マライ半群島
性狀用途 海岸砂地の雜草、葉を食用

25

食



Amaranthus blitum L.

イ ヌ ビ ユ　　　　(ヒ ユ 科)

地方名　バヤム・キチ(馬)
産　地　温熱帯
性狀用途　雜草、莖は赤味を帶ぶ、高さ五寸、全草食用、熱帶では日本程繁茂せず
(2)　アヲビユ地、バヤムォプテ總て(1)に同じ

食	薬					
					観	

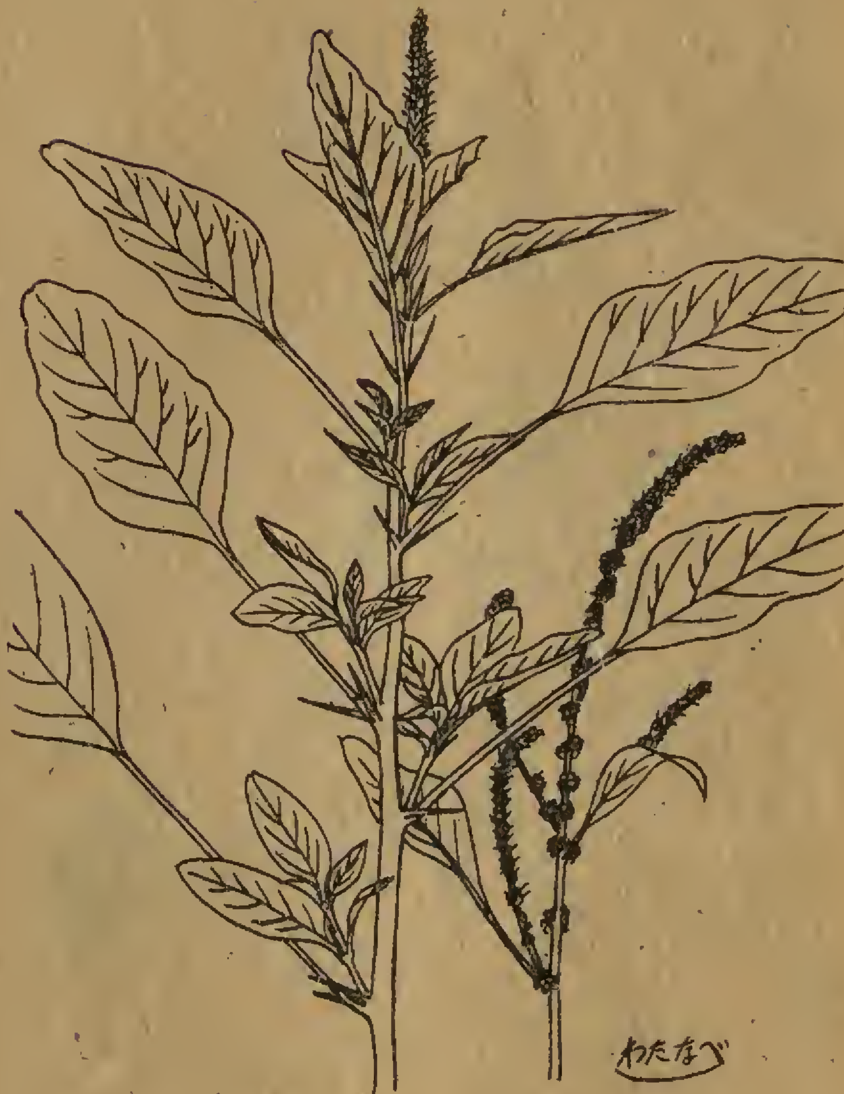


ヤサイビユ　　　（ヒユ科）

地方名　メヤム（馬）
産　地　各地（栽培）
性状用途　草本。熱帯で最も普通な野菜。葉の緑のものが多いが赤黄斑のものを特にハゲイトウと云ひ両者の中間のものもある。此の根はカボチャの根と煎じて人工流産の止血に用ひる

155 (2)スギモリゲイトウ観賞用、又葉、種子を食用

食	薬		飼			



Amaranthus spinosus L.

ハ リ ビ ユ　　　　（ヒ ユ 科）

地 方 名　バヤム・ヅリ（馬）

産　　地　各地（野化）（原産アメリカ）

性狀用途　雑草、食用美味、飼料、根は淋病利尿用、莖葉はサポニンあり打身、炎症、腫物に外用

食



Celosia argentea L.

ノゲイトウ　　　　(ヒユ科)

地方名　バヤム・メラ(馬)
産　地　アジア
性状用途　雑草、花桃色で後白くなる、葉を食用、種子は菓子の文字用

256

食						
					觀	



Celosia cristata L

ケ イ ト ウ (ヒ ユ 科)

地 方 名　バロン・アヤム(馬)
產　　地　栽培
性狀用途　觀賞草、花序のトサカ狀のものから圖の如きもの迄あり。食用、特に赤葉種(圖)は軟く美味

分類



Cyathula prostrata Bl.

キノコツチモドキ　　　（ヒユ科）

地方名　ニヤラン・プテ（馬）
産　地　各地
性状用途　若葉はゆでて食し得べし、根の煎汁は赤痢用

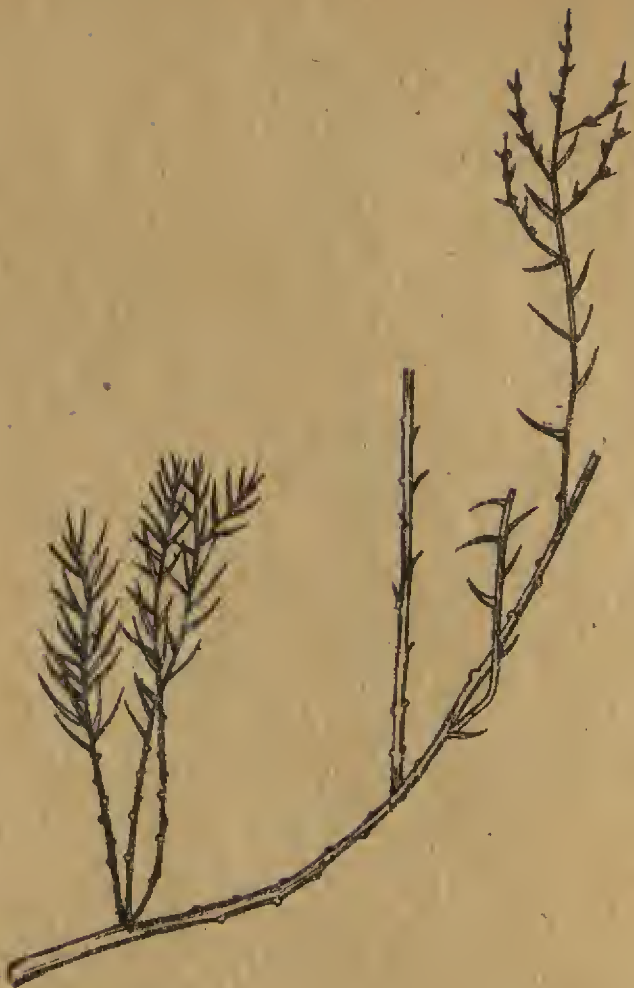
食	薬					



Deeringia amaranthoides MERR

ヒモカツラ　　　　(ヒユ科)

地方名　ナシ
産　地　熱帯
性状用途　茎、若葉はゆでて食す、全草やや有毒、根を酢とミヨウバンと混じ鼻孔の掃除用(クサメを起す)

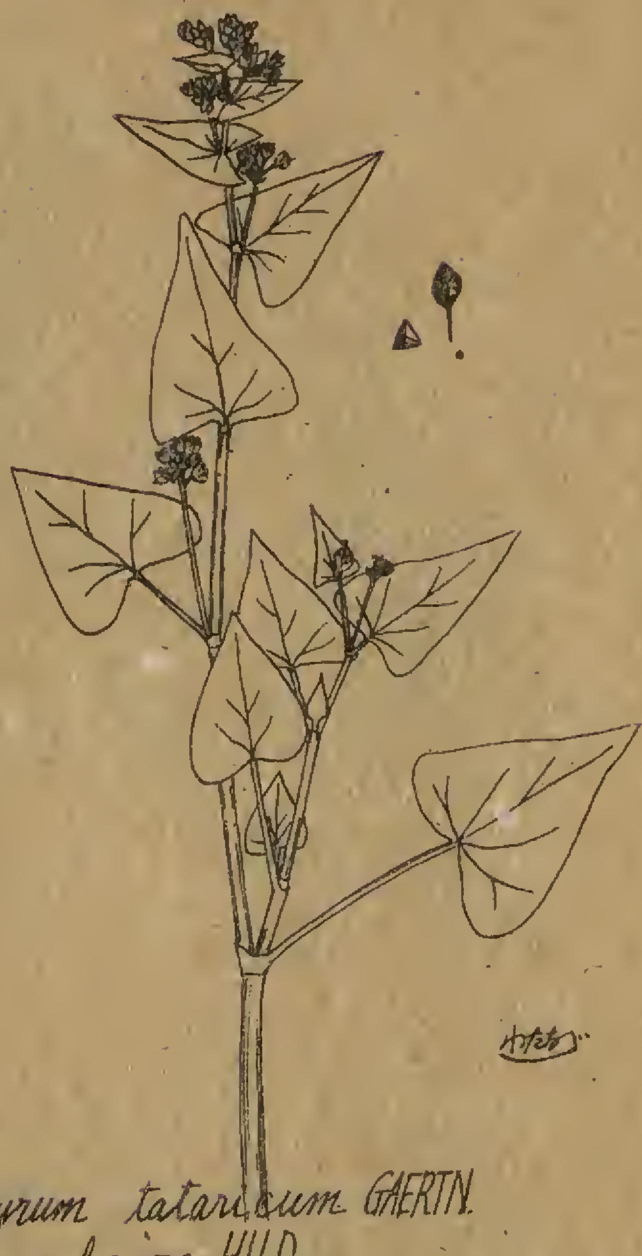


Suaedā maritima DUMORT
=*S. indica* MIQ

ヒジキアカザ　　　　（アカザ科）

地方名　アルール(爪)
産　地　温熱帯アジア
性状用途　海岸草、食用

食



Fagopyrum tataricum GAERTN.
= *F. vulgare* HILD.

ソ　バ　　　　（タデ科）

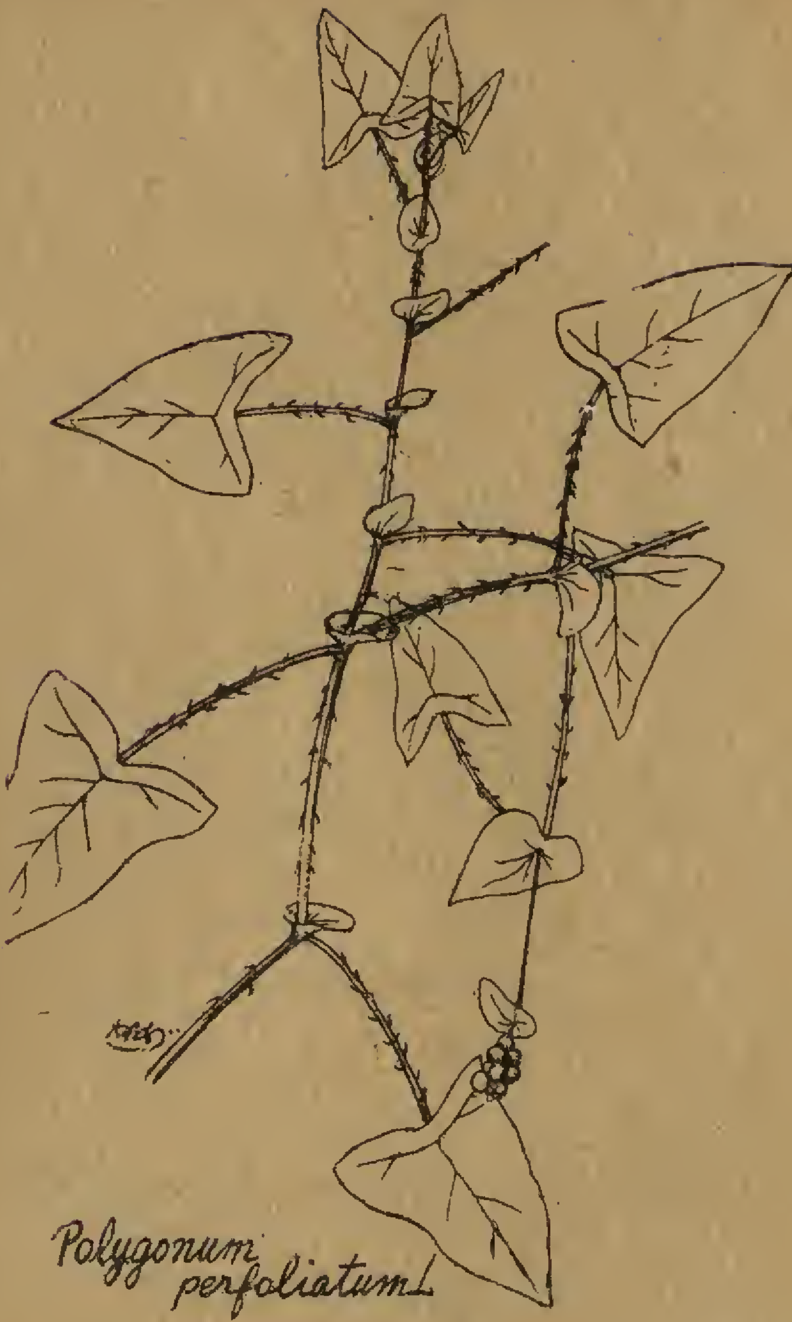
地方名　ナシ
產　地　栽培（原產中央アジア）
性狀用途　南方ではジャワ高地に作るが、マライ低地でも栽培可能、種子の澱粉よりソバを作り、若葉も食用

食



タ　デ　　　（タデ科）

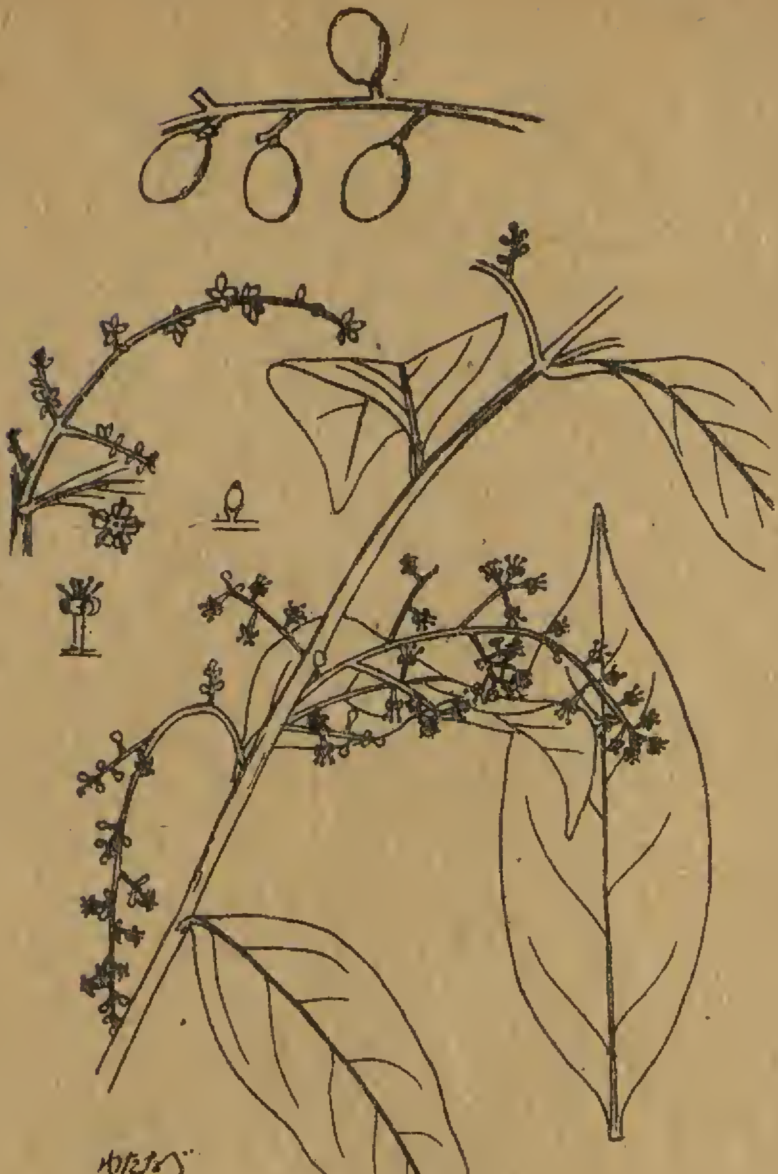
地方名　ダウン・スナウン(馬)
産　地　栽培野生
性狀用途　濕地草、葉は辛く食用、マライ、スマトラにもあり
(2) ケタデ地ツボスルダン(馬)辛くない、他のタデ類と共に皆食用



イシミカワ　　　　（タデ科）

地方名　ムレチヤ(馬)
産　地　温熱帯
性状用途　雑草、果暗青、若葉、若果を煮食

食菜



Champereia griffithii HOOK. f.

カナヒキボク　（カナビキボク科）（ビヤクダン科）

地方名　チユムプライ（馬）

産　地　ビルマ、マライより台灣迄

狀性用途　灌木、寄生、幹、根は白、雌雄異株、果黃より赤熟、葉と果は食用、葉根は潰瘍に塗布　根の煮汁はリウマチに用ふ

食	薬					
		材				.

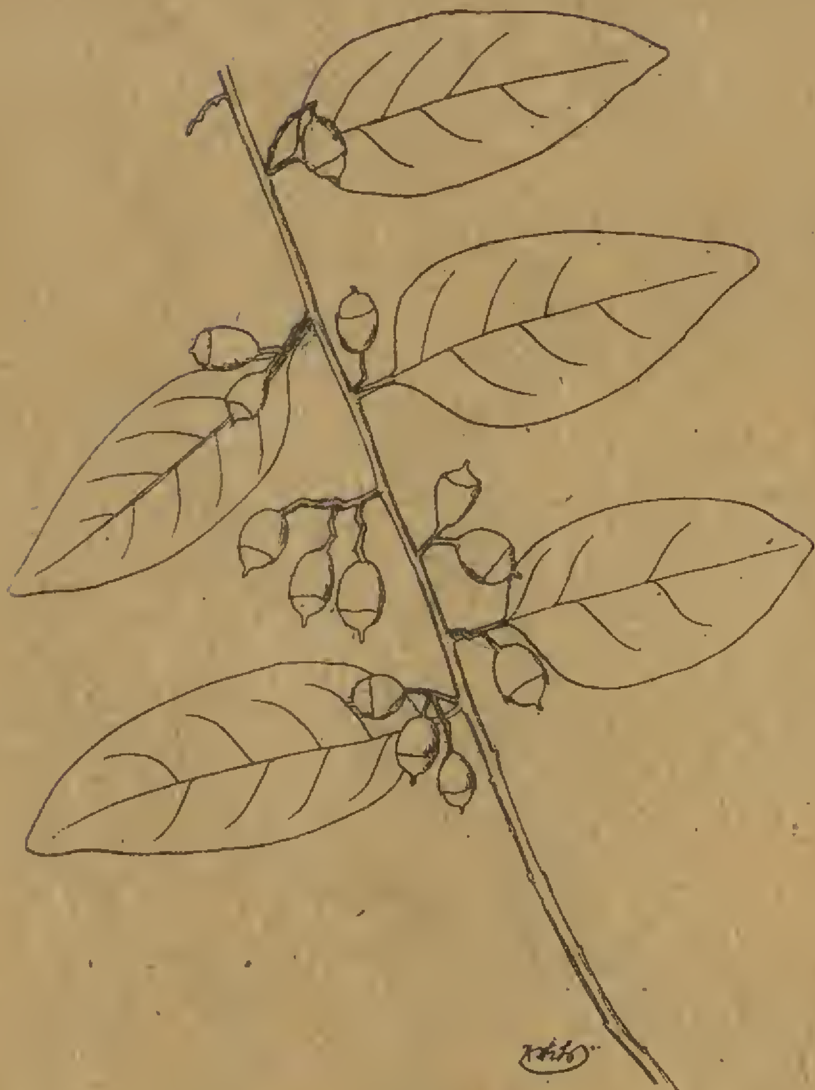


Ochanostachys amentacea MASTERS

プ タ リ ン　　（オラクス科）

地方名　プタリン（馬）
産　地　マライ、ボルネオ
主用途　喬木、葉光、葉柄軟、芽は褐、幹赤褐カノコマダラ、果食用，材堅重、家具建築用、樹皮浴用、リウマチ罨布

食



Olax scandens ROXB

オ ラ ク ス　　（オラクス科）

地方名　ムリブ（馬）　コダ・アチン（馬）コト・ロ（泰）
産　地　インド、マライ半群島
性状用途　海岸灌木、若葉食

食

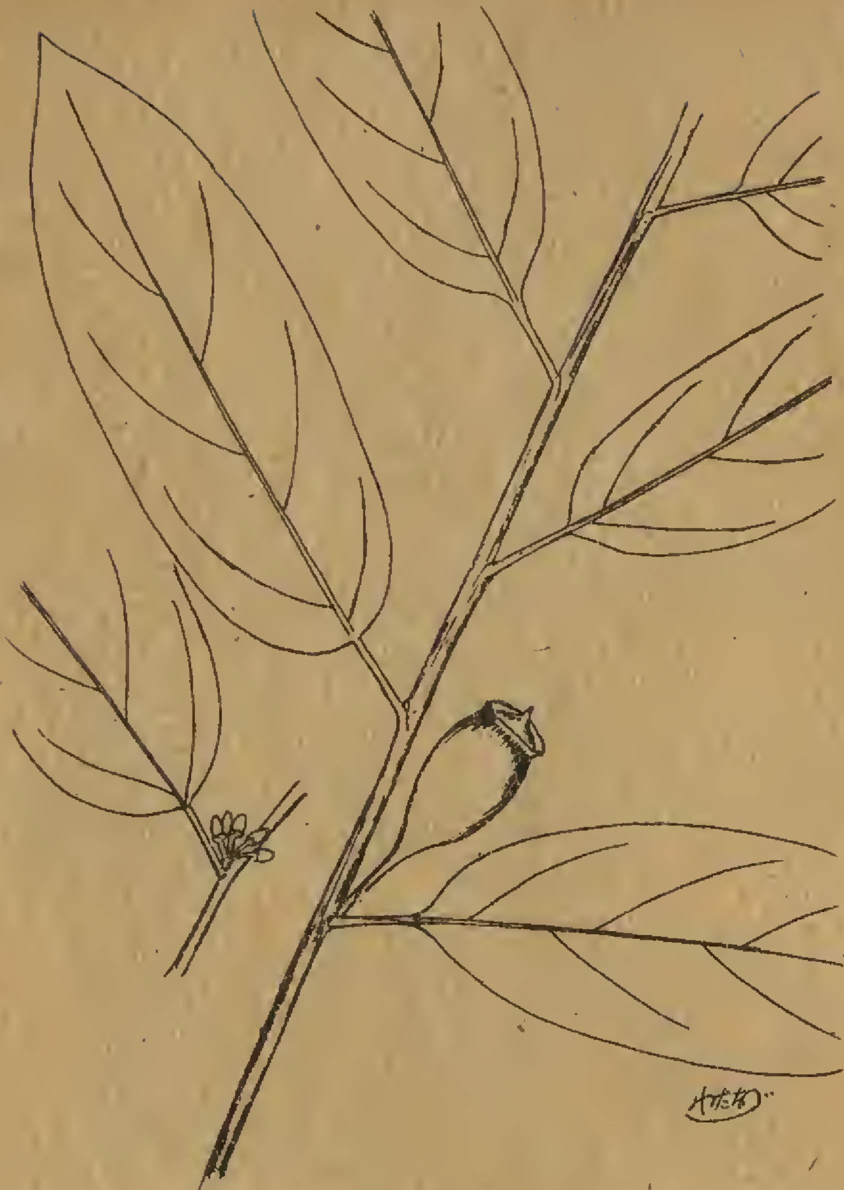


Stemonurus secundiflorus Bl.

ステモヌルス　　（オラクス科）

地方名　ラダ・ラダウタン（馬）
產　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途　喬木、沼地、果は特殊に調理して食し得ると云ふ

食						



Strombosia javanica BL

ストロムボシア　　　　（オラクス科）

地方名　ダリ・ダリ（馬）　マハリ（サカイ）
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性状用途　香木、茶黒滑、葉食用

食					香	

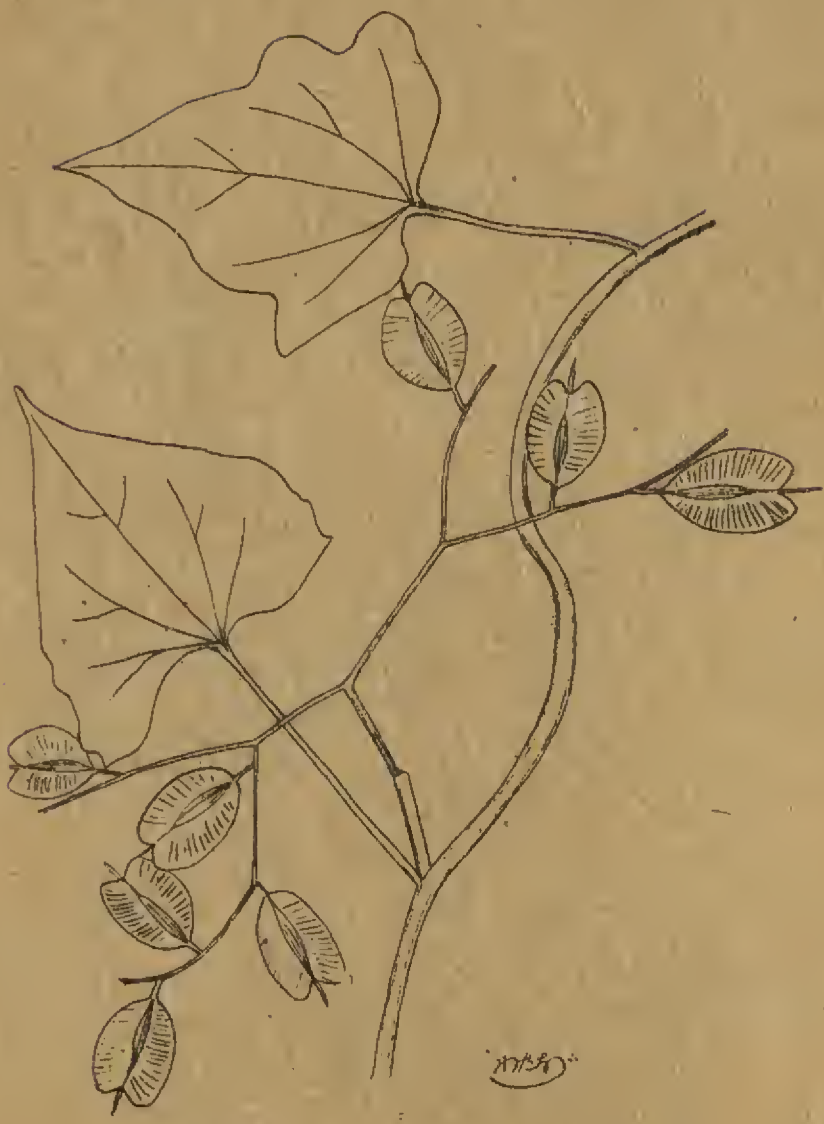


Ximenia americana L

キシメニア　　　　（オラクス科）

地方名　ルカム・ラウ（馬）
産　地　熱帯
性状用途　海岸灌木、寄生、果黄、果肉は酸く食用、種子油と葉食用、但種子は下剤材芳香ビヤクダン代用、樹皮はタンニンあり

食

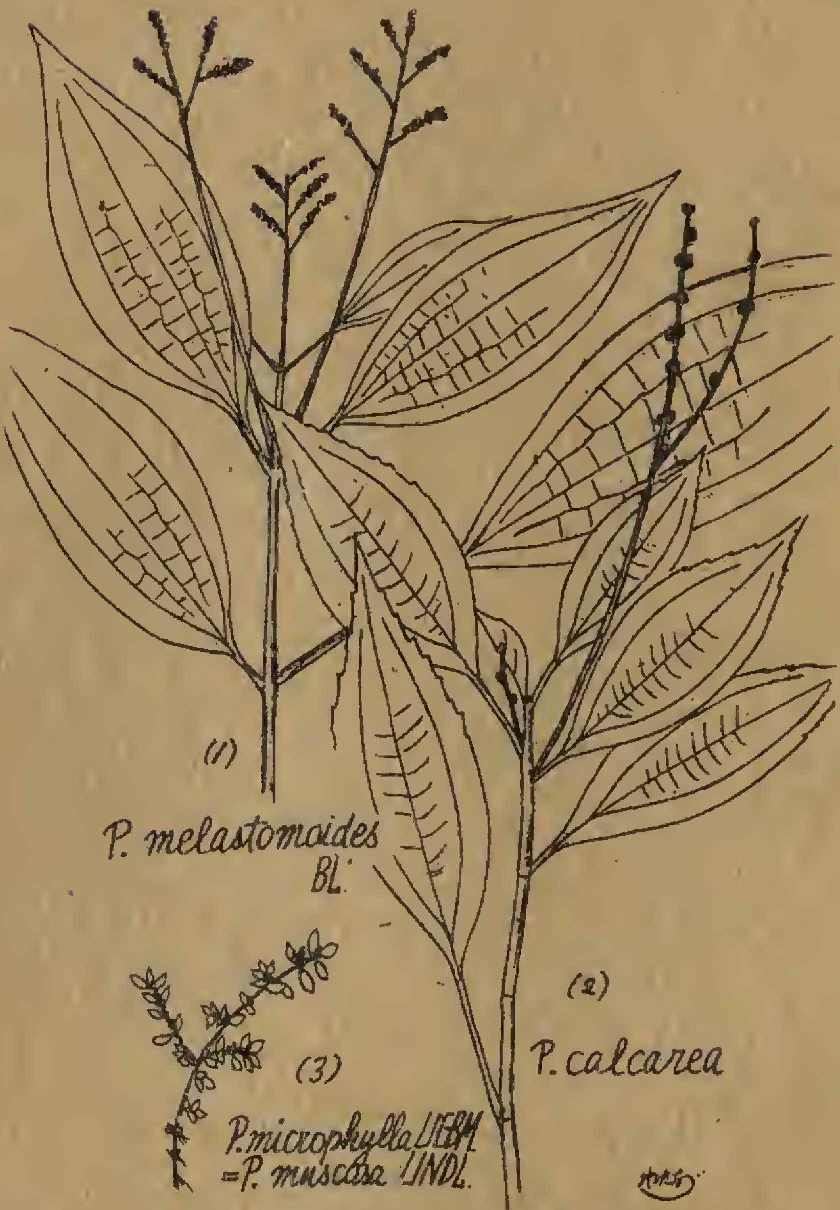


Cardiopteris lobata WALL

ヤマイモモドキ　（カルヂオプテリス科）

地方名　カムバ・プテ（馬）
産　地　インド、マライ半群島
性状用途　蔓、海岸河岸、葉食用

食

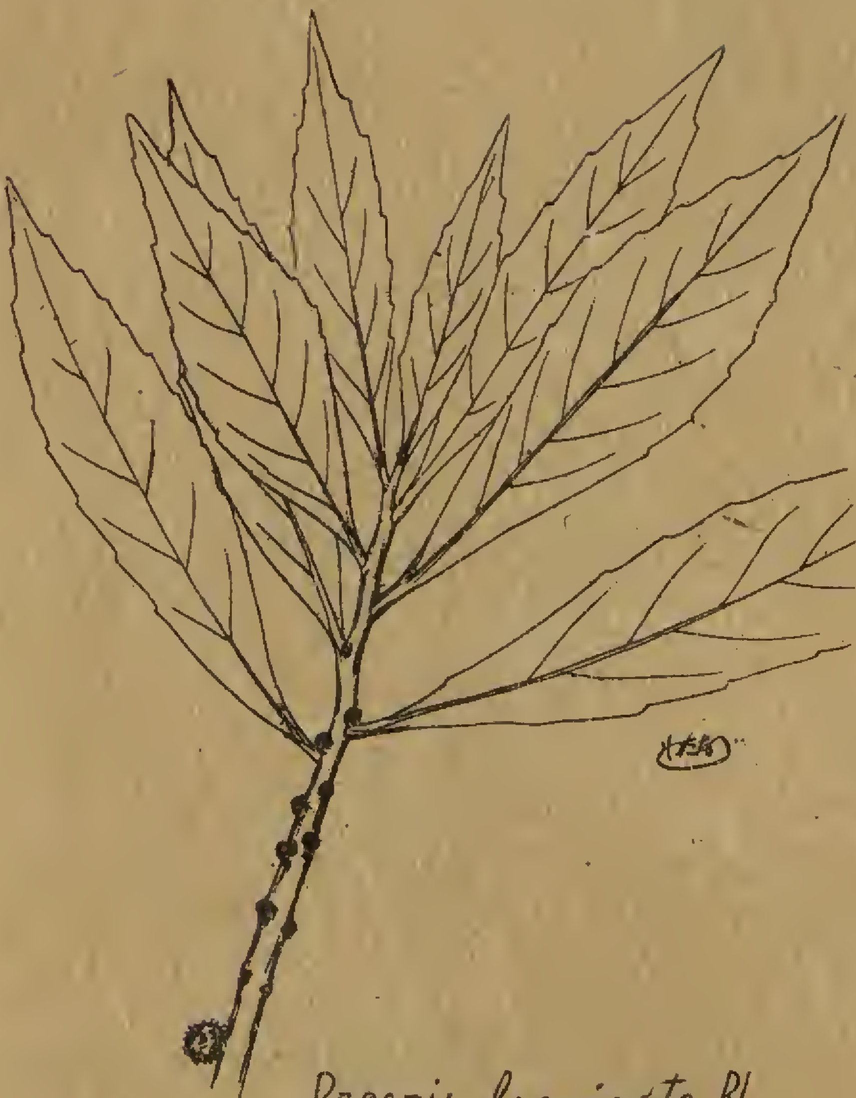


Pilea spp.

ミ　ズ　屬　　　（イラクサ花）

(1)ノボタンミズ　　産ジヤワ　　香味食品
(2)マライミズ　　産マライ　　林下、恐らく食し得べし
(3)コケミズ　　産熱帯（帰化）（原産南米）人家の近くにあり、食用

食



Procris laevigata BL.

ウ ラ イ サ ウ　（イラクサ科）

地方名　ウジアウジヤン（馬）
産　地　マライ半群島
性状用途　林下の多肉草、果は食用

264

食						



Taxotrophis macrophylla BOERL
= *T. ilicifolia* VIDAL.

ノコギリノキ　　　　（イラクサ科）

地方名　リマウ・リマウ（馬）
産　地　インド、タイ、マライ半群島
性狀用途　小木、葉は堅光、ヒイラギ狀、果黒、生食、煮食

食	薬		飼			雑
織	染			ゴム		



ハラミツ　　（クワ科）

地方名　ナンカ（馬）

産　地　マライ半島（栽培）（原産インド）

性狀用途　小木。葉無毛、果 長1尺5寸、熟果は種子を包む肉を食す、甘、種子は澱粉質、煮食、若果は全體煮食、若葉は食用、飼料、根は熱病に内用、葉は傷、腫物に外用，材は黄色、素モリンあり僧衣を染る（アルカリに溶し）樹皮の纖維は強し、乳液はトリモチとす

食			飼			維
染	渋			ゴム		



Artocarpus champetu SPRENG.

ヒメハラミツ　　　　（クワ科）

地方名　ムヤムベダ（馬）
産　地　マライ、スマトラ、ジャワ
性状用途　小木、若葉と葉脈有毛、果長8寸、細長し、熟果の種子を包む軟肉を料理して(テンプラ)食す、甘し、種子も煮食、若果、若葉も食用、心材は黄色染料、樹皮は纖維強し、ス　タンニンを供す。乳液はトリモチとす

食			飼			雑
纖		材		ゴム		



タネナシパンノキ　　　　（クワ科）

地方名　スクン（馬）サーケー（泰）
産　地　熱帯（栽培）（原産太平洋諸島）
性状用途　喬木、葉無毛、果長やや平滑、種子なく、澱粉を含み、焼食、煮食芋の如し、葉は飼料、材黄、樹皮の纖維は索とす、幹の白乳は土と混じ小舟の塗料、トリモチ

食			飼			藥
纖		材		ゴム		



(kulur)
Artocarpus communis FORST

わたなべ

タネパンノキ　　　　（クワ科）

地方名　クルール（馬）
產　地　熱帶（栽培）（原產太平洋諸島）
性狀用途　喬木、葉有毛、果表凸起著し、種子あり、若果は煮食、
熟果の種子は芋の如く食す（澱粉あり）材はシロアリに强しと云ふ、
他はタネナシパンノキに同じ

Artocarpus elastica REINW.
= *A. kunstleri* HOOK. f.



タラツプノキ　　　　（クワ科）

地方名　タラプ(馬)
産　地・マライ半群島
性狀用途　喬木、葉長さ二尺、花黃、果はハラミツに似て種子を包む肉は甘く食用、種子は燒食、樹皮は樹皮布とし、其の纖維は糸、網、紙の原料、乳液はトリモチ、材は黃、小舟を作る

食	薬					觀
		材		ゴム		



Artocarpus rigida Bl.

カタトゲパンノキ　　　　（クリ科）

地方名　タムブネ（馬）

産　地　インド、ビルマ、タイ、マライ半群島

性狀用途　喬木、果の刺は硬し、種子の周の肉を食す、乳液はロウに混じサラサ染用、又傷に塗布、材黃褐、耐久、家具にする

食						
纖	染	材				



リンゴパンノキ　　　　（クワ科）

地方名　タムパン（馬）ロカアト（泰）
産　地　インド、ビルマ、タイ、マライ
性状用途　喬木、果はリンゴ狀、内部桃色、生食、雄花はウメボシ位で球形黄色、鹽漬にして食す、材は家具にし、又黄色染料をとる、樹皮はタンニンありビンロウジ代用に嚙む、樹皮纖維索用

268

食						
		材				

Artocarpus gomeziana WALL.



マンジユウパンノキ　（クワ科）

地方名　タンパン・ツルオール(馬)
産　地　南ビルマ、アンダマン、マライ、ボルネオ
性狀用途　喬木、葉厚し、果肉桃色で軟、ジャム用、若果は漬物、材暗褐耐久建築用

食 材



Artocarpus spp.

パンノキ属 （クワ科）

(1) スズメハラミツ　地、ナンカ・ビビ(馬)クレダン(馬)産、マライ、果稀食用、材黄、柱、小舟用

(2) ヤマチヤムベダ、地チヤムペダ・ウタン(馬)産マライ、スマトラ、ボルネオ、果食用材は(1)に同じ

269

食						
繊						

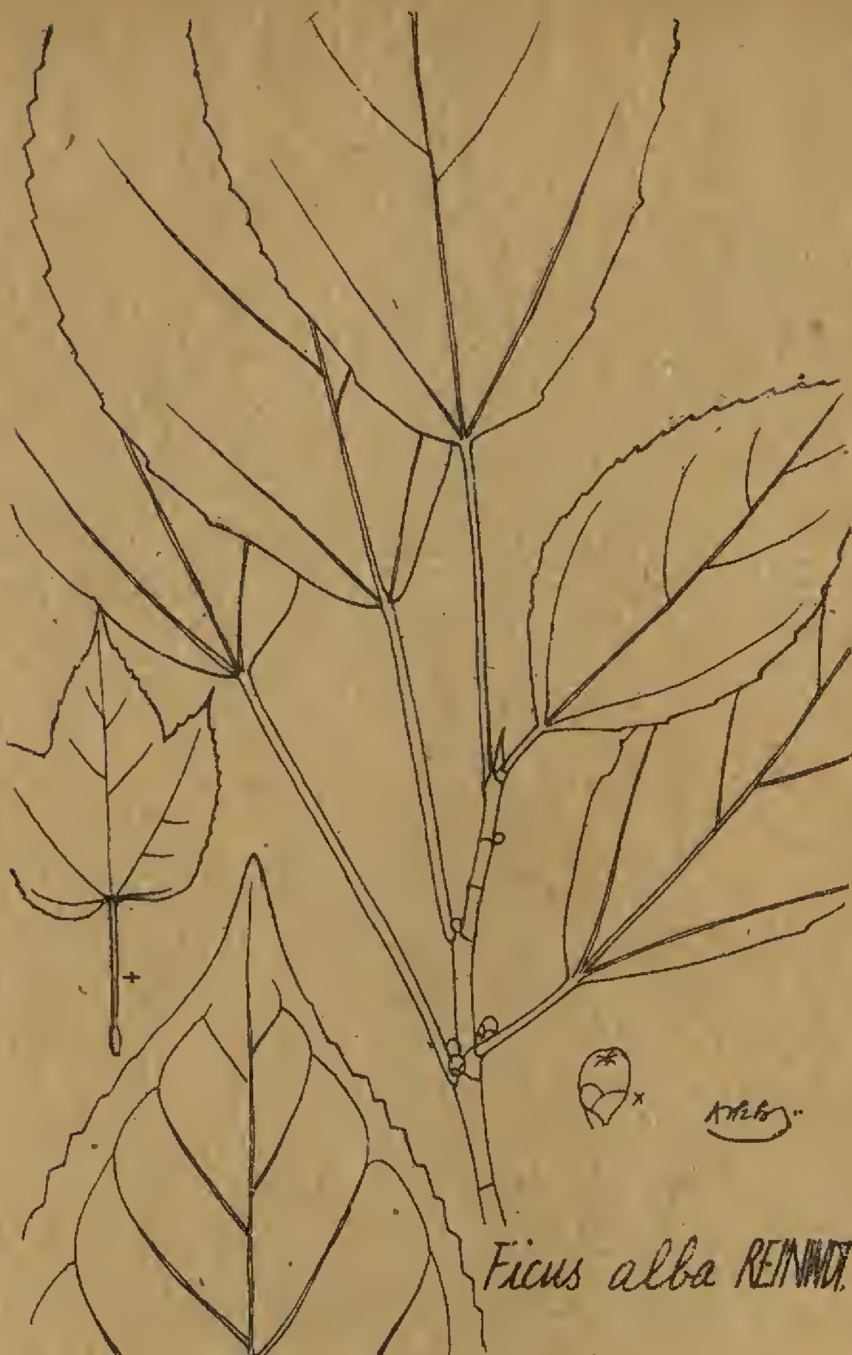


Conocephalus suaveolens BL.

シラボシカヅラ （クワ科）

地方名　ツジタワン(馬)アカール・ムラー(馬)
産　地　ビルマ、タイ、マライ
性狀用途　莖、莖と葉柄褐、葉白点、托葉筒形でアリの住家、花灰白、莖を數尺に切ると飲用水を得、樹皮の纖維は毫用

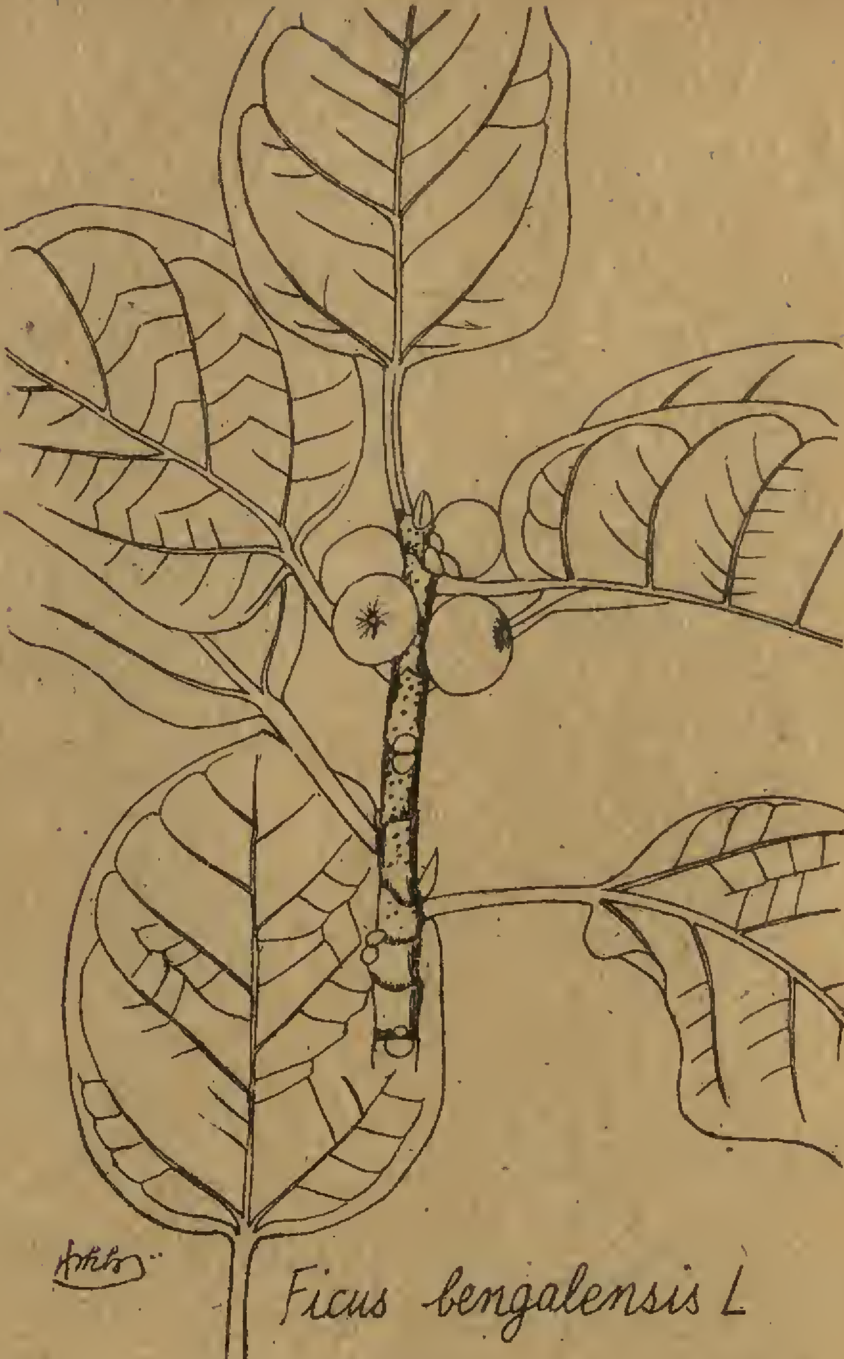
食		飼				



ウラジロイチヂク　　　　（クワ科）

地方名　アラ・ペラ(馬)
産　地　マライ、スマトラ、ジャワ
性状用途　灌木、葉裏白毛、若葉食用、葉は馬の飼料

食						雑
		材				



Ficus bengalensis L

バンヤンジユ　　　　（クワ科）

地方名　バンヤン(印)サイ(泰)
産　地　インド、ビルマ、タイ、マライ(栽培)(原産インド)
性狀用途　中喬木、横に枝を張り氣根柱を下す、街路樹、果食用、便秘するが有毒ではない、乳液はトリモチ、材は耐水性、インド教の聖樹の一

食						
				ゴム	觀	



Ficus elastica ROXB

インドゴムノキ　　　　　　（クワ科）

地方名　ラムボング(馬)
産　地　熱帶アジア(栽培、野生)
性狀用途　喬木、氣根を下す、葉厚光、未開葉を生食、煮食、乳液から今はゴムを採らぬ、溫室の觀賞用

231

食	薬		飼			
繊						



ミミイチヂク　　　　（クワ科）

地方名　アラ・ボンボン(馬)アラ・スンガイ(馬)
産　地　熱帯アジア
性狀用途　小木、川邊に多し、果周に三ツの耳あり果は生食、煮食、砂糖漬、
葉飼料、樹皮纖維は索用、葉、樹皮の煎汁は解熱に内用

食	薬					
	染				[illegible]	



Ficus religiosa L

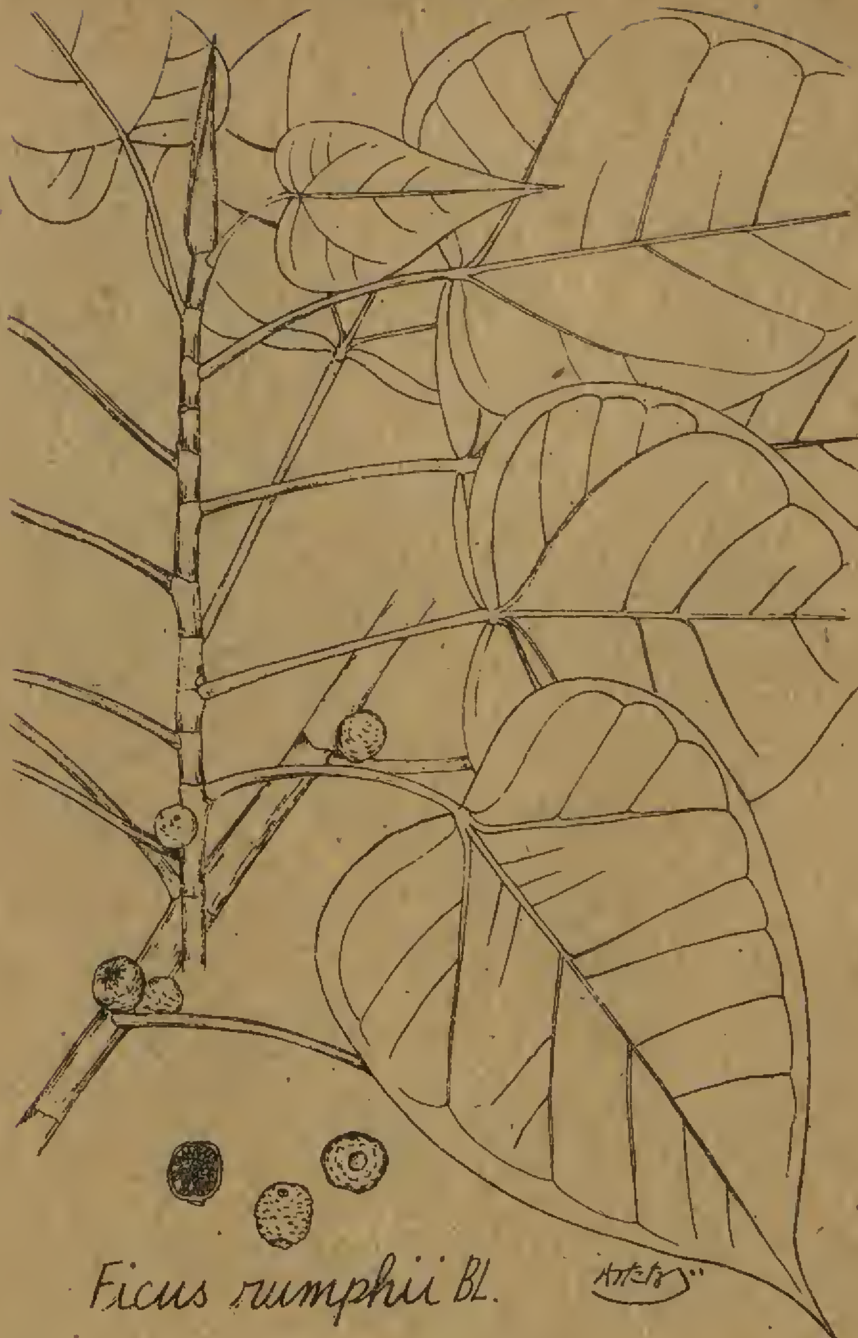
インドボダイジュ　　　　（クワ科）

地方名　ボヂ（馬）　ボガハ（印）　ピパル（印）

産　地　インド（マライ半群島栽培）

性狀用途　喬木、氣根、葉光硬、若葉は食し得べし、樹皮はタンニンあり鞣皮染色、收斂、齒痛用、インド敎の聖木

272

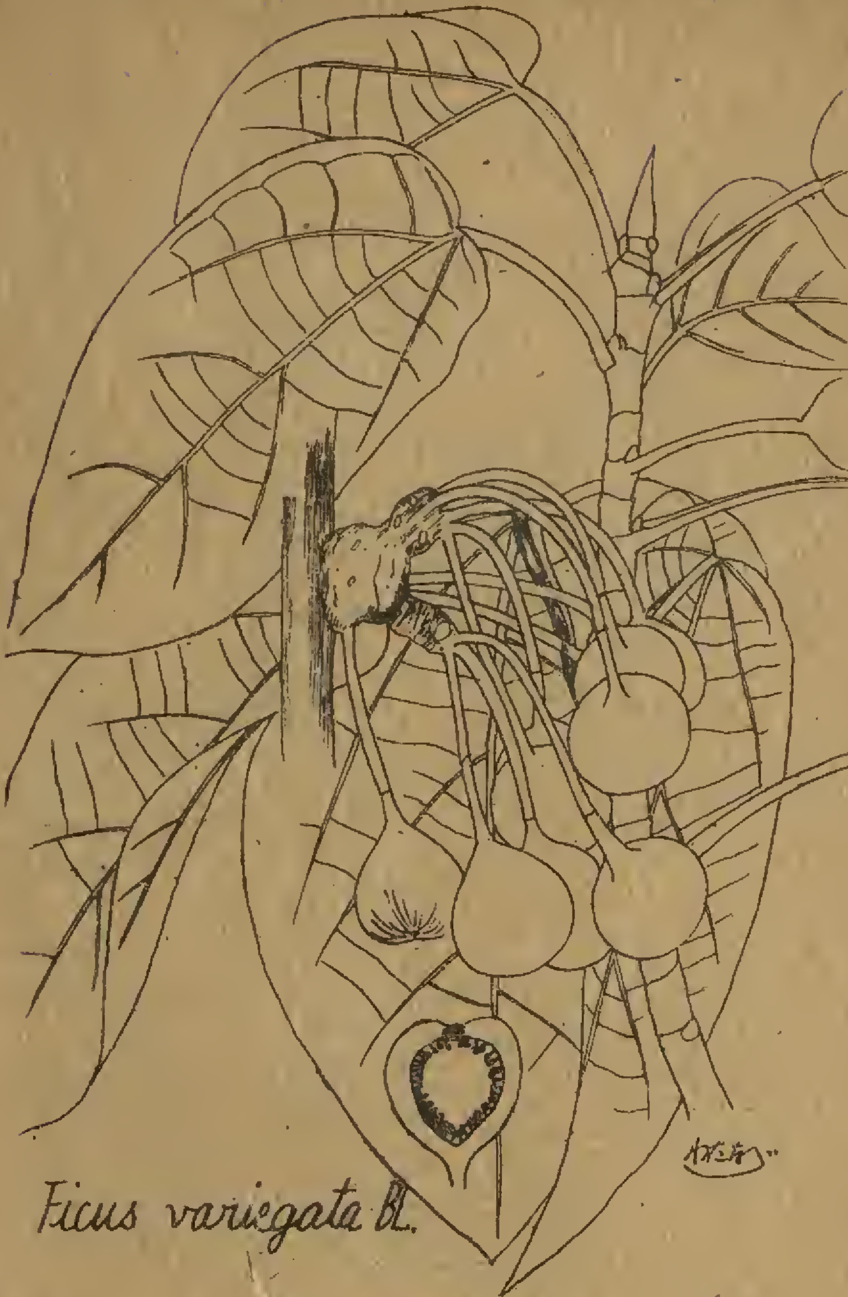


ボダイジュモドキ　　　　（クワ科）

地方名　ナシ

産　地　熱帶アジア（栽培）（原產インド）

性狀用途　喬木、街路樹、葉はボダイジュに似て尾短し、果には殆ど柄なし、若葉、果食用、樹皮の汁は驅虫、喘息、吐剤

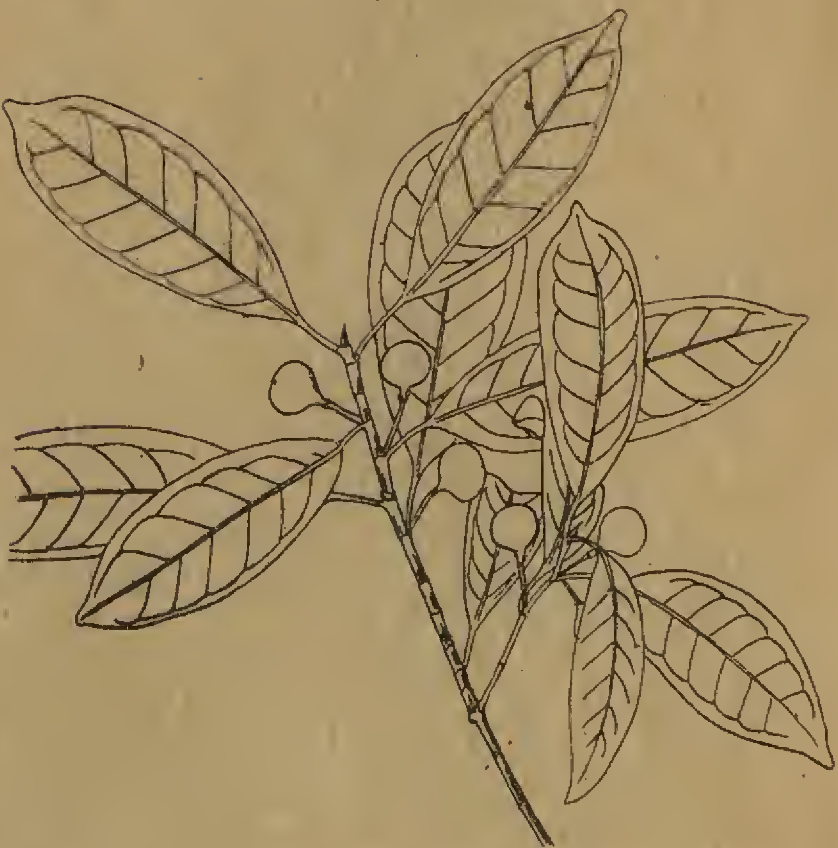


クピナガイチヂク （ク ワ 科）

地 方 名　アラ・クルンポン（馬）
産　　地　熱帯アジア
性狀用途　喬木、若葉、若果は生食、煮食、乾果は保存食、樹皮は汁くそのまま噛み又は煎出して赤痢に内用、乳液は傷面塗布、樹皮の纖維は製紙用又樹皮衣

273

食



Ficus vasculosa WALL.

クロガネイチヂク （クワ科）

地方名　アラ・ナシ（馬）
産　地　南支、ビルマ、マライ半群島
性状用途　小木、葉はクロガネモチ状、中肋黄、葉柄赤、果黄褐食用

食

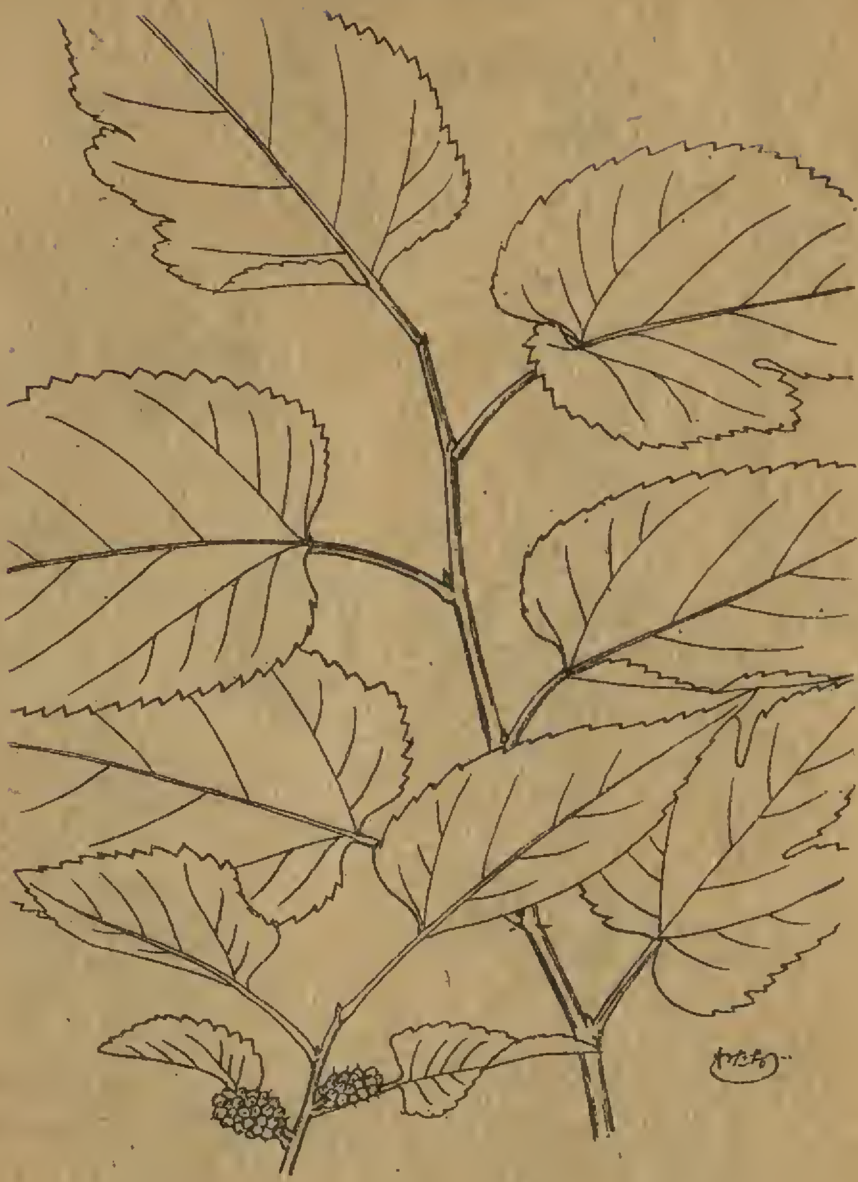


イチヂク屬　　　　（ク ワ 科）

喬木、灌木で果はイチヂク状、雌果のみ果物として生食、雄果は煮食す、若葉も食用、但圖のものはマライの習慣では食用部次の如し

1.4.5.6.7……果を食す　2.3.4.6.8……若葉を食す

食	薬		飼			



Morus alba L

ク　ワ　　　　（クワ科）

地方名　ブア・バロン・アヤム(馬)モン(泰)
産　地　温熱帯（栽培）（原産支那、ヒマラヤ）
性状用途　灌木、若葉は野菜として良好、又茶として飲む、果は生食、(マライてもよく結實す）葉はカヒコのみならず一般の飼料、根皮は收斂性で鎮靜强壮、葉は淺和藥

食						
	染					



Vaniería cochinchinensis LOUR.
=*Cudrania javanica* TRECUL.

カクワツガユ　　　　（クワ科）

地方名　クダラン（馬）ケーレー（泰）

産　地　東洋熱帯より日本迄

性状用途　灌木、若葉は生食、材根黄染料、インヂゴと緑、スワウと橙の色を得、泰に多産す

食	薬		飼			雑
繊	染	材				

Trema orientalis BL.



ウラジロエノキ　　（ニレ科）

地方名　ムンダロン（馬）パウフアン（泰）
産　地　インド、マライ半群島
性狀用途　小木、新に伐開した所に多し、ムクノキの如し。若葉は食用、葉は飼料（但家畜に有毒と云ふ地方もあり）、小鳥は熟果を食す。根の煎汁は舌のタダレ、下痢に用ふ、樹皮の纖維は製紙用、樹皮はタンニンあり網染、材の炭は火藥用、材はマツチの軸用、パルプ用

食						
		材				



Castanopsis costata A.DC.

イガナガクリガシ （ブナ科）

地方名 ブランガン（馬）
產　地 マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途 喬木、葉長一尺、イガは細く長く軟、果はククイノキの果狀て燒食、材堅

276



シヒクリガシ　　（ブ ナ 科）

地方名　ブランガン（馬）
産　地　マライ．スマトラ
性狀用途　喬木、葉裏銀灰、イガは短突起、果はクリ狀、果を燒食、市販、材堅、不耐久
(2)ヒロハシヒクリガシ地．ブランガン．パパン(馬)產マライ、用途(1)に同じ



Castanopsis malaccensis GAMBLE

トゲフトクリガシ　　（ブ ナ 科）

地方地　クルタ・ピレ（馬）
産　地　マライ
性状用途　喬木、イガは太く短し、果は褐、面は粗く尻なし、燒食、多食すると下痢すといふ
(2) ヒラトゲクリガシ地ブランガン・ヅリ（馬）産マライ、イガ扁平、イガと栗ゝ裏短毛



ヒラミシリブカガシ　　　　（ブナ科）

地方名　ムンプエン－メラ(馬)

産　地　マライ

性狀用途　喬木、葉裏帯白、果は苦いが燒食

（注意ドングリ類には特に若果が下痢を起すものが多い）

食



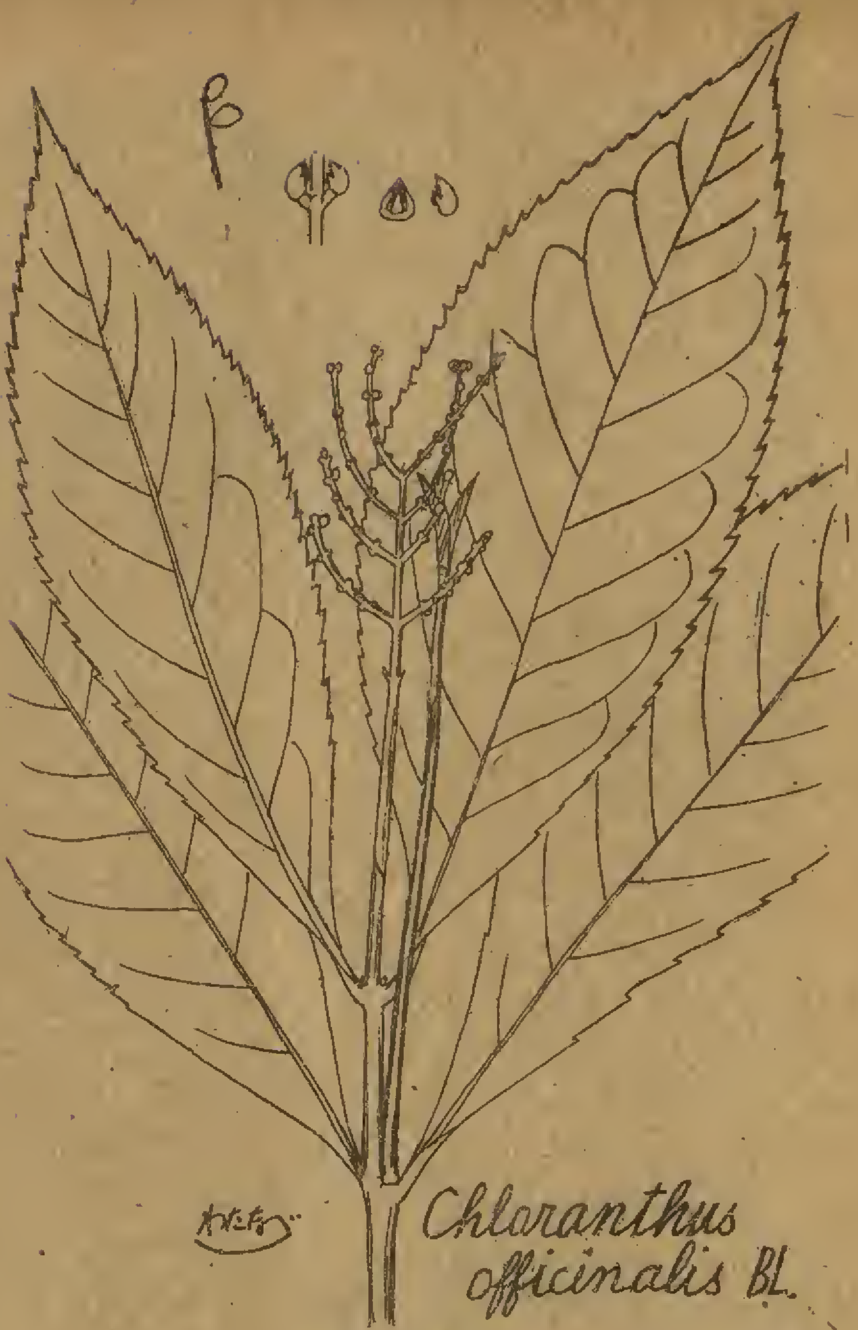
Chloranthus inconspicuus SWARTZ

チャラン　（チャラン科）

地方名　ナシ
產　地　温熱帶（栽培）（原產南支）
性狀用途　低灌木、　花及葉を茶に混じて香を付す、（日本のチャランは、C. spicatus Makino であるが同一物である）

273

食	薬					



オオチヤラン　　　（チヤラン科）

地方名　スムバウ(馬)ホムカイ(泰)

産　地　インド、南支、タイ、マライ半群島(栽培、野生)

性狀用途　半灌木。全株茶とす、ジヤワではチヤの栽培を始めるため此を禁止した、發汗藥を兼ね熱病にも用ひる

食



Peperomia pellucida H.B. & K.

ウスバゴセウ　　(コセウ科)

地方名　クツンパンガン・アエル(馬)カサング・パアル(泰)
産　地　熱帶（野化）（原產アメリカ）
性狀用途　軟草、陰地、莖半透明、キクの香、ゆでて食用

食	薬					



Piper caninum BL

ホソバゴセウ　　　　(コセウ科)

地方名　シレ・ウタン(馬)チヤバイ・ウタン(馬)

産　地　マライ、ジヤワ

性狀用途　蔓木、葉香味料、シレ代用、コエガレに內用、果はヒツチヨウカ代用

良	薬					

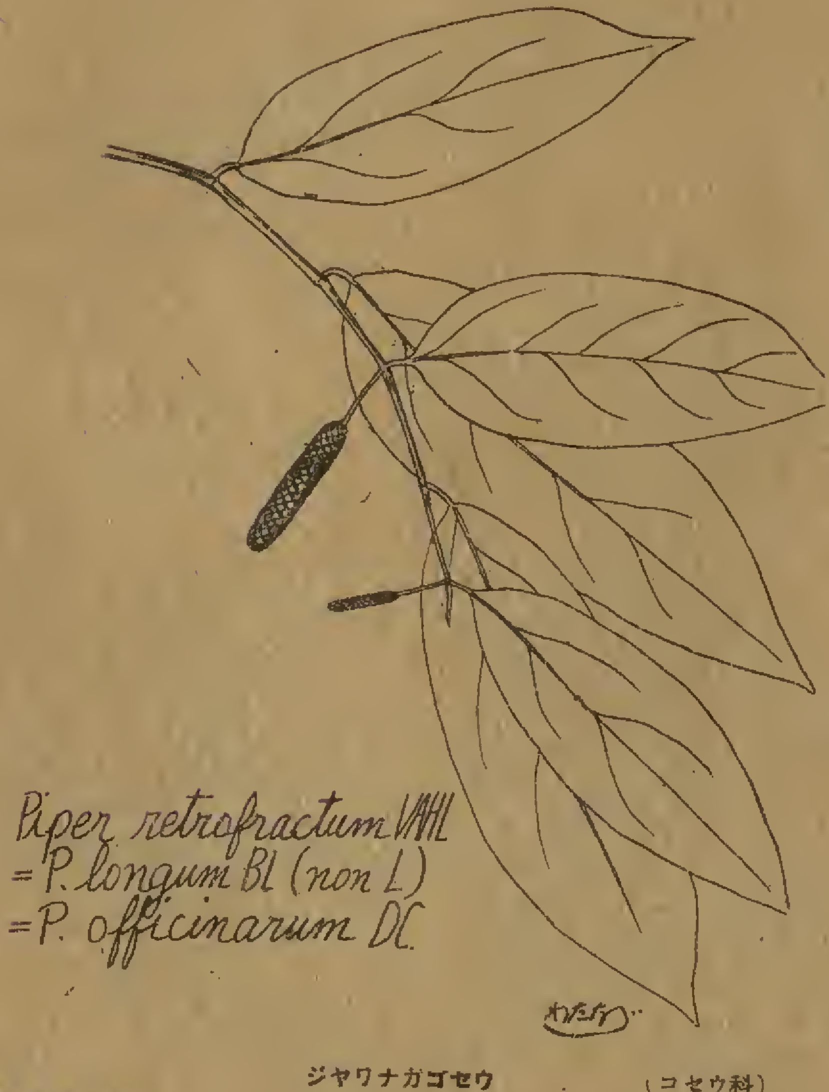


コ セ ウ　　　　(コセウ科)

地方名　ラダ(馬)プリクタイ(泰)
産　地　熱帶アジア(栽培)(原產インド)
性狀用途　蔓木、氣根で吸着、葉裏粉白、若果はクロコセウ、熟果皮を去つたものはシロコセウと云ふ、リウマチ、頭痛に外用、タケノコと共に墮胎に內用

250

食	薬					



ジヤワナガゴセウ　　（コセウ科）

地方名　チヤバイ・ジヤワ(馬)

産　地　タイ、ジヤワ、スマトラ

性狀用途　蔓木、果を辛味料、鹽漬、乾果を腸病、マラリヤ（ナンキヨウの根と共に)に用ふ

食	薬					



Piper sarmentosum ROXB

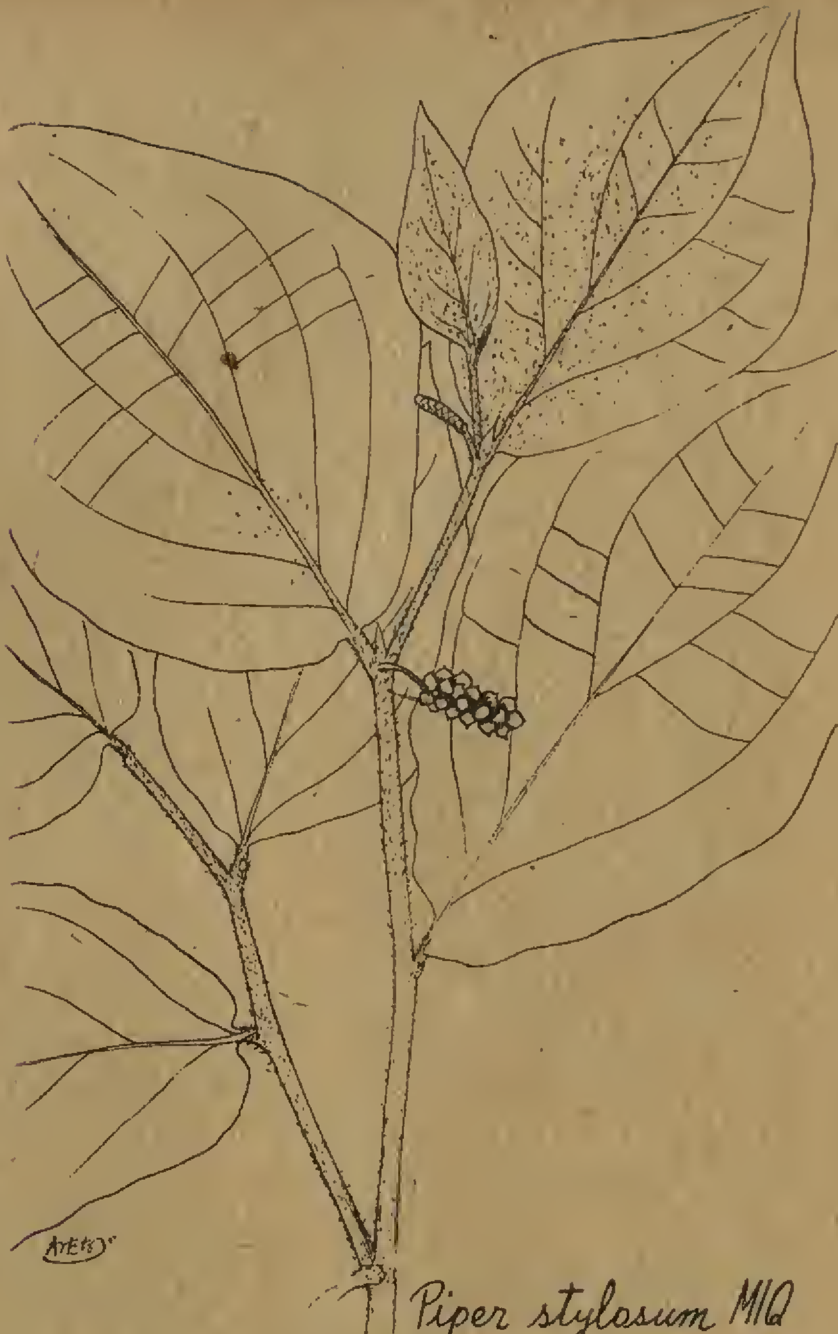
ドクダミゴセウ(ハヒゴセウ)　　　　(コセウ科)

地方名　カド(馬)

産　地　マライ、ジャワ、ボルネオ、南支

性狀用途　雑草、葉光、花白、葉は生でカラミとし、薬根は咳止

食



Piper stylosum MIQ

ムクゲタチゴセウ （コセウ科）

地方名　カド・ウタン(馬)
産　地　マライ半島
性狀用途　直立草、葉表裏有毛、食用

食	藥					



Piper umbellatum L

オニタチゴセウ　　　　（コセウ科）

地方名　ルムバ(馬)

産　　地　熱帯アジア

性狀用途　大草、山地、葉長一尺、花葉は生食煮食、果も食用、全草利尿、果は咳止、葉は胃病用

232

食

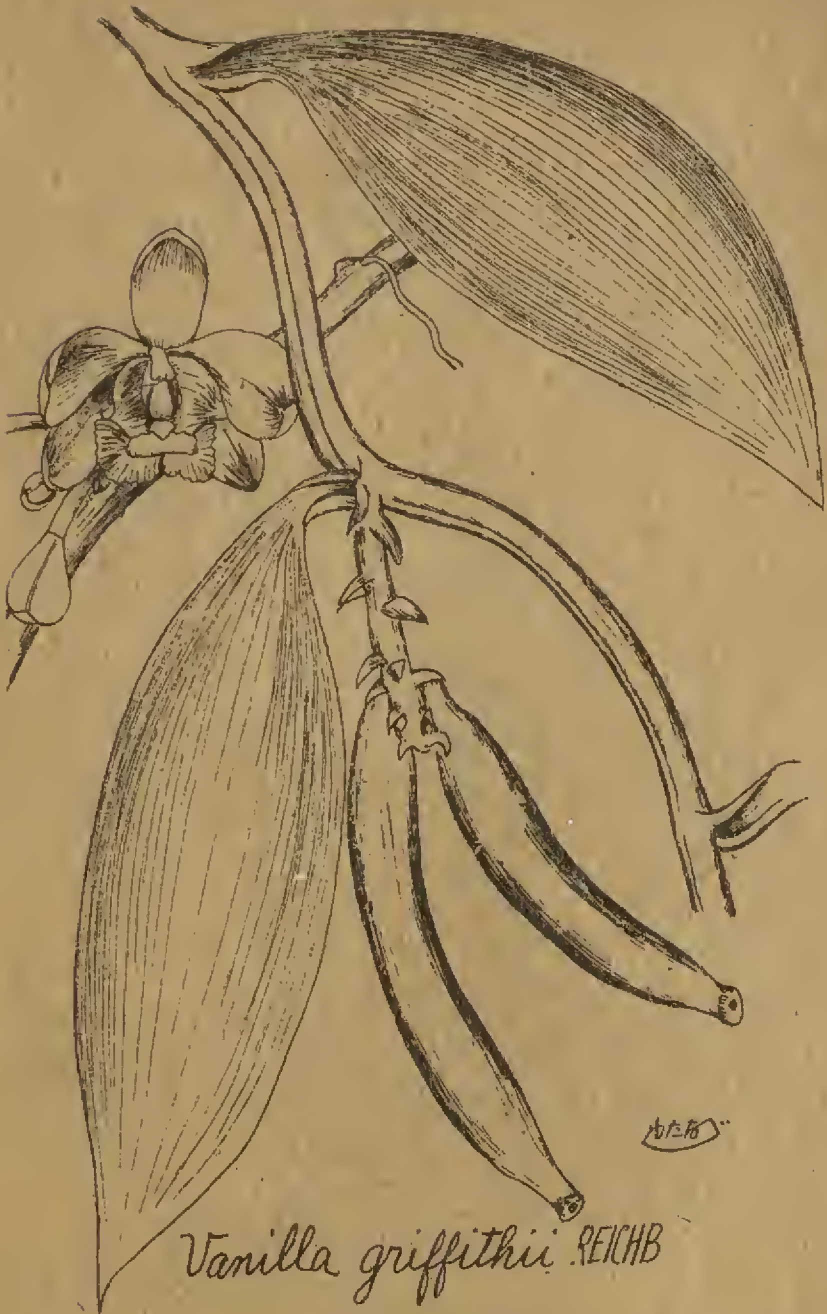


Anoectochilus

シユスラン （ラン科）

地方名　ブンガ・ツリス(馬)
産　　地　熱帶アジア
性狀用途　森林の草　葉は暗綠黃脈美，花白、全草食用

食



マライバニラ　　(ラン科)

地方名　アカール・プヌバール(馬)

産　地　マライ

性狀用途　蔓、葉は厚、花綠、中央赤、果甘食用

食	[illegible]					



クズウコン　　（クズウコン科）

地方名、アラル（馬）アロールート（英）
産　地　熱帶（栽培）（原產アメリカ）
性狀用途　草、葉と葉柄の間は赤、花白、芋狀根莖は澱粉あり食用、(其の皮は惡臭あり除くが可）澱粉製造用、成熟一年、根莖は毒矢傷に外用、又服毒の毒消にも內用

食 飼



ショクヨウカンナ　　　　（カンナ科）

地方名　ウビ・グルダ(馬)

産　地　熱帯(栽培)(原産南米)

284 性状用途　葉縁褐色・茎紫、花弁状假雄蕊は赤と黄、其下の花弁橙色・果緑、根茎サトイモ状、澱粉あり煮食、甘きサトイモの如し・澱粉を採りクインスランド・アロールートと云ふ、成熟半年、花、若芽も食用可なるべし、全草飼料(煮る方よし)

食	藥					雑
					観	



ジュズカンナ(インドカンナ)　　(カンナ科)

地方名　ピサン・ダスペエ(馬)ブッサラナ(印)
産　地　温熱帯(栽培)(原産インド？)
性状用途　観賞用。葉縁はショクヨウカンナの如く銅赤なれ共葉赤、假雄蕊赤、其下の花瓣暗赤、果赤、種子黒球、根茎は太くはないが煮食又澱粉製造。花、若葉も食用可、種子はジュズ用。根茎は下痢止

食						
					観	



ハナカンナ(ダンドク)　　　　(カンナ科)

地方名

産　地　温熱帯(栽培)

性狀用途　観賞用、南米カンナを交配して作つたもの、假雄蕊は大きく花辨の如し、花色種々、莖も赤、綠あり

285　根莖に澱粉あり煮食可、又澱粉採取用。有毒植物に非ず、サルは花を好みて食す

貴	薬				香	



ビャクヅク　　　　（ショウガ科）

地方名　ブア・プラガ（馬）
産　地　ジャワ、スマドラ（栽培、野生）
性状用途　ショウガ状、花は地表に生じ、果球形で、白豆蔻と云ひ芳香、食品の香料、又芳香健胃、風邪薬、タイのビャクヅクは別種なりとも云ふ

食					香	

Amomum uliginosum KOENIG



ミヨウガモドキ　　（シヨウガ科）

地方名　プア・ヒジヤウ(馬)ツプス・メラ(馬)
産　地　マライ
性狀用途　シヨウガノ如くやや大、花は地表、白、萼瓣中央黄、其の兩側赤條、果食用、花芽、若芽は食用し得べし

280

食					香	



オオシヨウガモドキ　　　　（シヨウガ科）

地方名　ツプス(馬)ブンガ・タンタン(馬)
産　地　マライ
性狀用途　高十尺、シヨウガ狀で大、葉長一尺五寸、巾四寸、花は地表に出で高さ六寸、苞赤、花部を香味料として煮食

民薬						



オオホザキアヤメ　　　　（ショウガ科）

地方名　ヌタリー（馬）　タワ・タツ（馬）
産　地　熱帯アジア
性状用途　高六尺　ショウガに似てゐるが茎の先はラセン形に曲る、花は頂生、白、苞は赤、若葉はウドの如くゆでて食す美味、根茎は澱粉あり食用、根茎の汁は解熱、駆虫、リウマチに内用、シレの葉と共に咳に用ふ

28オ

食	薬					
	染					



ウ　コ　ン　　　（シヨウガ科）

地方名　クニ（馬）　カミン（秦）
産　地　熱帶（栽培）
性狀用途　花序は葉の間から出で苞緑白、花白、根莖橙黃芳香、カレー粉として食用、葉も食す、根莖は消毒性あり洗眼、傷に用ふ、黃色成分はクルクミンにて染料、試驗紙（キヨウワウ紙）

食	藥					
	染					



Curcuma mangga VAL. et ZIP.

マンゴーガジュツ　　　　（シヨウガ科）

地方名　ツム・パウ（馬）、ツム・マンガ（爪）

產　地　マライ、スマトラ、ジヤワ

性狀用途　高三尺、葉中央に赤條なく、中肋は凹入、狹、根莖は長く內部淡黃、マンゴーの香あり、根莖は香料食品、市販、健胃藥、黃染料

食	薬					



ガ ジ ユ ツ　　　　（ショウガ科）

地方名　ツム・クニン（馬）

産　地　熱帯アジア（栽培）（原産インド）

性状用途　高四尺、若葉は中肋表裏赤、花序は葉とは別に出る、苞やや赤花黄、若花序は生食、茎は煮食、根莖は澱粉を採り得、根莖は莪蒁て云ひ淡黄芳香、健胃苦味薬

食	薬			香	

Elettaria cardamomum MATON



シヨウヅク　（シヨウガ科）

地方名　カルダムン（タミル）　マラバルカーダモン（英）

產　地　インド

性狀用途　シヨウガ狀、高さ一丈、葉長1尺5寸，花序は地表近くに出る。果は小豆蔻と云ひ樟脳の香あり、香料食品、芳香健胃薬

289

食					香	



Hornstedtia megalocheilus Rtl.

ヘリトリミヨウガ　　（シヨウガ科）

地方名　ツプス（馬）ルンカスウタン（馬）

産　地　マライ、スマトラ（栽培）（野生）

性狀用途　シヨウガ狀大形高さ六尺、花の先のみ地から出る、唇辨赤、両側黄、果は種衣を香料食品、葉も食し得べし

食	薬					



Kaempferia galanga.L

バンウコン　　　　（ショウガ科）

地方名　チユクール（馬）クンチユール（爪）
産　地　マライ半群島（栽培）。（原産インド）
性状用途　オオバコ状、花白、紫斑、全草芳香食用、葉は熱、咳、痰に嚥用。
290　咽喉痛、腫物、リウマチに罨布、洗眼用

食	薬					

Languas conchigera BURKILL



カラリヨウキヨウ　　　　　　（シヨウガ科）

地方名　ルンクアス・キチ(馬)
産　地　インド、ビルマ、タイ、マライ、スマトラ
性状用途　草、高さ三尺、葉はやや丸味を帯ぶ、花肉色、果黄、果、根茎食用、辛く芳香、根茎は血行促進の目的でリウマチ、骨痛に外用

食	薬				香	



ナンキヨウ　　　　（ショウガ科）

地方名　「ルンクアス」(馬)

産　地　熱帯アジア（栽培、野生）

性状用途　高さ十尺。莖頂に白花を着く。根莖は赤と黄とあり、辛く芳香。ショウガ代用、（随て四月用ふ）花はサラダとして食用、根莖よりリヨウキヨウ代用の芳香健胃薬

29

食	薬					
繊					観	



タチバナゲツトウ　　　（シヨウガ科）

地方名　チユンクナム(馬)
産　地　マライ(栽培、野生)
性狀用途　シヨウガ狀、高さ八尺、觀賞用、花黃に赤條、果橙色、種子の周の粘液は甘く食す、若莖も芳香食用、莖、葉鞘は索用、根莖は芳香健胃藥、花やや小形のもの、花の垂下するもの(ゲツトウ)等少しく異るもの多數あり同樣に用ふ

食	薬					
繊						



Phaeomeria speciosa KOORD.

カ ン タ ン　　　　　（シヨウガ科）

地方名　カンタン(馬)
産　地　マライ半群島（栽培、野生）
性状用途　高十五尺、シヨウガ状で大形、若花序は桃色の苞に包まれハスの蕾状、若果序を食用、芳香、種子を生食、葉の煎汁は傷を洗ふ、茎は強く敷物、製紙用

食	薬				香	



シ ヨ ウ ガ　　（シヨウガ科）

地 方 名　ハリヤ（馬）クイン（泰）
産　　地　温熱帯（栽培）（原産インド）
性状用途　葉鞘の間に短く花穂、花茎高さ一尺。苞は緑で上縁白、花黄白で赤褐斑、根茎は辛く芳香、食用、健胃、鎮咳、マライではハリヤバラ、ハリヤハダ、ハリヤウダン等の品種を区別し用途を異にす

食	薬				リ	



Zingiber zerumbet SMITH

ハナシヨウガ（ニガシヨウガ）　　（シヨウガ科）

地方名　ルンボヤン（馬）カツー（泰）
產　地　インド、マライ、ジヤワ（栽培、野生）
性狀用途　高二尺、シヨウガに酷似す、花は稀ならず、苞は綠で赤變、花淡黃、根莖市販す、辛からず芳香食品、食慾增進、頭痛、胃痛に內用

293

食						
繊						



Musa malaccensis RIDL

マライヤマバセウ　　　　(バセウ科)

地方名　ピサン・ウタン(馬)
產　地　マライ
性狀用途　バナナに似て山地にあり、花序の苞は暗赤、花白、果は小形のバナナ位で種子多し、食用、所謂髓(眞の莖)は煮食、花蕾も食用、葉柄の纖維はマニラ麻より弱けれ共之に代用

食	薬					
纖						



Musa sapientum L

バナナ

（バセウ科）

地方名　ピサン（馬）
産　地　熱帶（栽培）（原產インド？）
性狀用途　葉裏粉白、苞赤褐、果、花莖、莖食用、葉柄より纖維を採る、莖、根の汁は收斂性で赤痢、下痢に内用、ウガヒ用、バナナはマラヤバセウの種無變種ならむし

食



Dioscorea alata L.

ダ　イ　ジ　ヨ　　　　（ヤマノイモ科）

地方名　ウビ・ナシ(馬)マン(泰)グレーターヤム(英)
産　地　熱帯アジア(栽培)(原産インドシナ？)
性状用途　茎、葉に四稜の翅あり。芋の形、色は種々。澱粉質でトロロ用、煮食、澱粉用、生食も可、ヤマノイモ属の芋はディオスコリンあり有毒のものもある。かかるものは水洗せぬならば焼食す可し(煮食では毒が分解せぬ)

食



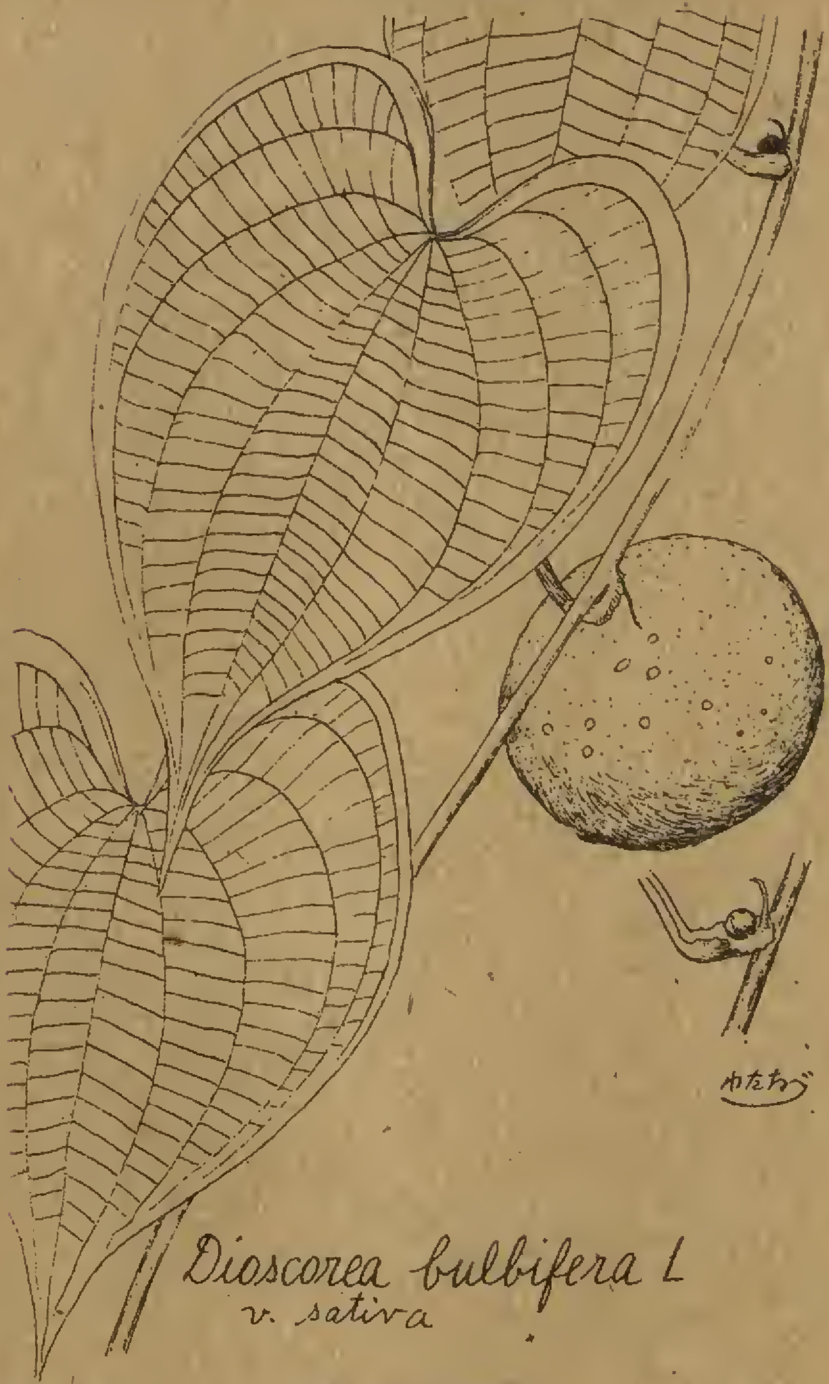
Dioscorea alata L

アカダイジヨ　　　（ヤマノイモ科）

地方名　ヴビ・ナシ・メラ(馬)グレーターヤム(英)
産　地　熱帯アジア(栽培)
性状用途　蔓、ダイジヨの芋の赤紫色のもの、葉面と葉柄の間は赤い。芋は澱粉性、食用トロロにして生食も可

295

食						
						毒



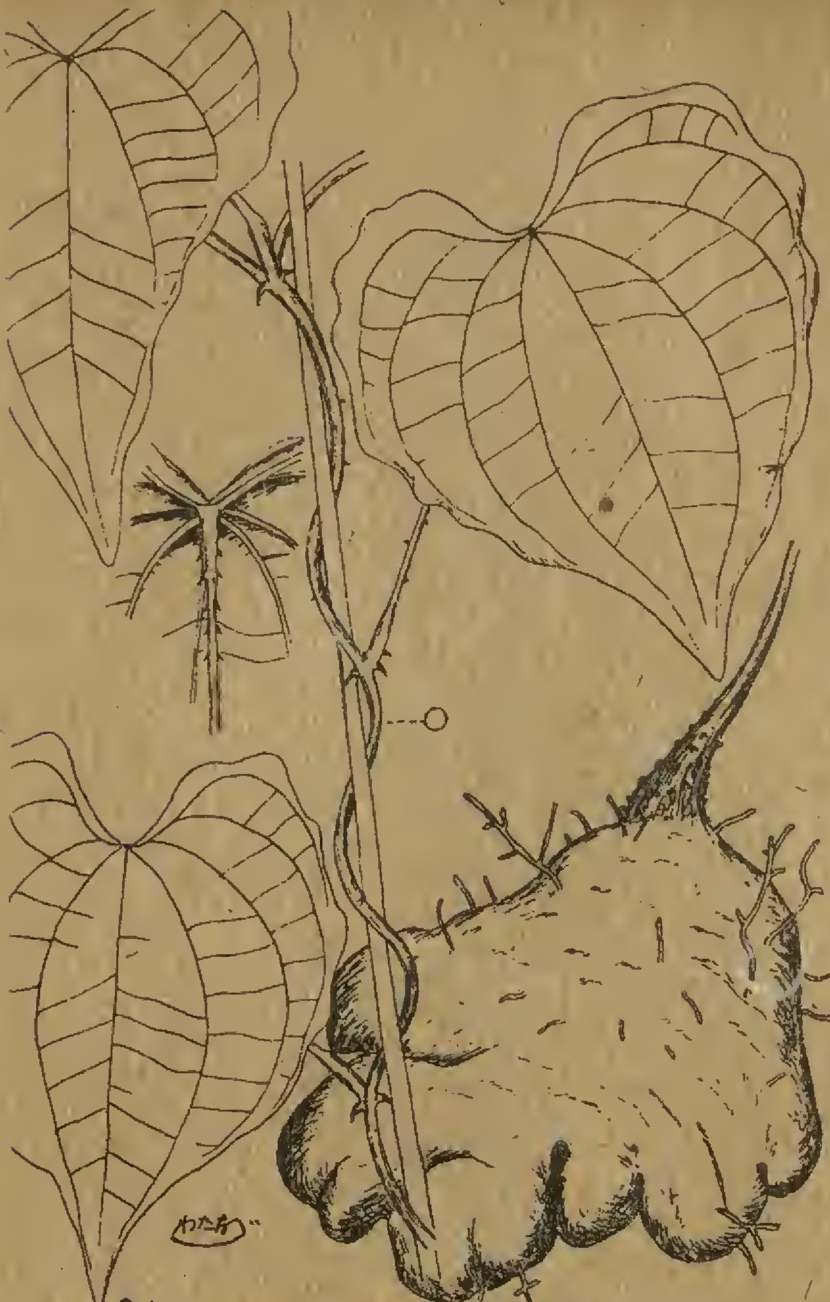
シヨクヨウニガガシウ　（ヤマノイモ科）

地方名　ウビ・カステラ（馬）マン・ノ（泰）

産　地　熱帯アジア（栽培）

性狀用途　莖、大きなムカゴを生ず、ムカゴは皮を去り細切してゆでて食す。（皮のままでは苦し）。野生品はムカゴ小さい。根の芋はスリ下して灰汁を加へて洗ひ、又は切片としてゆで更に數日水洗して煮食す、ディオスコリンを含みやや有毒なる故生食す可らず

食						



Dioscorea esculenta BURKILL

トゲドコロ　（ヤマノイモ科）

地方名　ウビ・ナシ・トラ（馬）レツサーヤム（英）
産　地　熱帯アジア（栽培）（原産インドシナ）
性状用途　莖、蔓に刺あり、小形の芋を多産、野生に近き品種には芋の上に大きな刺あり芋を保護す、澱粉性、食用、トロロにして生食可、ディオスコリンなし

296

食						
						毒



ミツバドコロ　　　　（ヤマノイモ科）

地方名　ガドン（馬）コイ（泰）

産　地　熱帯アジア

性狀用途　莖、芋は淺い、デイオスコリン、デイオスコリシン（アルカロイド）あり有毒であるから薄く切つて流水で數日洗ひゆで食す、動物に試食せしむべし、單なる煮燒で食ふ可らず、矢毒

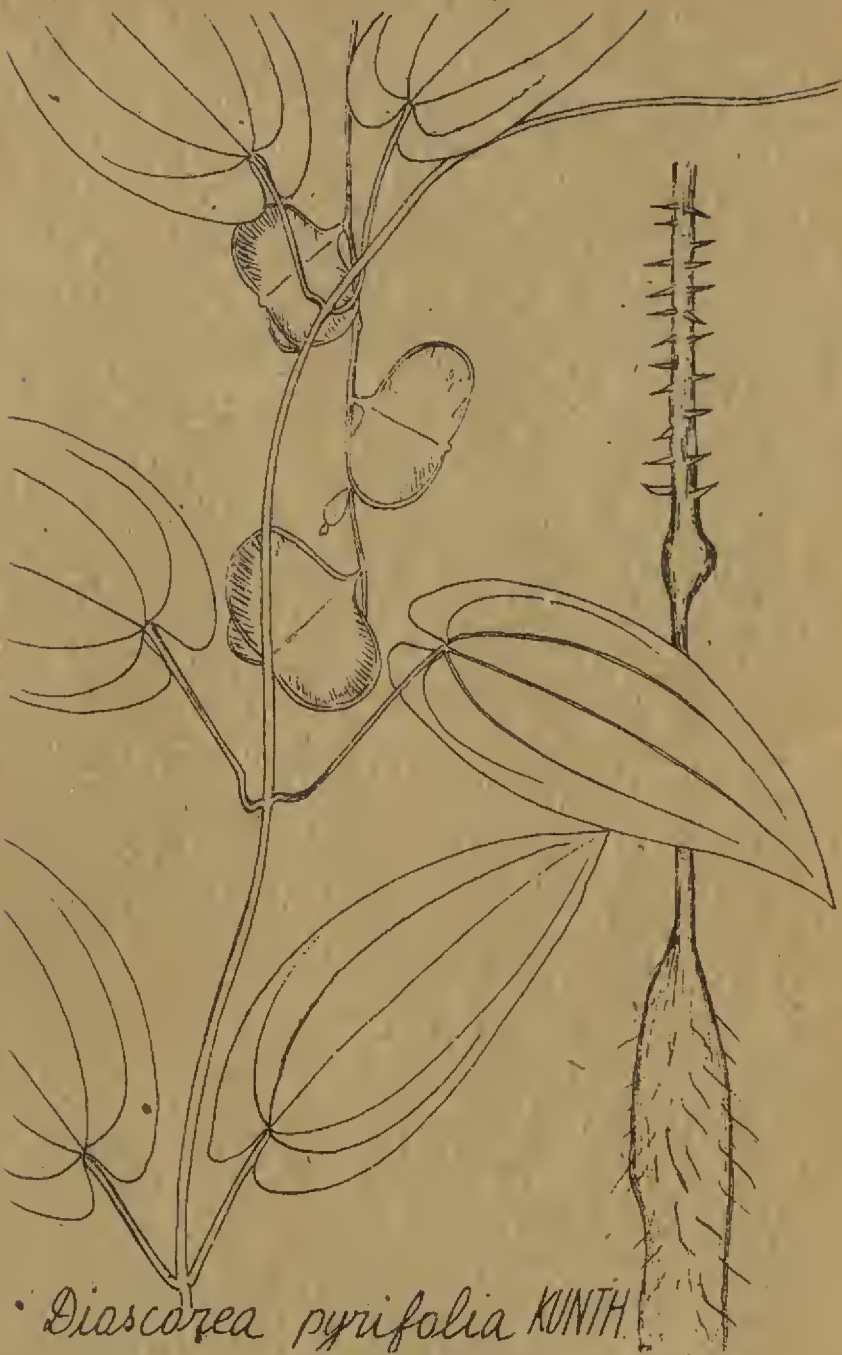
食						
						毒



Dioscorea pentaphylla L.

ゴヨウドコロ　　　　（ヤマノイモ科）

地方名　ウビ・パセア（馬）マンアウン（泰）
産　地　熱帯アジア
性狀用途　蔓、昔は栽培もしたが、今は野生のみ、芋は澱粉性食用、但ディオスコリンあり生食す可らず



Diascorea pyrifolia KUNTH.

ナンヨウヤマイモ　　（ヤマノイモ科）

地方名　（カール・クムニヤン・パヤ、馬）
産　地　マライ
性狀用途　蔓、日本のヤマノイモに近し、葉は短毛、芋は深し、煮食、燒食（生食す可らずと云ふがトロロとして食べ得る樣に思ふ）

食							
							毒



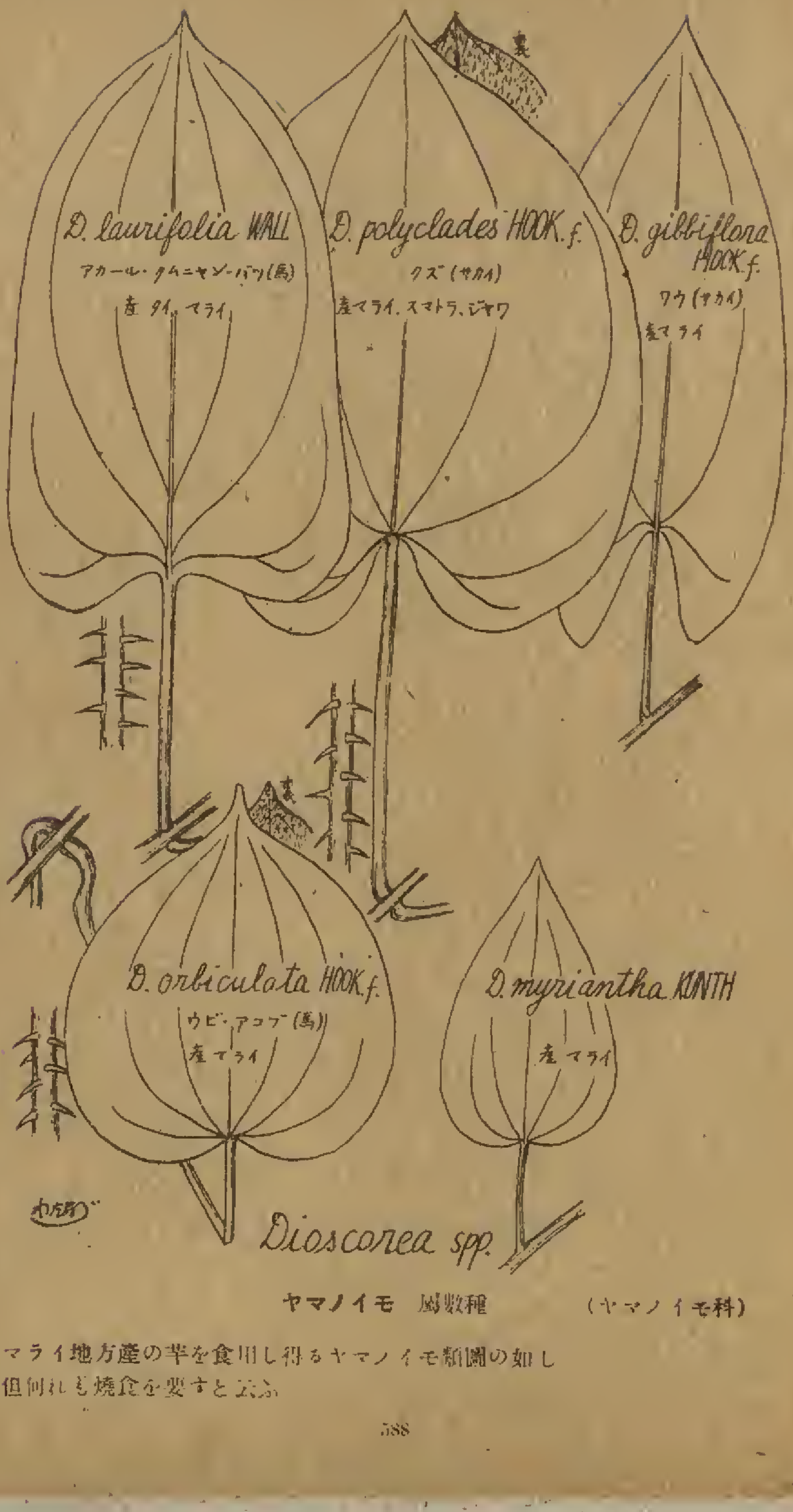
Dioscorea piscatorum P. & B.

ヒラトゲドコロ　　　（ヤマノイモ科）

地方名　ウビ・チユロ（馬）トバ・ウビ（馬）
產　地　マライ、スマトラ、ボルネオ
性狀用途　蔓、山地、刺は扁平。芋は淺く、刺で保護さる、芋赤く殺虫用、魚毒、但燒けば毒を失ひ苦味なく食用可、生食す可らず

292

食



ヤマノイモ 屬數種　　　　（ヤマノイモ科）

マライ地方産の芋を食用し得るヤマノイモ類圖の如し
但何れも燒食を要すと云ふ

食						
綱						



Tacca pinnatifida FORST.

タ シ ロ イ モ　　(タシロイモ科)

地方名　ルクール(馬)

産　地　熱帯アジア、大洋洲(栽培、野化)

性狀用途　草、莖の枯た後芋を堀り、スリ下して水中に沈澱した澱粉を食用(タヒチアロールートと云ふ)、芋はそのままでは食用にならぬ、莖は編で帽子にする.

食						
繊					剛	李



リウゼツラン　（ヒガンバナ科）

地方名　サイザル（英

産　地　熱帯、栽培野化。原産アメリカ。

性状用途　多肉、葉を去り、 短太の茎は細切しゆで出し タマリンド果泥を加へ煮食す（エグミを去る）若花茎もゆでて食す、但全株少量のサポニンあり全く無毒ではない・葉の纖維はサイザルの一種で索用、葉に刺のないものを特にサイザルと云ふこともあるが、區別の要なし

區						
域						



Curculigo latifolia DRYAND

スヂハラン （ヒガンバナ科）

地方名　ルンバー馬`
産　地　ビルマ、アンダマン、マライ、スマトラ、ジャワ、ボルネオ
性状用途　草、高二尺。花黄、果は甘、生食、食後水を飲むと甘さが口に残る、花、根は利尿、葉の纖維は網用

300 (2) オオスヂハラン、産インド南支、濠洲間、花序長梗、他は(1)に同じ

食

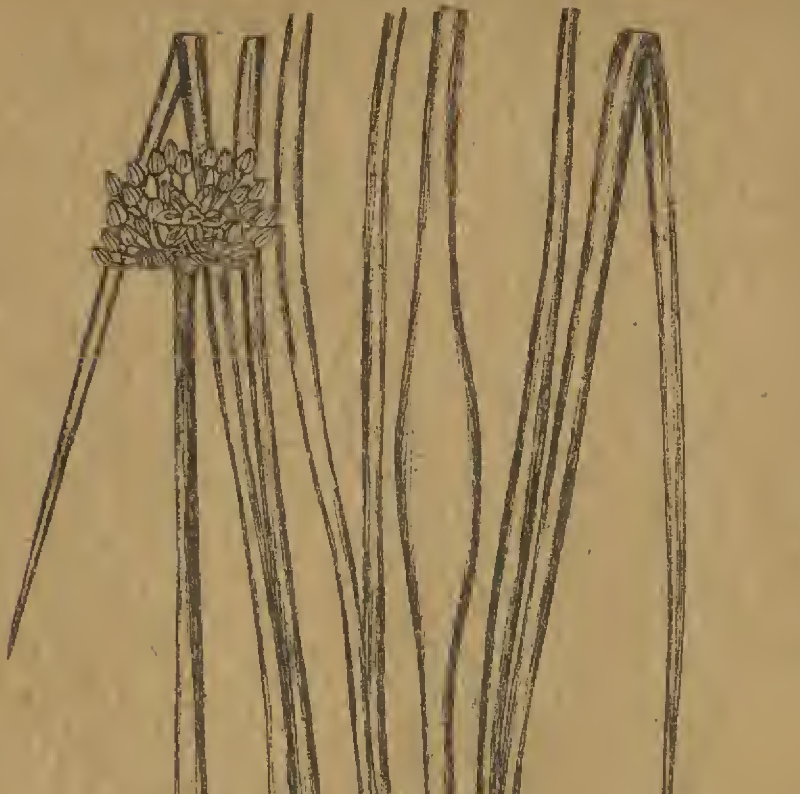


Allium ampeloprasum L.

リーキネギ　　　　（ユ・リ　科）

地方名　パワン・サユラン（馬）
産　地　温熱帯（栽培）
性狀用途　野菜、葉は扁平、熱帯では高地で栽培

食	薬					



アカワケギ　　　　（ユリ科）

地方名　バワン・メラ（馬）
產　地　温熱帶（栽培）
性狀用途　野菜、鱗莖は集合、老熟すると赤皮、花白、熱帶では乾した鱗莖を市販しラツキヨウの如く食す、又葉を出してネギ代用、やや殺菌性あり　ラギ麹の製造、蓖麻葉の結性殺菌用、乾燥氣候を好む

301

食	薬					



Allium odorum L.

ニラ　　　（ユリ科）

地方名　クチヤイ（馬・支）
産　地　温熱帯（栽培）（原産日支）
性状用途　野菜、強香、花白、熱帯でも開花結實、ネギ類中最も熱帯で作り易いもの、葉は健胃食品、種子は興奮強心薬として内用

食	薬					
			蝋			



Aloe vera L. v. chinensis
= A. chinensis BAKER

トウロカイ(キユラサオロカイ)　　ユリ科

地方名　リダ・ボアヤ(馬)
産地　熱帯、栽培（原産アフリカ）
性状用途　多肉、葉白斑、他のロカイ同様葉を切って垂直に置き出る汁を固め肝色ロカイを得、之はアロインを含み少量は健胃、多量は瀉下、其の残った葉は皮を去り寒天質を砂糖に混じて食す、粘液は又整髪料



Cordyline fruticosa GOEPP.

センネンボク　　　　（ユリ科）

地方名　ジユン・ジユアン（馬）

産　地　インドより濠洲迄（マライは栽培）

性狀用途　直立灌木、觀賞用、赤葉もあり、若葉は食用、地下の肥大根莖は甘く之を下痢止に嚙む

食						
	染					



ホソバセンネンボク　　　　（ユ リ 科）

地方名　スンジユアン（馬）パンダン・スラニ（馬）

産　地　マライ

性狀用途　灌木、森林にあり、若葉は食用、老葉はスリツブシて食品に緑色を付す

303

Dracaena maingayi HOOK.f.



スズカケセンネンボク　　　　ユリ科

地方名　チヤマウ 馬

産　地　マライ

性状用途　喬木になり得、海岸、花白、淡紅紫の縦條あり、若葉は食用、葉はスリツブシ食品染料

食						
					観	

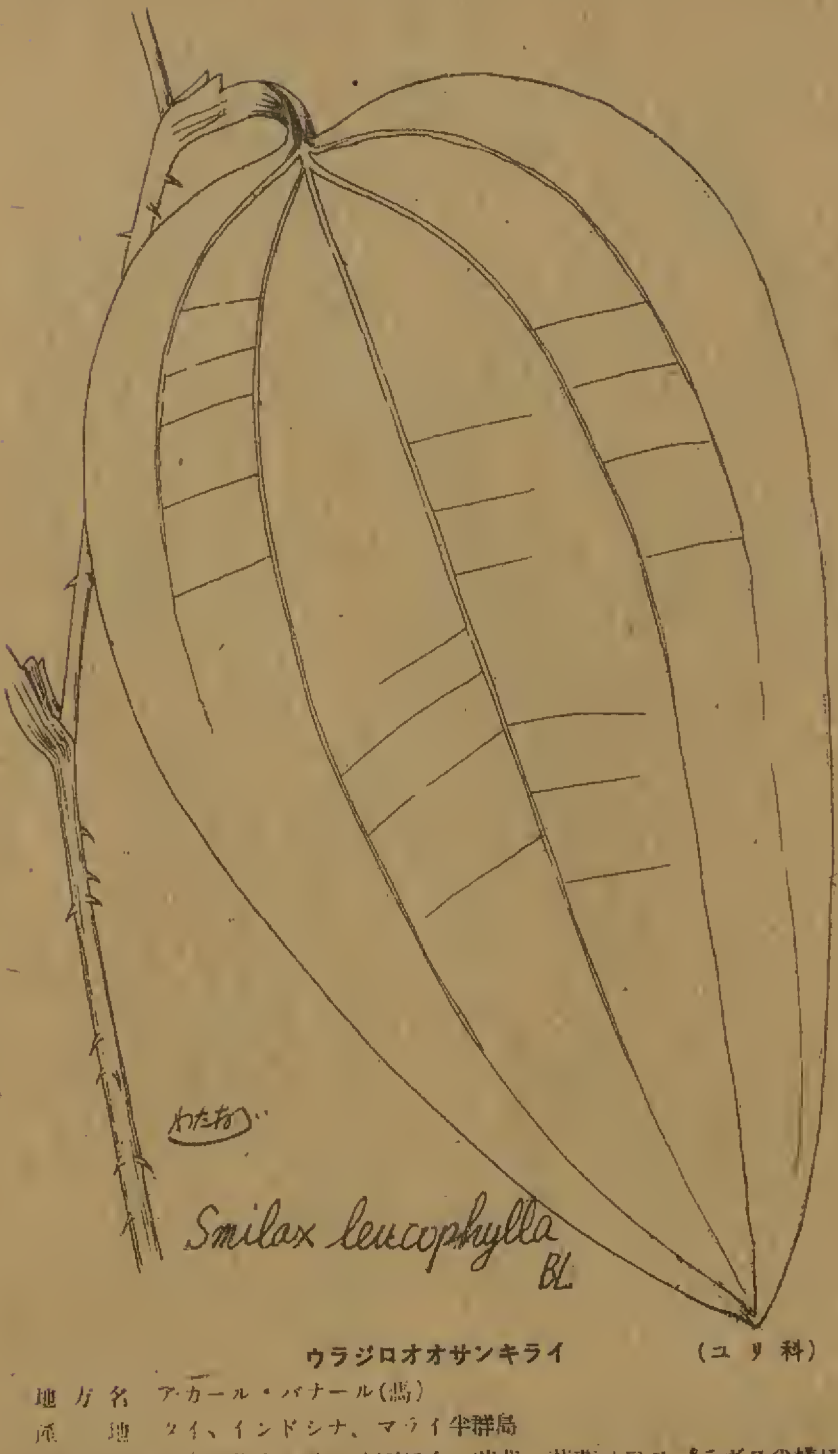


カンゾウ　（ユリ科）

地方名　ガンダスリ（馬）キンチヤム（金針）（支）
産　地　温熱帯（栽培）（原産日本）
性状用途　草、花は橙色、花を乾して食用、糖分蛋白あり美味、熱帯では低地より高地が良

304

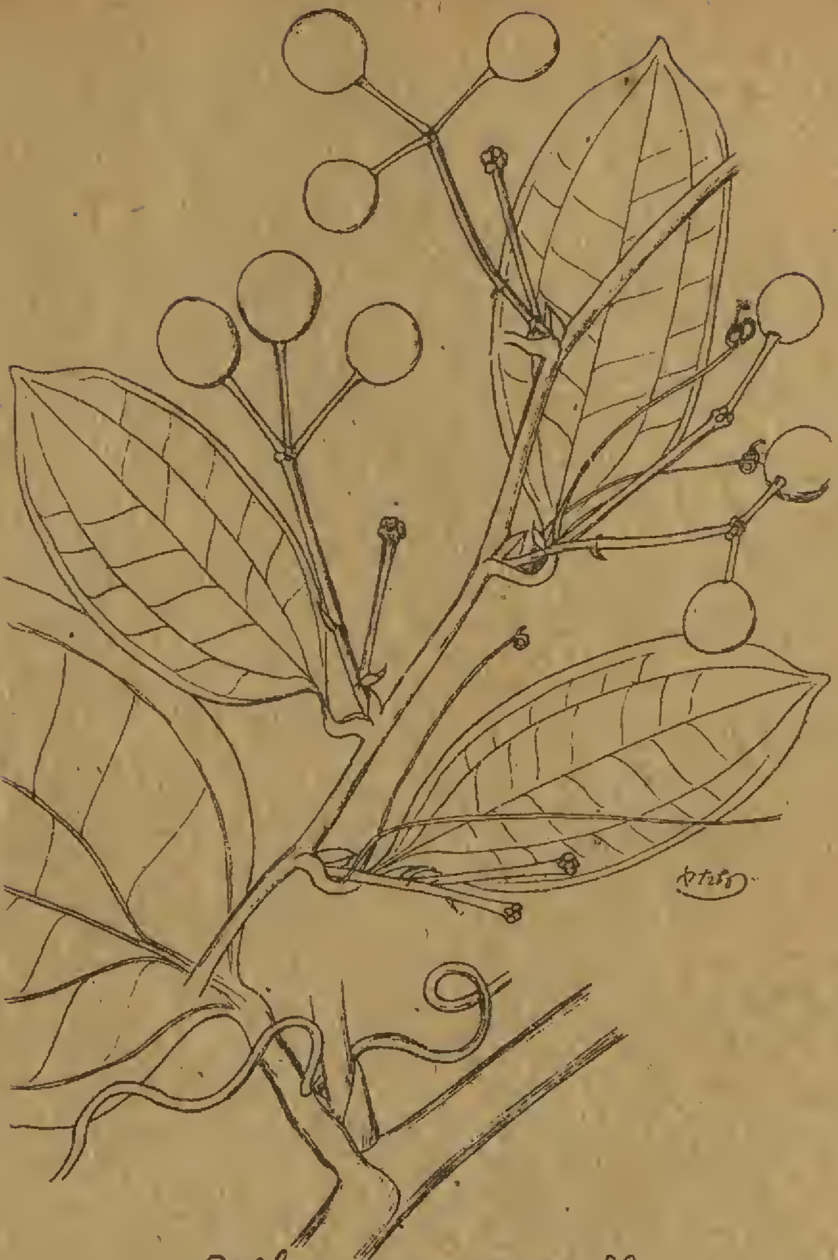
食						雑



ウラジロオオサンキライ　　　　（ユ リ 科）

地方名　ア·カール・バナール（馬）
産　地　タイ、インドシナ、マライ半群島
性状用途　蔓木、葉大、軟、裏面粉白、若芽、若莖はアスパラガスの樣に食す、莖はステツキ

食						



Smilax megacarpa DC

オオミサンキライ　　　　（ユリ科）

地方名　アカール・クロナ(馬)
產　地　インド、マライ、ジヤワ
性狀用途　蔓、根莖赤、果根莖食用

食		飼肥	
纖			



ホテイサウ　　（ミヅアフヒ科）

地方名　クムリン・ツロール(馬)パクトツブ・チャバー(泰)

産　地　温熱帯（野化）（原産アメリカ）

性狀用途　水草、花紫、若葉、花序はゆでて食す、飼料、肥料、灰には加里多し、纖維は製紙用

食						



ミヅアフヒ　（ミヅアフヒ科）

地方名　チャチャ・ラアヤ（馬）パトツプ（泰）
産　地　熱帯アジア
性状用途　水草、花葉、莖、花は食用、美味

306

食薬



Monochoria vaginalis PRESL

コ　ナ　ギ　　　　（ミヅアフヒ科）

地方名　クルアヤ（馬）エチエン・パジ（馬）

産　地　熱帶アジア

性狀用途　水草、水田、花紫、食用、根の汁を胃痛、喘息、齒痛、葉汁を咳に用ふ



アヒルイボクサ　（ツユクサ科）

地方名　タパ・イテ(馬)
産　地　熱帯アジア
性狀用途　雜草、花小、紫、茎やや赤、食用

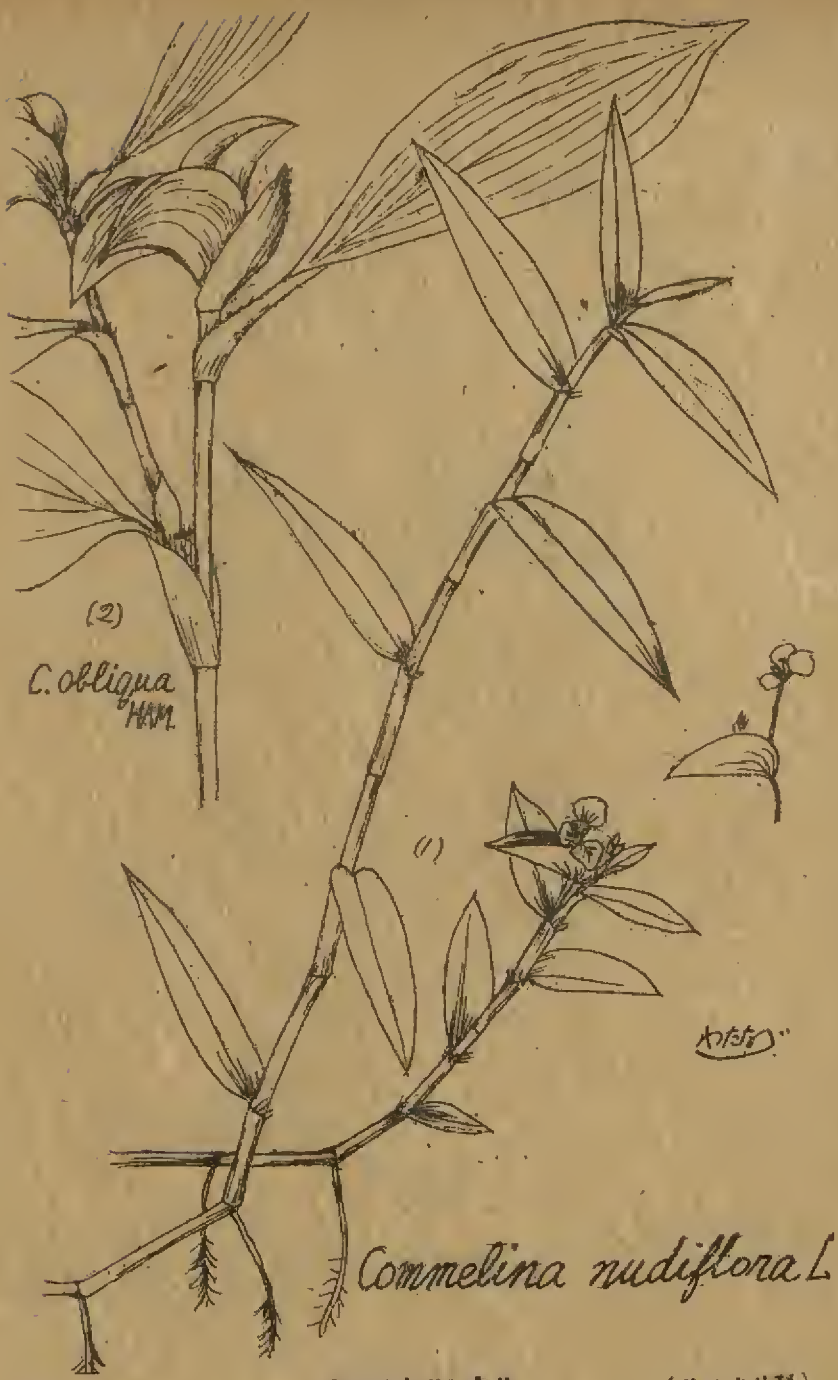


Commelina bengalensis L

マルバツユクサ　　（ツユクサ科）

地方名　ルンプ・マイヤム（馬）
産　地　熱帯アジア
性状用途　雑草、花コバルト、全草食用、飼料

食	飼			



ナンヨウツユクサ　　　　（ツユクサ科）

地方名　ルンプ・クプクプ(馬)

産　地　熱帯

性狀用途　雜草、食用、飼料

(2) オオバツユクサ、産インド、マライ半群島、(1) より太形、同途同じ

食　飼



ツユクサモドキ　　　　（ツユクサ科）

地方名　ナシ

産　地　熱帯アジア

性状用途　雜草、食用、蛋白多く榮養價大、飼料

食

Forrestia marginata HASSK



ツルヤブメウガ　　　　（ツユクサ科）

地 方 名　スクワール・メラ（馬）
産　　地　ビルマ、タイ、マライ、ジヤワ
性狀用途　草、林中、果紫、全草食用

食



ザルゾゴヤブメウガ　　　（ツユクサ科）

地方名　ツブ・クルウエ(馬)
産　地　マライ半群島
性状用途　草、林中、果白、全草食用(果も)

Zebrina pendula SCHNIZL.



ハカタカツラ　　　　（ツユクサ科）

地方名　ナシ
産　地　熱帯アジア(野化)
性状用途　蔓、花紫、葉表紫に白條、葉裏紫、食用

310

食	薬					
繊						

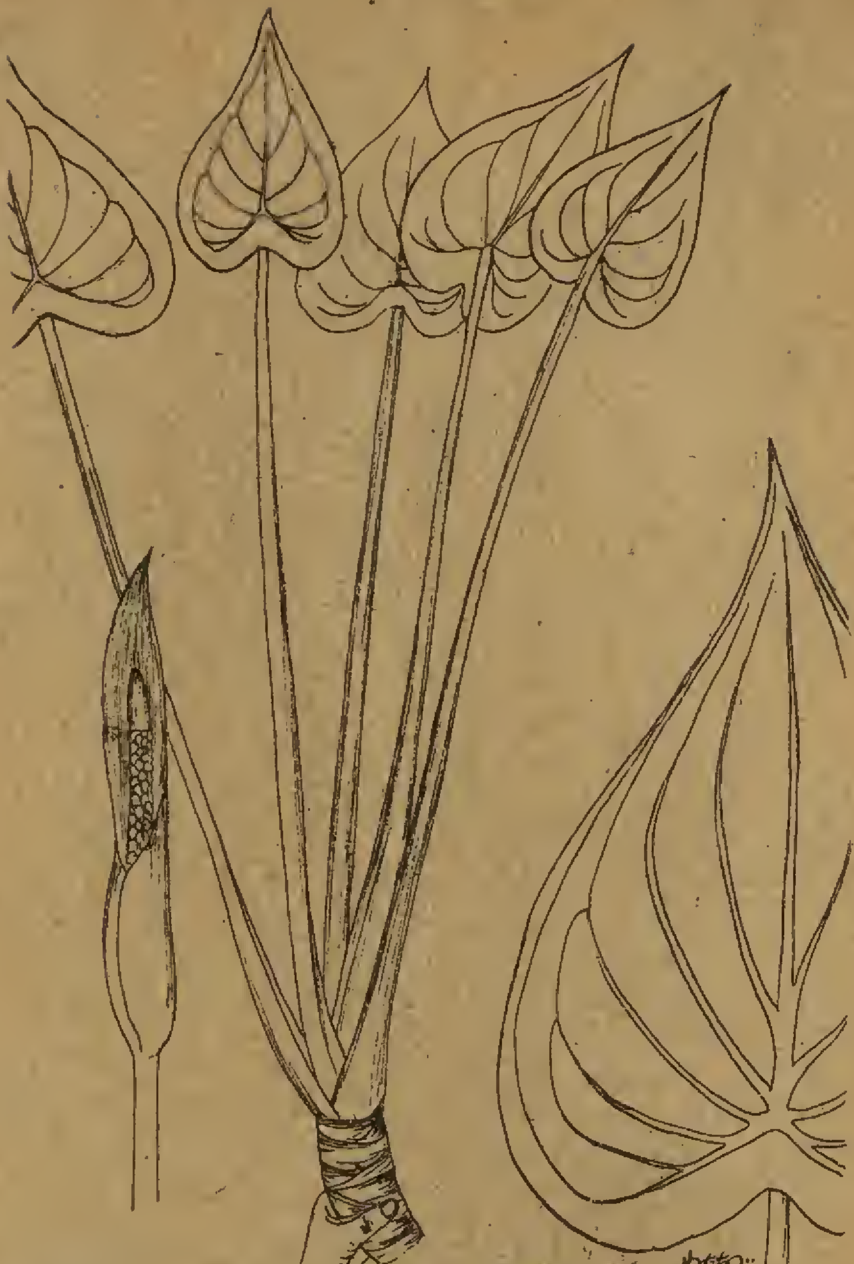


Ananas comosus MERR.
= *A. sativus* SCHULT.

アナナス　（アナナス科）

地方名　ナナス（馬）サパル（泰）パインアップル（英）
産　地　熱帯(栽培)（原産南米）
性状用途　果は生食、カンヅメ、焼酒、酢、アルコール用、若果は峻下、堕胎果は蛋白酵素ブロメリン(トリプシンの一種)あり、傷を侵す。ヂフテリア義膜除去のウガヒ用、葉の纎維は糸、網、織物

食						



Alocasia cucullata SCHOTT.

タイワンクワズイモ　（テンナンショウ科）

地方名　ナシ

産　　地　インド、ビルマ、南支（マライ栽培）

性狀用途　野菜、葉滑、根莖は澱粉あり食用、エグミ甚し

食



クハズイモ　（テンナンシヨウ科）

地方名　ビラー・ネグリ(馬)
產　地　熱帶アジア
性狀用途・葉端上向。葉滑、芋は澱粉あり毒ではないがエグミ甚しく食へば發音不能になる
但サトイモ同樣アクヌキすれば葉柄も食用可、葉柄紫又は紫雲あるものは栽培種でエグミ少し



ハ ス イ モ　　（テンナンショウ科）

地方名　クラヂ・ウラム(馬)

産　地　熱帯アジア(栽培、野生)(温帯では栽培)

性状用途　野菜、葉面滑．葉裏、葉柄粉白、葉柄は生食、　エグミなし葉面、果も煮食、マライでは石灰地方に多し

312



Calocasia esculentum SCHOTT

サ　ト　イ　モ　　（テンナンショウ科）

地方名　ウビ・クラア（馬）
産　地　温熱帯（栽培、野化）（原産インド）
性状用途　野菜、葉面ビロウド状、野生品はエグミ強く豚の飼料但しエグミは蓚酸石灰針の刺感であるから、葉柄を乾すか、又は米のトギシルに浸して醱酵（一七日位）させれば食用可

食



Amorphophallus bulbifer Bl.

ムカゴコンニヤク　　（テンナンシヨウ科）

地方名　ナシ
産　地　インド、ビルマ、タイ
性状用途　草、葉柄に不規則長形の白斑、葉にムカゴあり、花は肉緑色、芋はコンニヤクを作り得と云ふ

313　コンニヤク類は莖、葉も食用可なり(エグミは注意)(但マムシグサと区別す可し)

食								



ゾウコンニヤク　（テンナシシヨウ科）

地方名　ウビ・ガジヤ（馬）ムンチヤクレダ（印）
產　地　熱帶アジア（栽培、野生）
性狀用途　高六尺、葉柄滑で楕圓白斑あり、事に子芋を生ず、花は殆ど咲かず芋は澱粉質、エグイが煮食、コンニヤクを作り得ず、葉柄、葉も食用可



オオヤマコンニヤク　　（テンナンシヨウ科）

地方名　ロキ(馬)

産　地　マライ、スマトラ

性状用途　高六尺、葉柄藍緑、点紋、白圓斑、花柄六寸、花直徑五寸、芋は子芋なく、エグイが、コンニヤクを作り得べし

314

食						



アイグキゾウゴンニヤク　（テンナンシヨウ科）

地方名　ウビ・ガジヤ（馬）ポンベイ・オル（印）
産　地　熱帯アジア（栽培）（原産インド）
性狀用途　高六尺、葉柄藍綠、雑條と小突起滿布、班はない、花は直徑一尺餘、コンニヤク製造可なるべし

食						



イロガワリコンニヤク　　　（テンナンシヨウ科）

地方名　クンバン・バンカイ（馬）
産　地　マライ半群島
性状用途　石灰地方、花は高さ二尺、色は種々、芋、葉、葉柄、果食用

315

食						



ミズズイキ　　（テンナンショウ科）

地方名　クラヂ・パリ(馬)

産　地　マライ、ボルネオ

性狀用途　水草、根莖を食用し得と云ふが、エグミに注意、之を殆ど同一に見える他種をボルネオでは食用にする

食					香	



ニホイズイキ　　（テンナンショウ科）

地方名　クルモヤン（馬）プサム・チクス（馬）
產　地　マライ、ボルネオ
性狀用途　草、山の陸地、葉はシヨウガの香あり、切るとハス素が認る、タニズイキに似て居るが葉脈少しく異り、花苞は切れて落る事なし、
310　葉は少しエグく香味料とする

食	薬					



Lasia spinosa THWAITES

ミズヤツデ　（テンナンシヨウ科）

地方名　ギリギリ（馬）コヒラ（印）

産　地　熱帯アジア

性状用途　水草、葉柄（皮を去る）、若葉食用、エグミなく美味、根は疝痛、葉は胃痛、痔に用ふ

食	薬		飼	肥		



Pistia stratiotes L

ボタンウキクサ　　　（テンナンショウ科）

地方名　カンピヤン(馬)チヤウ(泰)

産　地　熱帯

性狀用途　浮草、ゆでて食用、辛し、豚の飼料、灰は加里原料、肥料、薬は利尿、赤痢に内用、腫物、皮膚病に外用、根は下剤



Rhaphidophora lobbii SCHOTT

ツルズイキ　　　（テンナンショウ科）

地方名　アカル・アサム・ツビン・パヤ（馬）
産　地　マライ。ボルネオ
性状用途　茎、葉は食用



タニズイキ　（テンナンシヨウ科）

地方名　ナシ

産　地　熱帯アジア

性狀用途　谷間　葉光　葉基部の側脈分岐す、花の苞は中途から切れて落ちる、
葉柄　根莖食用

318

食						



ヒメタニズイキ　（テンナンショウ科）

地方名　ナシ
產　地　マライ
性狀用途　蔭地、花の苞は中途から切落、葉柄、根莖食用

食



ミツデハンゲ　　（テンナンシヨウ科）

地方名　クラヂ・プユウ(馬)ハヌアラ(印)

產　地　熱帶アジア

性狀用途　雜草、葉食用、根莖も切片にして乾し食用

3.19

食



Xanthosoma sagittifolium SCHOTT

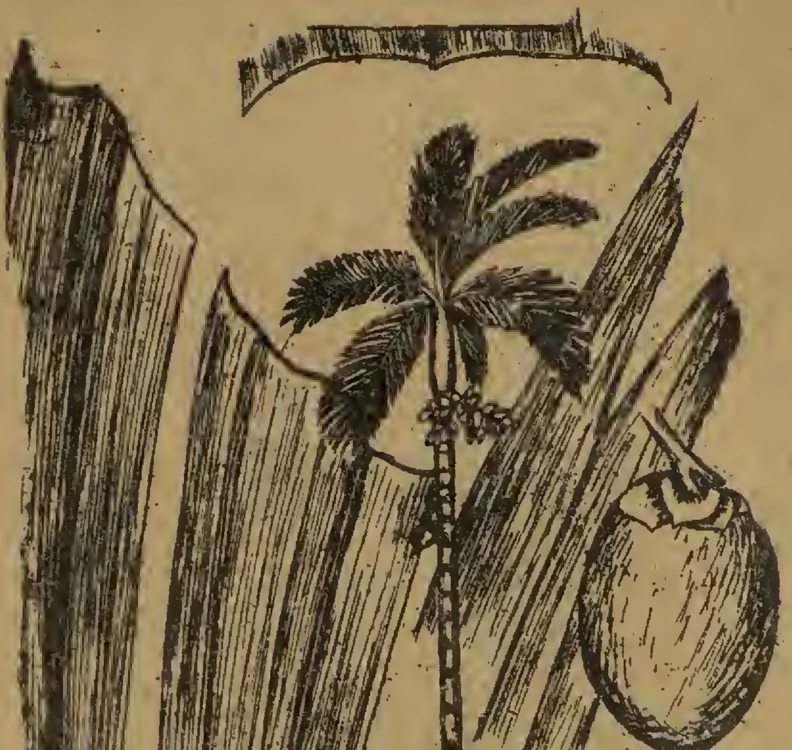
アメリカサトイモ　　　　（テンナンショウ科）

地方名　ナシ

産　地　熱帶(栽培)(原產アメリカ)

性狀用途　野菜、葉緣に環走脈。葉柄粉白、葉柄の紫のもある、子芋を食す(オヤイモは食はぬ)葉。葉柄はエグイが食用

食	薬					雑
	染					



ピンロウジ　　　　（ヤシ科）

地方名　ピナン(馬)マーク(泰)
産　地　熱帯アジア(栽培)(原産マライ？)
性状用途　幹はモクサウチク状、果橙色、嫩頂ゆでて食す、種子はアレコリン、タンニンを含み下痢、駆虫用、咀嚼、鞣皮用、花苞はウピスとなり物包用
320　ヤシ科の嫩頂はゆでれば大低食用可(但マライドクヤシを見よ)

食						糖
繊						



サトウヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　ナオ(馬)
産　地　インド、タイ、マライ、スマトラ、ボルネオ
性状用途　幹は黒毛、葉裏銀灰、幹高二十尺になると開花して枯れる、果肉、若芽、椰子の胚乳(果肉は皮膚を刺戟)(澱粉あり)食用、花序を切り液から砂糖、酒を作る、幹皮はトヽ毛は綱、屋根、葉片中肋はホウキ、アミ棒、葉柄ステッキ



ヒロハサトウヤシ　　（ヤシ科）

地方名　ナウ（スマトラ）
産　地　スマトラ
性状用途　やや叢生、葉裂片は波状、用途サトウヤシに同じ



ムラダチサトウヤシ　　　　　（ヤシ科）

地方名　ルンカプ(馬)ランカイ(泰)

産　地　マライ、タイ

性狀用途　叢生、山地、ニポンヤシ狀であるが幹に刺なく黑毛あり、果赤熟、莖頂、髓(甘)食用、葉は屋根、葉片中肋は矢、果皮刺戟性

食		一				雑
繊		材				



Borassus flabellifera L.

ウチワヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　タイ（馬）ツーンタ・ノーテ（泰）パルミラ（英）
産　地　熱帯アジア（栽培）
性状用途　乾燥ある地に育つ、放置すれば葉柄は幹に残る、茎頂、髄（澱粉）、若果（胚乳）、發芽幼植物食用、花序、根は利尿、葉はウチワ、屋根、インド教典紙（タラ葉）、葉柄、幹の繊維はブラシ、製紙用、若花序（雌雄木共に）を切り液から砂糖、酒を作る、周材は用材、ステツキ、モノサシ、コウモリの柄　落果時イスリ下し食べる 澱粉ありサゴつくりし

322

食						雑



ツエトウ　　　　（ヤシ科）

地方名　ロタン・スマンブー（馬）マラツカケーン（英）

産　地　マライ、スマトラ、ボルネオ

性状用途　蔓、茎頂食用、節間の長いものはステツキ、蔓性ヤシを籐と云ひ種類多し皆刺あり、茎頂は食用

食						雑



カブダチクヂヤクヤシ　　（ヤ シ 科）

地方名　ブド（馬）タオロヴン（泰）

産　地　ビルマ、タイ、インドシナ、マライ半諸島

性状用途　小木、叢生、茎頂髄（澱粉）、種子の胚乳食用。但果皮の針晶は皮膚をイライラする事甚し、此果の落下水で水浴注意。葉柄基部の綿毛はホクチ、吹矢のオタリ用

食	菜	油			植
糧	染				



Cocos nucifera L.

コ コ ヤ シ　　　　　（ヤ シ 科）

地方名　ニヨ（馬）カラパ（馬）

産　地　熱帯（栽培）

性状用途　堅硬果の胚乳（コプラ）、果水（サンタン）食用、コプラは油用。花序を切て液から砂糖、酒酢を作る、果皮纖維（コイヤ）索、果内の殼はボタン、活性炭、葉片の軸はホウキ、葉は屋根、若果を下痢止、コプラはビタミンA多し、サンタンはインヂゴ染に併用

食						纖
藥						



Corypha utan LAM.
=*C. elata* ROXB=*C. gebanga* BL.

タラヤシ(グバンヤシ)　　(ヤ シ 科)

地方名　イブス(馬)グバン(爪)貝多羅(支)

産　地　熱帯アジア(栽培)

性状用途　三十年で開花し枯れる、嫩頂、髓(澱粉)食用、花序は砂糖、酒を採る、葉は経文用、編物,ウチワ、カサ。葉柄は編帽、ツナ、果の核はボタン
幹一本より、澱粉200ポンド

3.2-4

食		油				
纖						



Elaeis guineensis JACQ.

アブラヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　カラパ・モニエ(馬)

産　地　熱帯(栽培)(原産アフリカ)

性狀用途　四年で結實、果は紫、ウメボシ位で人頭位に集合す、果の胚乳は食用、果肉からパーム油核の中の胚乳からカーネル油を採り食用、莖頂に近く横孔をあけ液を採り酒にすることもある、葉の纖維はツリ糸、ツナ

食						糧
纖						



スダレヤシ　　　　(ヤシ科)

地方名　ブルタム(馬)
產　地　マライ.
性狀用途　無莖、葉は地から出る、長十尺、林中で群落をなす、若果，雄花序(澱粉あり)食用、葉は屋根、葉柄はスダレ、吹矢、ツリザオステツキ、編壁、索

325

(2)ヒロハスダレヤシ (1)に同じ

食						雑
					観	



Licuala spinosa WURM.

ヤレアオギ　　　（ヤシ科）

地方名　パラス(馬)カーパウ(泰)
産　地　マライ半群島
性狀用途　濕地、果赤、莖頂、髄を食用、此類の他の種も同樣に用ふ　果も食すと云ふ　葉は屋根用
又若葉をゆでて表皮を去りタバコの卷紙に用ふ

食					雑
纖		材		觀	



コーチビロウ　（ヤシ科）

地方名　セルダン（馬）
産　地　インドシナ　タイ　マライ　フイリピン
性狀用途　葉粉白、幹基に葉の殘りあり、果碧、莖頂、種子（クダキて）食用、
葉は屋根、敷物、ウチワ、ミノ、馬尾毛代用、材は強く建築、柄、弓

食						
					竄	

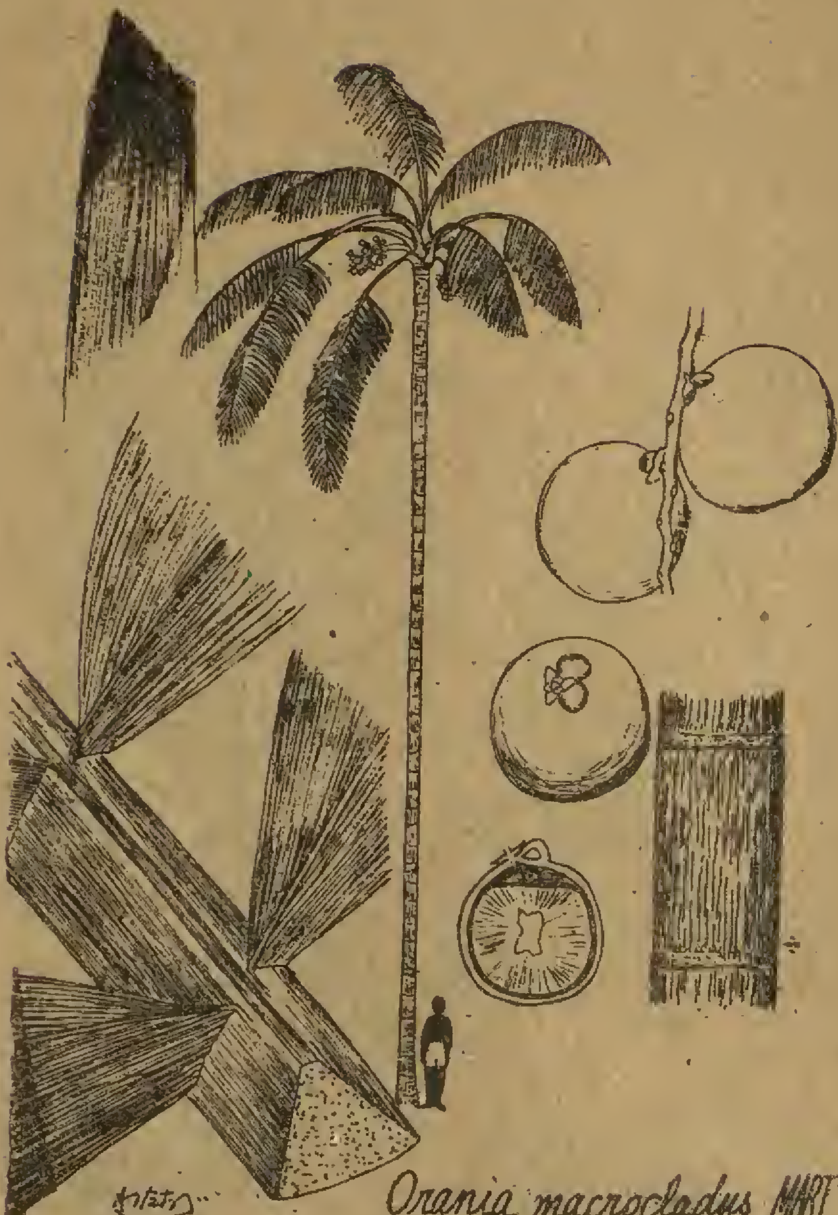


セイタカビロウ　　　　（ヤシ科）

地方名

産　地　熱帯（栽培）

性狀用途　シュロに酷似、果赤、果皮を食す



マライドクヤシ(參考)　　(ヤ シ 科)

地方名　イプル(島)＝ボンイプル(馬)
產　地　マライ
性狀用途　大形、幹に縱皺、葉裏灰白でやや褐、葉柄及中脈は淡褐、果軟果は猛毒で一果で象を殺す、毒成分は水溶性で加熱により分解莖頂も有毒、材は强く弓にする

食						雑
藥						

Metroxylon sagus ROTTB.



サゴヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　ルンビヤ(馬)サグ(馬)
産　地　マライ、スマトラ、ボルネオ、ジャワ
性状用途　濕地。十五年で開花し枯れる、小株分出、8－12年位のものの髄より澱粉(サゴ)を採る、一本400ポンド、粕も飼料、髄はそのまま生食、煮食も可、果、莖頂も食用
葉は屋根用(最優)、葉柄の纖維は索

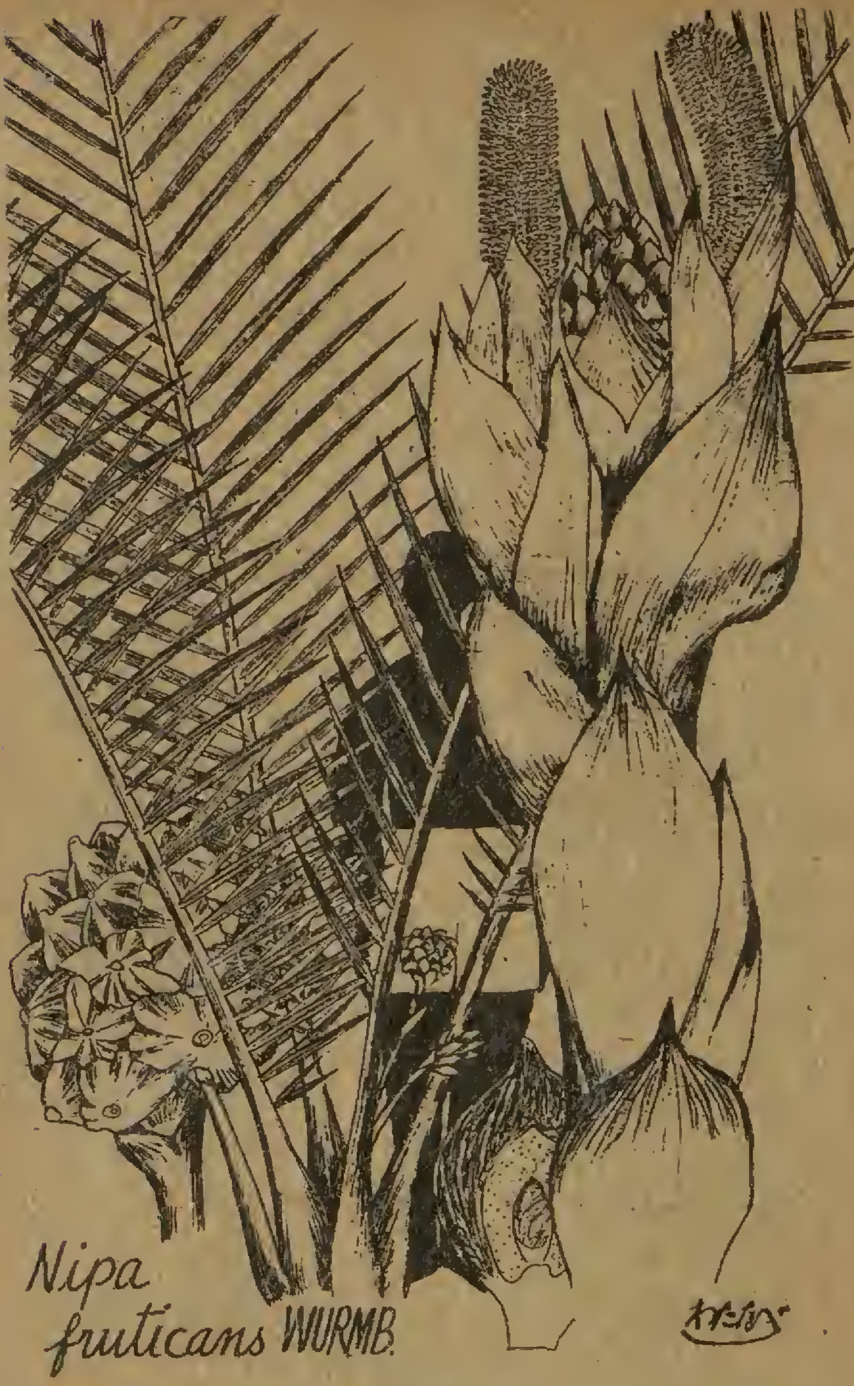
食						雜
纖						



トゲサゴ　　　（ヤシ科）

地方名　サグ・ヅリ(馬)
産　地　マライ、ボルネオ、ニユーギニア
性狀用途　濕地、用途サゴに同じ

食						雑



ニッパヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　ニパ(馬)
産　地　マライ、タイ
性状用途　海に近い入江、幹なし、若種子食用、花序を切り汁を砂糖酒にする、葉は屋根、カサ、ダマル脂包用、若葉の表皮を去りタバコの巻紙、葉柄は矢

食	薬					糊
繊		材				

Oncosperma tigillaria RIDL.
= *O. filamentosa* BL.



ニポンヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　ニポン（馬秦）
産　地　熱帯アジア
性状用途　叢生、平地にあり、莖頂花食用、果はビンロウジ代用、材は彈力、耐水、ヤシ類中第一、水上家屋の柱、ステツキ、槍、丸木橋、幹刺は吹矢の先、モリの歯、花序苞は水桶、葉はカゴ、葉の纖維も利用し得べし、根の煎汁は解熱

329

食	薬					雑
纖		材				



コワバニボンヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　バヤス（馬）バヤイ（泰）

産　地　マライ、タイ、インドシナ、フイリピン

性狀用途　叢生、内陸林、ニボンより葉は硬く垂下せず、用途ニボンヤシに同じ

食						
繊	染					



Phoenix paludosa ROXB

マライソテツジユロ （ヤ シ 科）

地方名 ダンサール（馬）
産　地 インド、ビルマ、タイ、マライ
性狀用途 海岸、葉の基部は刺、果赤、果、髓（澱粉）食用、葉は製紙用、タンニン原料

食



サラカヤシ　　　　（ヤシ科）

地方名　サラ・ウタン(馬)
産　地　マライ、スマトラ
性狀用途　幹は殆どない、果は褐、種衣は甘酸、食用

食						[illegible]
繊						



ヤブサラカヤシ　（ヤシ科）

地方名　サラ・ウタン（馬）アサム・パヤ（馬）
産　地　マライ、スマトラ、ボルネオ
性狀用途　無幹、森林濕地、果黃、酸く生食、煮食、若葉はゆでて裂き編物、老葉は屋根用
(2) ナガミサラカヤシ、果長、他は(1)に同じ

食	薬					

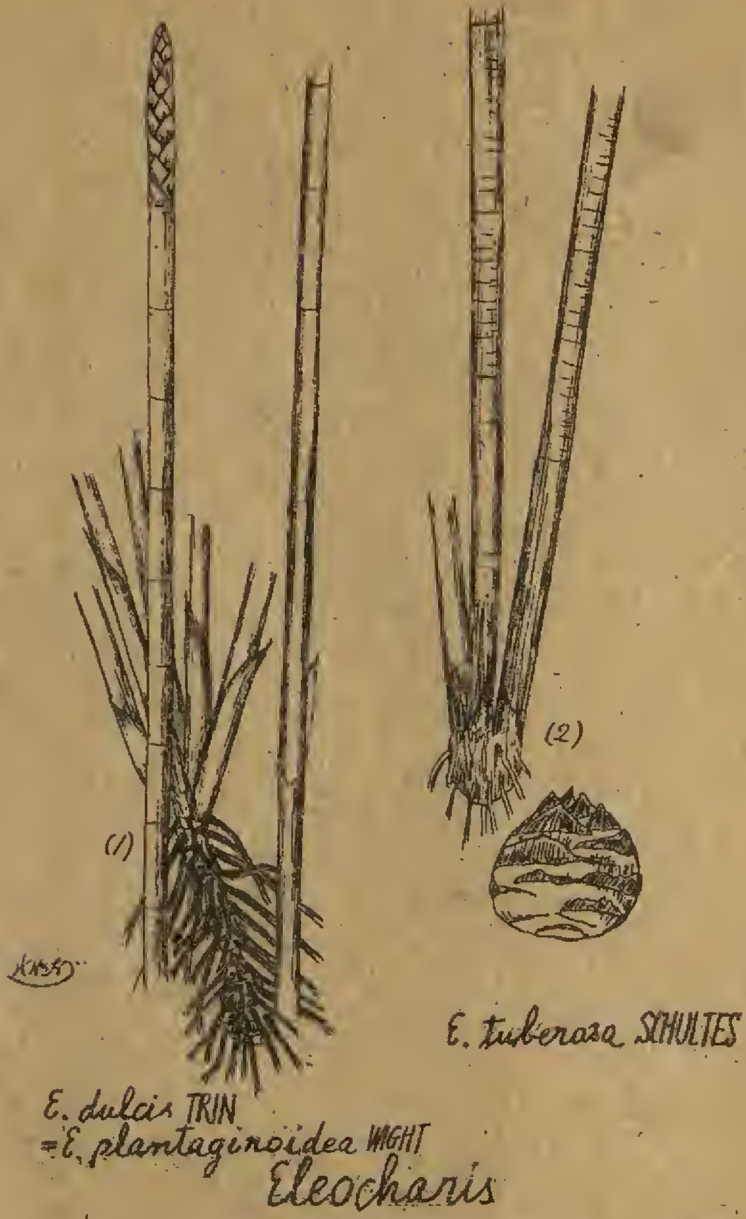


Cyperus rotundus L.

ハ　マ　ス　ゲ　　　　（カヤツリグサ科）

地方名　ルンプ・ハリヤ・イタム（馬）カラシドル（印）
産　地　温熱帯
性状用途　草原、海岸、根の球は香あり食用、此球は利尿,下痢止、消化不良、胃病、駆虫に内用、傷、潰瘍に外用
<u>カヤツリグサ科には有毒はない、強いて食へば何の種でも全草食用可</u>

食



クログワヰ属　（カヤツリグサ科）

沼地の草、球莖は澱粉あり食用

(1)クログワヰ地、チケ(爪)産、熱帯アジア

(2)オオクログワキ地マチ(支)ホツサイ(支)熱帯アジア(栽培)特に南支に多し球莖大

332

食	薬					



ハ　ト　ム　ギ　　　　　　（禾 本 科）

地 方 名　ジユライ・プル（馬）チイウイ（泰）イミイ（支）

産　　地　温熱帯（栽培）（原産東南アジア）

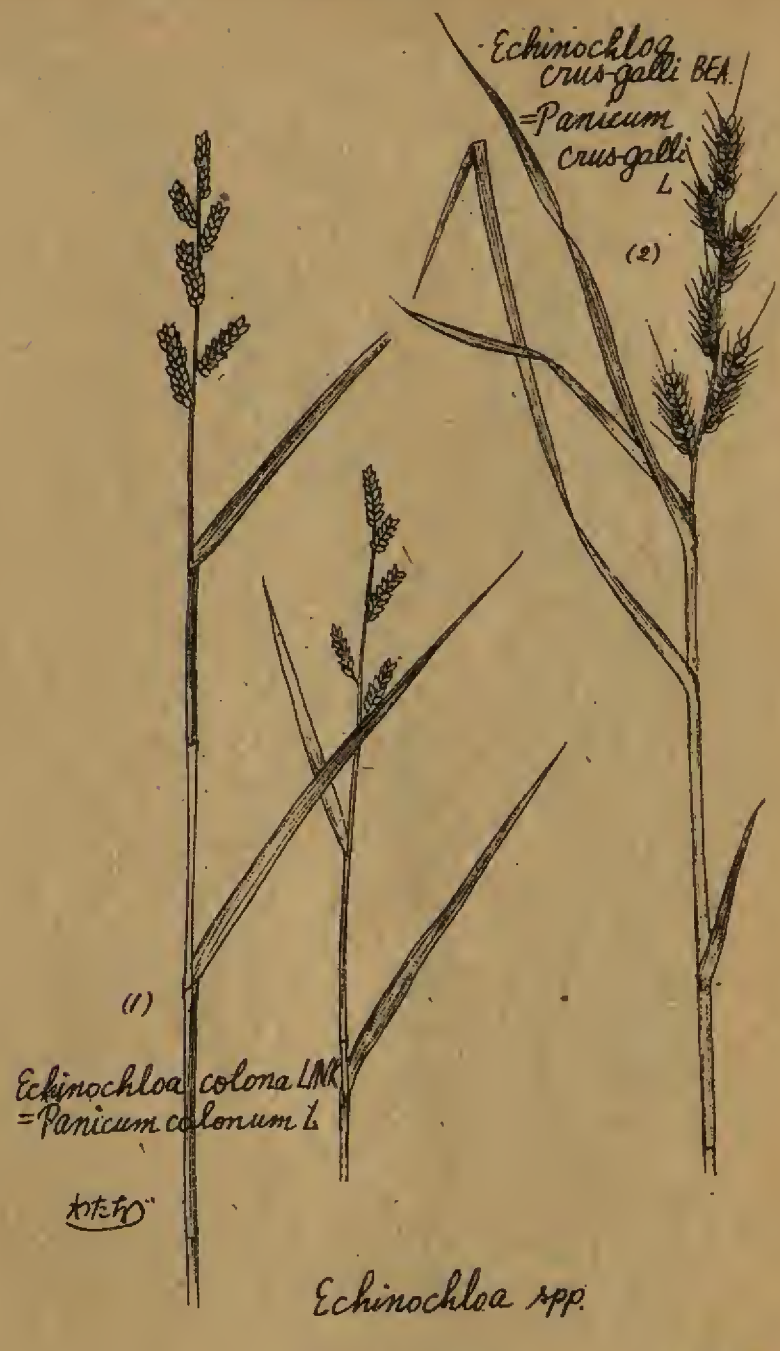
性状用途　果皮の硬い野生品をジユズダマと云ふ、ハトムギは果皮軟で歯でも砕き得るの差のみ、果皮を去り・粥として食す、又果を砕いて茶とする、果は利尿、根の煎汁は駆虫に内用、葉は牧草　　禾本科の若葉は全部食用可・茲に掲たもののみではない。



レモングラス　　　　(禾本科)

地方名　スライ(馬)チャカイ(泰)
産　地　熱帯(栽培)(原産マライ？)
性狀用途　ススキ狀、高二尺、芳香、粉白、葉端は垂下、コウスイガヤより葉狭し、花無毛、葉の根元は料理用、葉は香料、茶とす、全草シトラール、シトロネラール、ゲラニオールを含む

食		飼				



Echinochloa spp.

(1) インドビエ (2)ヒエ　　　（禾 本 科）

地 方 名　パヂ・ブーロン(馬)ルンプ・クサクサ(馬)
産　 地　温熱帯
性狀用途　雜草、水田、種子、若芽食用、飼料

食	薬		飼			



(1) オヒシバ (2)シコクビエ　　(禾本科)

(1) 地方名　ルンプ・サンパウ(馬)ヤーチャンカー(泰)
産　地　温熱帯
性状用途　叢生、高一尺、幼時には全草を食す、果は食用又飼料としてビタミンB多し。全草解汗薬、茎はサナダに編む
(2) 地方名　サンパウ(馬)ラギー(印)　(1)の改良種乾地を好む収穫三月果はナタネの種子状。果を主食製粉モヤシは麦芽代用持糖食用

食	薬					雑
繊						



Imperata cylindrica B.
=*I. arundinacea* Cyr.

チガヤ(ツバナ) （禾本科）

地方名　ララン(馬)ヤーカー(秦)
産　地　温熱帯アジア
性状用途　雑草、白い根茎は糖、澱粉あり其の煮汁は飴湯として飲み、アルコール、ビールを作る、葉、根茎は淋病の利尿、種子の毛は止血用詰物用、葉は製紙用、屋根用

食	飼					



チゴザサ属　　　　　　　（禾本科）

地方名　ルンプ・ミニヤ(馬)
産　地　東洋
性状用途　若芽食用、飼料
(1)オオチゴザサ、山地に多し
(2)チゴザサ、平地に多し

335

食						
[illegible]						



Oryza spp.

イネ屬　　　　　　　（禾本科）

(1)イネ　地　パディ(馬)栽培　果は熟しても落下せず

(2)ヒメノイネ　地、パディ、ブーロン(馬)　平地の水中にあり、果は黒熟し落下す。(熱帯アジア)

(3)ナガミノイネ、地、パディ・ウタン(馬)山間の川邊にあり、モミに毛なし



Saccharum spp.

サトウキビ屬　　　(禾本科)

(1)　ワセオバナ地ツブ・ラウ(馬)産熱帶アジア、河岸、若芽生食、若穗食用
(2)サトウキビ地ツブ(馬)栽培(原産マライ地方)砂糖用、若穗は美味
(3)ホハラミサトウキビ地ツブ・ツロール(馬)栽培、孕穗を食す



Sorghum vulgare PERS

タカキビ（コウリヤン）　　　　（禾本科）

地方名　ジャゴン・グルバン(馬)

産　地　温熱帯(栽培)(原産アフリカ)

性状用途　高十尺、果穂は赤色垂下のもの、白色上向のものあり、澱粉 蛋白、油を含み良好な食品で煮食、製粉、コーヒー代用、モヤシは糖化力強く飴の原料、果・葉飼料、茎・葉鞘はタンニンあり。マライでも成育良好



マ コ モ　　　（禾本科）

地方名　ルボン・アエル(馬)
產　地　東洋熱帶(栽培　野生)
性狀用途　水草、イネに似て大、病的肥大の莖基煮食、タケノコの如し

食			飼			



Gramineae

(1)スズメノヒエ(2)インドスズメノヒエ　　(禾本科)

(1)地方名　ナシ
産　地　熱帯アジア
性狀用途　果は食用、全草良好な飼料

(2)地方名　コドラ(印)ジャリンガン(爪)
產　地　熱帯(栽培、野生)
性狀用途　果食用、但し時に菌毒のため中毒することあり



Themeda villosa D. et J.

Phragmites communis TRIN.

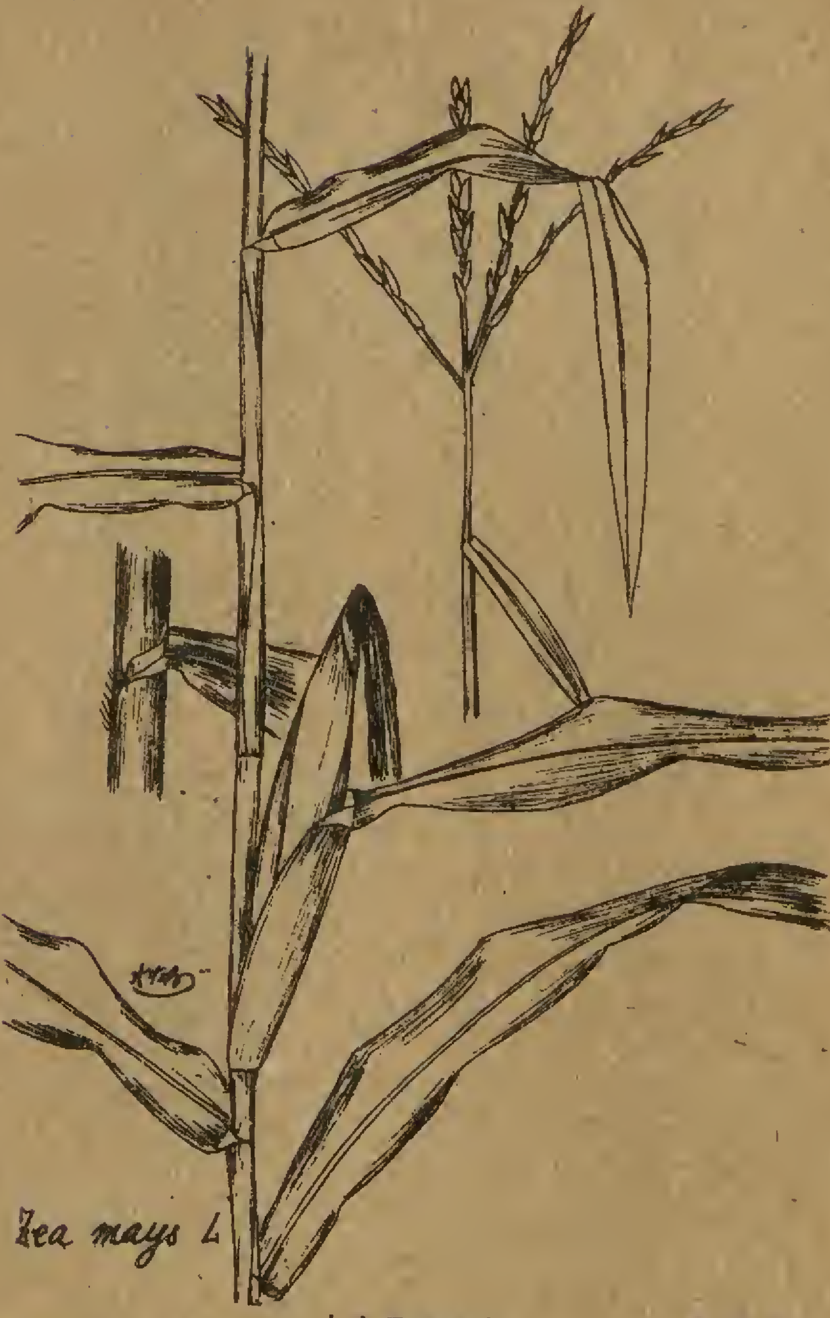
Gramineae

(1) ナンヨウカルカヤ　(2) ヨシ　　(禾本科)

(1) 地方名　ルムプ°ウォン(馬)
産地　東南アジア
性狀用途　高さ1丈、川岸、若茎葉は甘く生食、茎葉は紙料

(2) 地方名　ツブ°サラー(馬)
産地　温熱帶
性狀用途　高一丈、川岸、若茎生食、根茎は砂糖を含む、茎葉は紙料

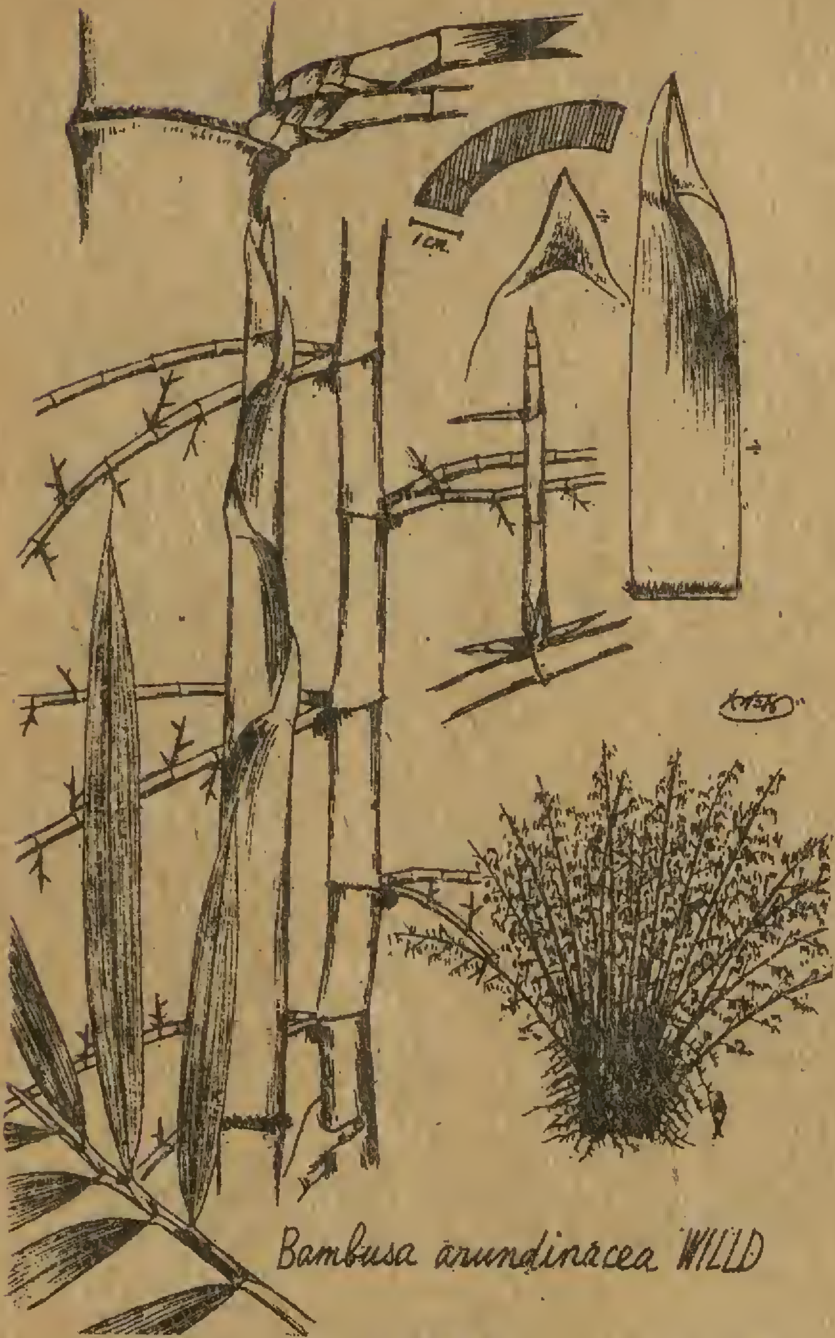
食	薬		飼			



トウモロコシ　　（禾本科）

地方名　ジヤゴン（馬）
産　　地　温熱帯（栽培）（原産アメリカ）
性狀用途　果（種子）食用、果の毛（實は雌蕊）、莖は利尿、良好な飼料

食						
		材				



インドトゲダケ　　　　（禾本科）

地方名　ブーロー・ヅリー(馬)
産　地　インド、ビルマ、タイ
性状用途　密集、刺は方向不定、タケノコは皮に紫條、食用.稈肉厚さ中位
良好な 垣用

食						
		材				



マライトゲダケ　　　　（禾本科）

地方名　ブーロー・ヅリ(馬)
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ、インドシナ、フイリピン(栽培)
性狀用途　密集、刺は上下に向ふ、タケノコは皮黄橙、紫黑毛、食用、桿肉極めて厚く强、建築用、又帽を作る

食薬

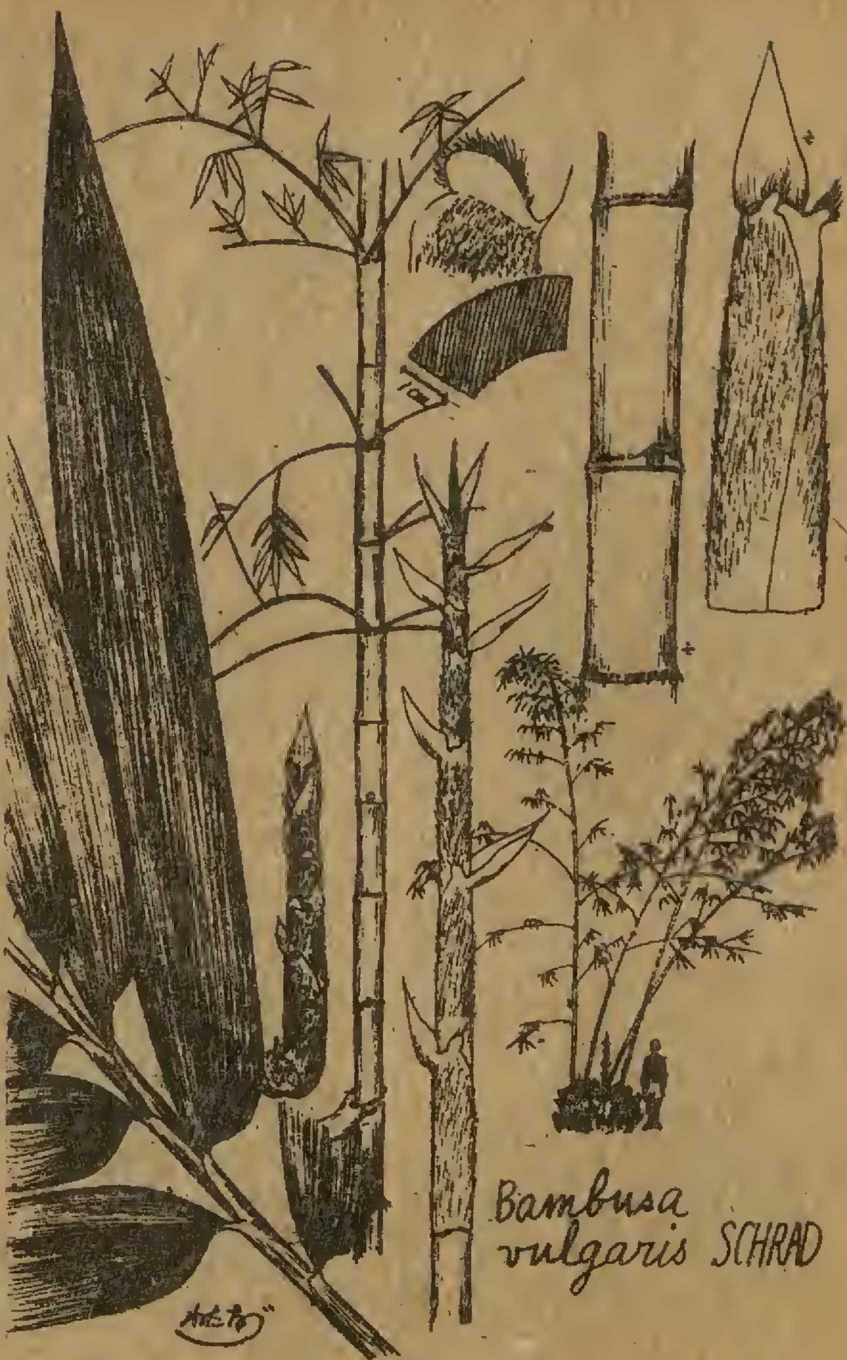


ホウライチク　　（禾本科）

地方名　ブーロー・チナ(馬)

産　地　熱帯（栽培）（原産日本？）

性狀用途　小形、垣用、タケノコは細いガ美味、タケノコを砕きコセウと煎じて墮胎に飲む



ダイサンチク　（禾本科）

地方名　ブーロー・ミニヤ・ハウル（馬）パイマイ（泰）

產　地　インド、マライ半群島（栽培）

性狀用途　やや粗生、タケノコは皮黒褐毛、一尺以内の時食用、桿は肉厚で強くサオに良好、黃桿綠條品種をキンシチクと云ふ

食						雑



Dendrocalamus asper BACKER
=*D. flagellifer* MUNRO
=*D. flagellaris* RIDL.

リヨウリダケ　　　　(禾本科)

地方名　ブーロー・ブトン(馬)
産　地　南ビルマ、マライ半群島。(栽培)
狀用性途　やや叢生、タケノコは皮褐紫色、食用として最上、稈は強く弓に作る

食						[illegible]

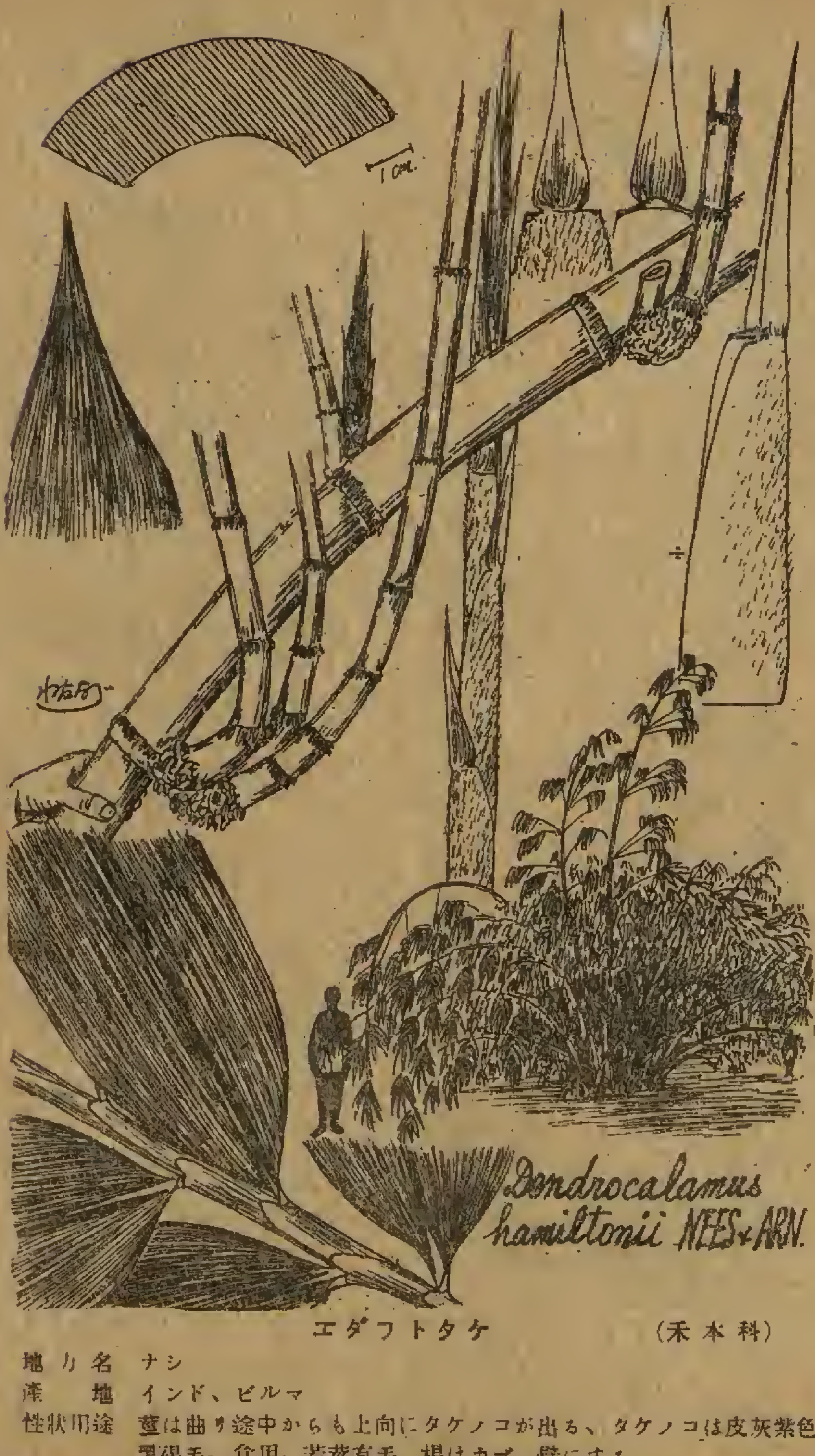


Dendrocalamus giganteus MUNRO

ザ　ウ　ダ　ケ　　　　　（禾 本 科）

地 方 名　ブーロー・スムビラン(馬)
產　　地　ビルマ、タイ
性用狀途　最も太く徑八寸、密集、タケノコは食用、桿は水桶

食						
		材				



エダフトタケ　　　　　(禾本科)

地 方 名　ナシ
産　　地　インド、ビルマ
性狀用途　莖は曲り途中からも上向にタケノコが出る、タケノコは皮灰紫色黑褐毛、食用、若莖有毛、桿はカゴ、壁にする

342



ワウゴンチク　　　(禾本科)

通り名　ブーロー・クニン(馬)
産　地　ジャワ、マライ、スマトラ
性状用途　密集、幹黄(時に緑條)肉ウスし、タケノコは皮褐毛、食用、タケノコの毛は皮膚を刺すこと著し



タマゴダケ　　(禾本科)

地方名　ブーロー・ツロール(馬)
産　地　マライ、スマトラ、ジヤワ
性狀用途　密集、竹肉ウスし、タケノコの皮の葉面部は球狀に曲る、美味竹はスダレにする

食



Enhalus acoroides R. et S.
=E. koenigii RICH.

ウミショウブ　　（ドチカガミ科）

地方名　スツール(馬)ジユランガウ・ラウ(馬)
産　地　マライ半群島
性狀用途　海中、果は生食、煮食、繊維は網用

食



Ottelia alismoides PERS

ミヅオオバコ　(ドチカガミ科)

地方名　クラヂ・アエル(馬)サンタワ・パ(泰)
産　地　温熱帯アジア
性状用途　水草、花のみ水上に出る、淡紫、全草食用

食			飼			

Limnocharis flava BUCHENAU



キバナオモダカ　　　　（オモダカ科）

地方名　ヂエンヂエール(馬)ブーアコン(泰)

産　地　熱帯（野化）（原産南米）

性状用途　水田の雑草、花黄、葉粉白、全草食用美味、飼料



Sagittaria sagittifolia L.

クワヰ　（オモダカ科）

地方名　クラヂ・チヤハン（馬）芽茹（支）

産　地　アジア（栽培）

性狀用途　水草、地下の球莖のみならず、若葉、葉柄も食用、飼料

345.

食



Aponogeton monostachyon L.

イモヒルムシロ　　（イバラモ科）

地方名　[illegible]
産　地　南支
性狀用途　水草、球根を食す
(2)　ホソバイモヒルムシロ　地ケカチヤ(印)産インド．用(1)と同じ

食			飼			



Najas graminea DELILE

ホツスモ　　　　(イバラモ科)

地方名
產　地　温熱帶
性狀用途　沈水草、全草ブタ、アヒルの飼料、人も食し得べし



Pandanus leram JONES

ニコバルタコノキ　　　（タコノキ科）

地方名
產　地　ニコバル
性狀用途　喬木、果は煮食、氣根は纖維強し索用
(2) ヤマタコノキ 地パンダン・ウタン 產マライ山中にあり（1）に酷似し果細長．用途(1)に同じ
尚之に似てやや小形のタコノキ類多し、タコノキ類の果は皆食用可

食					香	



Pandanus odorus RIDL

ニホヒタコノキ　　　（タコノキ科）

地方名　パンダン・ワンギ（馬）

産　地　マライ（栽培）

性狀用途　高三尺、葉やや濃綠で裏面粉白、ネヅミの香あり葉を碎き料理の香料とす

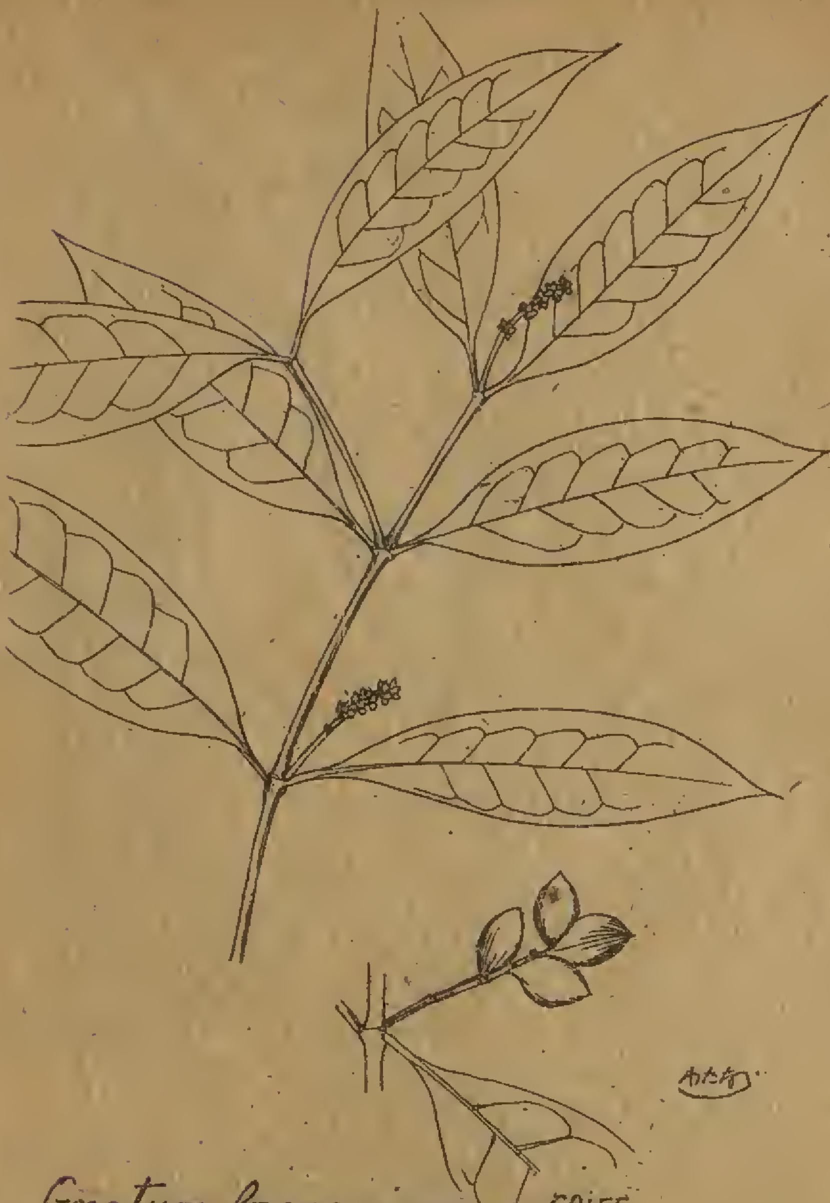
食						
						毒



ジャワソテツ　　　　（ソテツ科）

地方名　パク・ガデヤ（馬）
産　地　熱帯アジア
性状用途　海岸、内陸、若葉は煮食、種子、髄は砕きて水洗し澱粉を採る、種子にはパコイン、フイトステリンあり有毒なる故必ず水洗を要す、種子は皮膚病に、幹、葉柄の粘液は潰瘍に用ふ

食



Gnetum brunonianum GRIFF.
=*G. gnemon* L. v. *brunonianum*

ヒメユミツルノキ　　（グネツム科）

地方名　ダグン・プテ（馬）・エクール・ブランカス（馬）
産　地　南ビルマ、タイ、マライ、ボルネオ
性状用途　灌木、高六尺、幹は親指大、森林の下蔭、若葉は食用、美味、果は甘、食用

食						
纖						



ユミヅルノキ（グネモンノキ）　　　　（グネツム科）

地 方 名　ムニンジヤウ（馬）

產　　地　マライ半群島（栽培、野生）

性狀用途　小木、果は赤、濕粉質の胚乳を燒食、葉、花部、若果は煮食、樹皮は良纖維あり釣糸、弓ヅル、製紙原料、莖を切て水を飲用

食						
繊						



Gnetum latifoliam Bl.

ヒロハユミカヅラ　　　　（グネツム科）

地方名　タンキール（爪）
産　地　マライ
性状用途　蔓木、果白褐、若葉と果は食用、茎の皮の繊維は薬用、茎を切て水を飲む

344



ホソバユミカツラ　　　　（グネツム科）

地方名　ダグン（馬）
産　地　タイ、マライ
性状用途　蔓木、葉はウスし、果赤、果、若葉、根は食用（山地では重要な食品）茎の水は飲用

食 用



Acrostichum aureum L

ウミベシダ　（シダ類）

地方名　パク・ラウ（馬）ピアイ・ラヤ（馬）
産　地　熱帯
性状用途　海岸沼地、高さ六尺、葉先は赤褐色に焼た如し(胞子部)　若葉食用、地下部は傷、腫物に塗布、葉は屋根用
(2)　ヒメウミベシダ(1)と同様で食用し
シダ類の若葉は苦くないものは全部食用可、次に挙たもののみではない

350



Ceratopteris thalictroides BRONG

ミヅワラビ　　　　（シダ類）

地方名　パク・ロマン（馬）クダマウ・ウエララ（印）
産　地　温熱帯（日本本州にもあり）
性状用途　濕地、全草食用

食	薬					

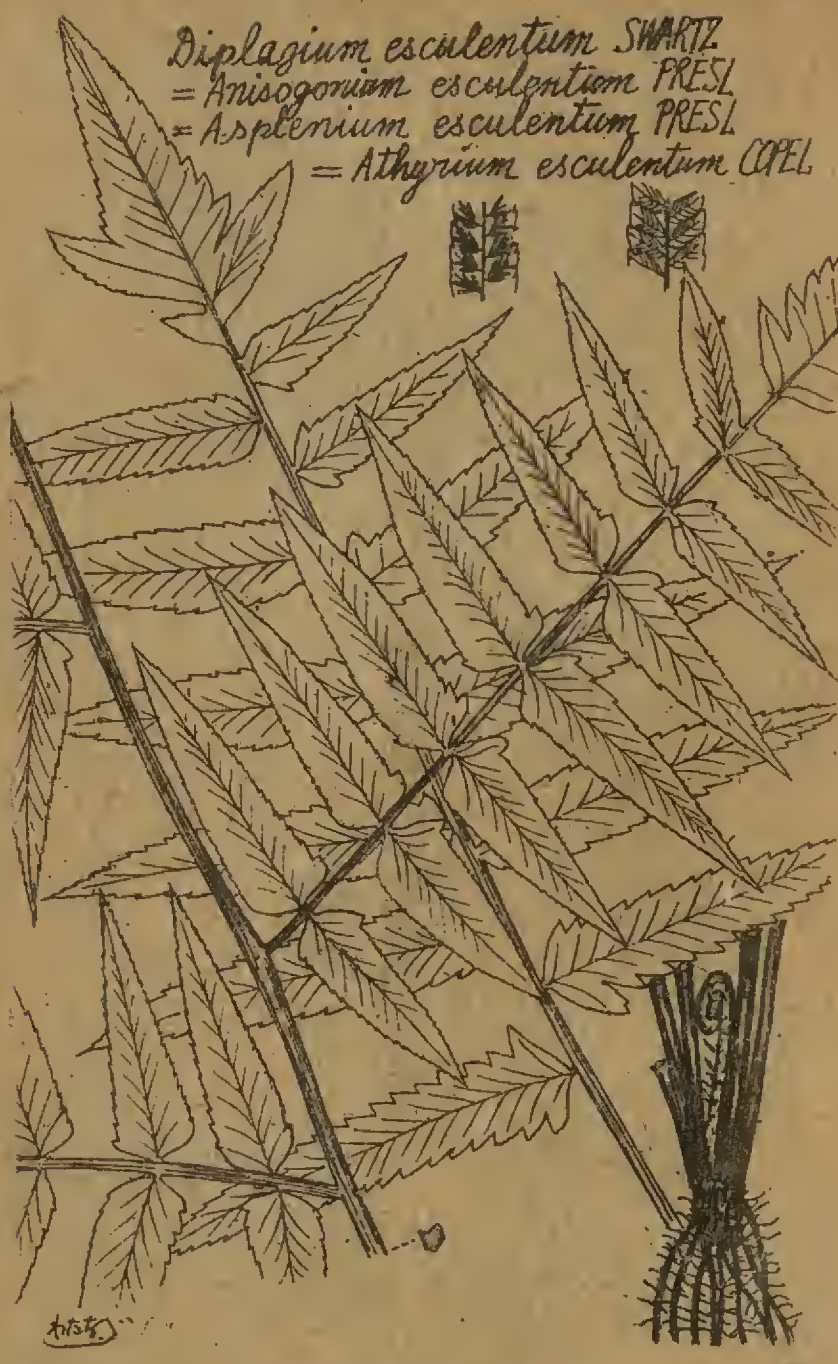


Cyathea contaminans
=Alsophila glauca J. SMITH.
=A. contaminans WALL.

ネズミヘゴ （シダ類）

地方名　バク・ガヂヤ(馬)
産　地　インド、マライ半叢島
性狀用途　木性シダ、高さ二丈、葉柄紫、葉裏粉白、マライは、500—1500米の山地に多し、若葉髄(澱粉)食用、特に髄はトロロとして可、幹周は杭として耐久、若葉の褐鱗毛は止血用

351



リヨウリシダ（クワレシダ） （シダ類）

地方名　パク・タンジョン（馬）パク・ブナル（馬）ミワナ・コラ（印）

産　地　熱帯アジア

性状用途　平地に普通な雑草、やや叢生、高さ三尺、葉柄四角、若葉は生食煮食

食	薬					



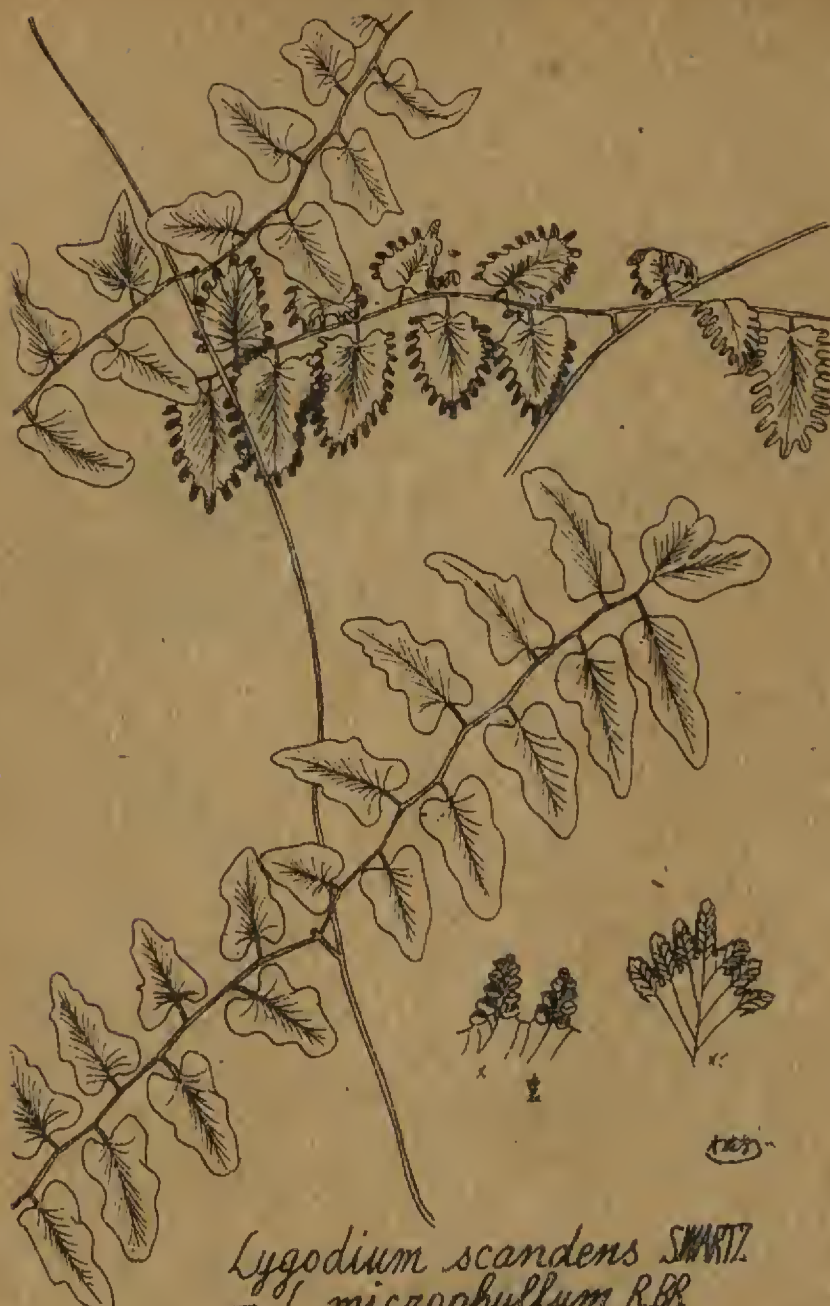
Helminthostachys zeylanica HOOK. f.

ミヤコジマハナワラビ　　　　（シダ類）

地方名　アカール・トンジヨ・ランギツト（馬）
産　地　熱帯アジア
性状用途　直立、若茎は生食、煮食、根は赤痢に内用、ビンロウジの果と嚙み咳止、又強壮薬としてマライより支那に輸出

352

食	薬				繊



Lygodium scandens SWARTZ
= *L. microphyllum* R.BR.

ナンヨウシヤミセンヅル　　　（シ ダ 類）

地方名　リブリブ(馬)
産　地　インド、マライ半群島
性状用途　蔓草、若葉食用、全草煎汁は收斂性で赤痢に内用、皮膚病に塗布、老莖は索、米の篩、カゴ

食



Marsilea minuta L

ヒメデンジサウ　　　　（シダ類）

地方名

產　　地　世界各地

性狀用途　水田、葉面のみ浮上、若葉食用



Ophioglossum reticulatum L.

ヒロハノハナヤスリ　　　　（シダ類）

地方名

産　　地　東洋

性状用途　サラダとして生食、煮食



Pteridium esculentum NAKAI
= *P. aquilinum* KUHN
v. *esculentum*
= *Pteris esculenta* FORST.

ワ ラ ビ　　（シ ダ 類）

地名方　バク（馬）
産　地　温熱帯
性狀用途　葉若食用、根は澱粉製造用、マライでは平地より300米迄此のワラビあり、それより上は P. aquilinum なる葉の密なワラビになる、之も食用



キノボリシダ　　　　（シダ類）

地方名　パク・ミディン(馬)
産　地　熱帯アジア
性狀用途　他木に匍上る、若葉は赤く食用、美味、全草煎汁を解熱に内用、莖はカゴ索にする

索 引 I 學 名

355

356

357

358

索引 II 和名

ア

イ

ウ

359

エ

オ

カ

360

361

ス

362

テ

363

365

ホ

マ

366

ミ

ム

367

昭和二十年五月二十日印刷
昭和二十年五月二十五日發行

發行所　昭南植物園
編輯責任者　渡邊清彦
印刷責任者　渡邊太郎
印刷所　昭南軍政總監部印刷所